

福島県立医科大学要覧



平成 30 年

— シンボルマークについて —

福島県立医科大学らしさを視覚化したもので緑とサクラとFの文字を組み合わせている。

立志哲洋氏（東京都在住）の作品
平成20年11月2日制定



福島県立医科大学全景

(平成29年5月撮影)

目 次

1	理 念 等	1
2	沿 革	8
3	歴代理事長、部局長等	19
4	施設の概要	28
	(1) 名称及び所在地	28
	(2) 校 地	28
	(3) 校舎等建物	28
5	組織機構図	31
6	役 職 員	34
7	名 誉 教 授	40
8	運 営 概 況	42
	(1) 所属別職員数	42
	(2) 医学部・看護学部の主な研究題目	43
	(3) 大学学生数	52
	(4) 大学院学生数	52
	(5) 学位授与者数	53
	(6) 卒業生の状況	54
	(7) 解剖件数	55
	(8) 教員等の海外出張状況	56
	(9) 図書館現況	57
	(10) 平成29年度図書館利用状況	57
	(11) 平成29年度文献相互貸借状況	58
	(12) 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金額	58
	(13) 厚生労働科学研究費補助金額	59
	(14) 医科大学附属病院の状況	60
	① 病類別病床数	60
	② 等級別病室数病床数室料差額	60
	③ 分娩取扱件数	60
	④ 臨床検査件数	61
	⑤ 病理部検査件数	61
	⑥ X線等照射件数	61

⑦	手術件数	62
⑧	調剤薬処方数	63
⑨	平成29年度薬剤管理指導算定数	64
⑩	病理解剖件数	66
⑪	診療科別患者数	67
⑫	診療項目別稼働額	69
(15)	会津医療センター附属病院の状況	71
①	病類別病床数	71
②	等級別病室数病床数室料差額	71
③	臨床検査件数	71
④	病理部検査件数	71
⑤	X線等照射件数	72
⑥	手術件数	72
⑦	調剤薬処方数	73
⑧	薬剤管理指導算定数	74
⑨	病理解剖件数	74
⑩	診療科別患者数	75
⑪	診療項目別稼働額	77
(16)	公立大学法人福島県立医科大学平成29年度決算に係る貸借対照表及び損益計算書	78
(17)	公立大学法人福島県立医科大学予算・決算及び収支計画	79
9	配置図	81
10	施設概要	82
11	位置図	88

1 理 念 等

福 島 県 立 医 科 大 学 の 理 念

(平成15年3月26日制定)

福島県立医科大学は、県民の保健・医療・福祉に貢献する医療人の教育および育成を目的に設立された大学である。同時に、研究機関として、不断の研究成果を広く世界に問いかけるという重要な使命を担っている。

もとより医療は、医学と看護学が共に手を携えて、すべてのひとのいのちと健康の問題に真摯に向き合い、その未来を拓く営為である。その基盤とすべきところは、個人の尊厳に対する深い配慮と、高い倫理性である。

福島県立医科大学は、以下に掲げることを本学の理念として、教育、研究および医療を幅広く推進していくものとする。

- 1 ひとのいのちを尊び倫理性豊かな医療人を教育・育成する。
- 2 最新かつ高度な医学および看護学を研究・創造する。
- 3 県民の基幹施設として、全人的・統合的な医療を提供する。

福島県立医科大学ビジョン2014

－忘れない。そして希望の未来を拓く－

(平成26年6月1日制定)

1 「私たちは福島の復興を牽引します。

全ての県民の復興が達成される日まで支え続けます。」

私たちは、ふくしま国際医療科学センターを中心に総力をあげて、長期にわたる県民一人ひとりの心身の健康の増進、新しい医療産業の創出、地域医療の支援を通して安全で安心な生活基盤を確立し、福島の復興を前進させます。たとえ長期にわたるとしても、私たちは、誰もが復興の達成を感じられる日が来るまで福島県民を支え続けることを誓います。

2 「私たちは福島の復興を担う優れた医療人を育成します。

高度な知識、技術と高い倫理性を備えた医療人を育てます。」

私たちは、建学の原点を再確認し、福島の復興を担うことができる高度な知識と技術、そして高い倫理性を備えた医療人の育成を続けます。医学部、看護学部及び大学院の教育カリキュラムを整え、教育力を不断に高め、知識、技能、態度において実践的能力を備えた医療人を輩出します。附属病院と会津医療センターでは、医療の実践により診療・教育力を高め、魅力ある研修プログラムを提供し、総合性と専門性のバランスに優れた医療人を育む生涯教育を行います。さらに、災害に際して世界中から差しのべられた多くの支援に報いるため、将来起こりうる複合災害に備え、災害医療と被ばく医療に精通し、社会コミュニケーション能力を備えた医療人の育成に取り組みます。

3 「私たちは優れた価値ある研究成果を世界に向かって発信します。

本学に課せられた歴史的使命を果します。」

私たちは、全ての人々が抱える健康に関する課題を解決するために医学と看護学に関する研究を推進し、その成果を世界に発信します。さらには、原子力災害を経験した本学の歴史的使命として、低線量放射線被ばくの健康影響と心の健康を含む災害医療に関する科学的知見を、人類の未来のために記録し発信します。

4 「私たちは県民の健康長寿を実現します。

高水準の医療の提供と根拠に基づく疾病予防に取り組めます。」

私たちは、生涯にわたる健康な暮らしを願う県民の期待に応え、多様な職種の専門性を生かしたチームとして、病める人の自己決定を尊重し、高水準の診断・治療とケアを提供し心温まる医療を実現します。日々研鑽に努め、人々の声に耳を傾け、正しい知識と情報を提供します。県民が健康長寿を実感できるよう、地域と連携し、科学的根拠に基づく疾病予防と健康増進および抗加齢医学の研究と実践を推進します。

5 「私たちは持続的に進化する大学を創ります。

ここに集うすべての人々の思いに応えられる大学を目指します。」

私たちは、現状に満足せず、常にあるべき将来像を見据え、組織として進化を続けます。激動する社会の変化に対応し、県民には安心の医療を、学びを求める人々には魅力ある教育と研修の場を、働く人々には誇りを持って仕事に打ち込める環境を提供し続けます。

福島県立医科大学の3つの方針（ポリシー）

1 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学は、次のような能力を身につけた者に学位を授与します。

- 医療に携わるプロフェッショナルとしての知識・技能および倫理観を習得した者
- 福祉と医療の分野において社会貢献できる能力を有する者
- 科学的思考力および自律的に生涯学習を継続する姿勢を習得し、医療の発展に寄与する成果を発信する基礎的な能力を持つ者
- 本学履修規程に則り、卒業までに所定の単位を授与された者

2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

本学は、次のような方針で教育を実施します。

- 高度化する医療の諸問題を自ら進んで学習し、問題発見・解決能力を養う。また、生涯学習の姿勢を身につける。
- 医療を体系的に学び、疾患の深い理解に基づいて医療人として見識を養う。また、コミュニケーション能力や協調性の育成を図る。
- 臨床の現場を知り、医療人としての自覚を持ち、患者様に寄り添う心を身につける。
- 福島の地域医療の現状を学び、人々の健康を守る方法論を学ぶ。
- 科学的探究心と創造性に基づく研究を目指し、世界に飛躍する志を養う。

3 入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、次のような資質を持つ学生を求めます。

- 高い倫理観と豊かな人間性をもち、命を尊ぶ心を備えた人
- 十分な基礎学力を有し、医療に関する高度な専門的知識・技術の修得を目指す人
- コミュニケーション能力にすぐれ、協調性を持つ人
- 地域の発展や東日本大震災からの福島県の復興に貢献する熱意を持つ人
- 科学的探究心と創造性を備え、医療の分野で、世界に飛躍しようとする志を持つ人

医学部の3つの方針（ポリシー）

1 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

福島県立医科大学医学部では、教育理念・目標として「心・知・技・和」の掲げ、患者に寄り添う医療人、保健・医療・福祉に貢献できる医師・医学研究者の育成に努めてきました。

それを受け、本学では以下を満たす者に学士を授与します。

1. 患者と地域社会のために、患者を主体とした最善の医療を実践するプロフェッショナルとして、必要な倫理観の基盤・知識と技術を習得した者
2. 医学、医療の視点から、地域から世界に広がる社会貢献ができる医師・医学研究者の基礎として、科学的思考力および自律的に生涯学習を継続する姿勢を習得した者
3. 医学部履修規程に則り、卒業までに所定の単位を授与され、授業科目の修了認定を受けた者

2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

卒業認定に必要な能力を身につけるため、医学教育モデル・コア・カリキュラムに提示された教育内容に発展的科目群をらせん型に配置し、1-6年次にわたる体系的な一貫らせん型カリキュラムを構築しています。

一貫らせん型カリキュラムでは、総合科学系科目、生命科学・社会医学系科目、臨床医学系科目からなる全人的医療人教育を基盤とし、それら科目を緊密に行き来しながら、融合した総合教育科目を成長・習得度に合わせ6年間を通して繰り返し発展的に学ぶことができます。

さらに協力病院と共に、卒後初期研修・専門研修につながる一貫した臨床実習からなるカリキュラムとなっています。

増大する医学的知識に対応するためには、能動学習を継続する姿勢の修得が必須であることから、縦横に統合型の講義・実習を取り入れ、また能動的プログラムを十分に確保することで、学生の自己研鑽能力を高めて生涯学習の姿勢を培います。

これらカリキュラムの修得、到達目標の達成度は、出席・授業態度・試験結果・発表内容・レポート・実習の自己評価などから、総合的に、本学の履修規程に則って評価します。

●カリキュラム概要

1. 医師としてのプロフェッショナリズムとコミュニケーション力
2. 科学的探究心（生涯教育と医学/科学の発展への貢献）
3. 医学的知識とその応用、診療の実践
4. 医療と社会・地域（福島をモデルとした地域理解）

3 入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）

心を感じ、知を持ち、技を活かし、和を育み、地域を創造する医師を養成します。

●求める学生像

1. いのちを尊ぶ心を持った人
2. 高い倫理観と豊かな人間性を備えた人
3. 広い視野と適切な判断力を備えた人
4. 科学的探究心と創造性を備えた人
5. 地域の発展や東日本大震災からの福島県の復興に貢献する熱意を備えた人

●入学者選抜の基本方針

入学後の修学のために、高等学校において以下の入試科目に該当する科目を習得していることが望まれます。

国語：『国語』

地理歴史・公民：『世界史B』、『日本史B』、『地理B』、『倫理、政治・経済』のうちから1科目

数学：『数学I・数学A』に加えて『数学II・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』のうちから1科目

理科：『物理』、『生物』、『化学』のうちから2科目

外国語：『英語』

1. 一般入試

1) 前期日程試験

医師を目指すものとして高い学力を有し、人格的に優れた者で、特に論理的思考力と探究心を備えた学生を求めています。

大学入試センター試験に加え、個別学力検査（数学、理科、外国語）、及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜します。

2) 後期日程試験

医師を目指すものとして高い学力を有し、人格的に優れた者で、特に高いコミュニケーション能力とリーダーシップを有する学生を求めています。大学入試センター試験に加え、総合問題、及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜します。

2. 推薦入試

学業・スポーツ・文化活動等において、特に優れた成績又は実績を有し、他の模範となり、人格的に優れた者で、将来福島県内の医療を担うという強い意欲と情熱を持つ者を求めています。

総合問題、大学入試センター試験、及び面接試験の結果、並びに高等学校長の推薦書、調査書等の出願書類を総合的に評価して選抜します。

3. 私費外国人留学生入試

看護学部の3つの方針（ポリシー）

1 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

福島県立医科大学看護学部では、教育理念として、「豊かな感性と高い倫理観を持ち、ニーズに対応しうる実践能力を備えた看護専門職者の養成」を掲げてい

ます。この教育理念の下、地域の保健・医療・福祉に貢献する看護専門職者の育成に努めてきました。それを受け、本学では以下を満たす者に学士を授与します。

1. 地域社会の人々のために、人々が生活するあらゆる場において、あらゆる健康レベルの人々のニーズに基づいた看護を実践する看護専門職者に必要な倫理観の基盤・知識と技術を修得した者
2. 地域社会への貢献ができる看護専門職者の基礎として、科学的思考力および自律的に生涯学習を継続する姿勢を修得した者
3. 看護学部履修規程に則り、卒業までに所定の単位を授与され、授業科目の修了認定を受けた者

2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

●カリキュラム概要

1. 豊かな感性と倫理観を持つ看護専門職者となるために
2. 創造性豊かな看護専門職者となるために
3. ニーズに対応する実践能力を備えた看護専門職者となるために

●評価方法

履修した授業科目の成績は、「福島県立医科大学看護学部履修規程」に基づき、筆記試験、レポートおよび出席等の方法により総合的に評価します。

3 入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）

豊かな感性と倫理観を持ち、ニーズに対応する実践能力を備えた創造性豊かな看護専門職者の養成をします。

●求める学生像

1. 人間への関心をもち、「いのち」と「健康」を積極的に守ろうとする人
2. いろいろな観点からものごとを理解することができる人
3. 対人関係を通して、ともに成長することができる人
4. 地域の保健医療を担うという情熱と意欲を有する人
5. ものごとを論理的に考え、表現することができる人
6. 大学で学ぶために必要な基礎学力を有し、探求心を有する人

●入学者選抜の基本方針

入学後の修学のために、高等学校において以下の科目を修得していることが望まれます。

国語：『国語』（必須）

地理歴史・公民：『世界史B』、『日本史B』、『地理B』、『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理、政治・経済』のうちから1科目

数学：『数学I・数学A』（必須）、『数学II・数学B』（必須）

理科：『物理』『生物』『化学』のうちから2科目ないしは「物理基礎」「生物基礎」「化学基礎」のうちから2科目選択及び「物理」「生物」「化学」のうちから1科目

外国語：『英語』（リスニングを含む）（必須）

(1) 一般入試（前期・後期）

看護師を目指すものとして基礎的学力を有し、人間への関心をもち、論理的思考力と探究心を備えた学生を求めています。

大学入試センター試験に加え、総合問題、面接及び調査書の結果を総合して選抜します。

(2) 推薦入試

福島県の保健・医療・福祉への貢献の意思および看護職者として意欲を持つ学生を求めています。

小論文（英文・科学的資料の読解を含む）および面接の結果、並びに出願書類の審査結果を総合して選抜します。大学入試センター試験は課しません。

(3) 社会人入試

社会経験が学習や一緒に学ぶ学生への良い影響となり、看護職者として適正を持つ学生を求めています。

小論文（英文・科学的資料の読解を含む）および面接の結果、並びに志願理由書等出願書類の審査結果を総合して選抜します。大学入試センター試験は課しません。

(4) 私費外国人留学生入試

大学院 医学研究科博士課程の3つの方針（ポリシー）

1 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

以下を満たす者に博士（医学）の学位を授与します。

1. 所定の単位を取得したうえで博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格する。
2. 医学とくに自身の研究分野に関する高度かつ広範な専門的知識を有する。
3. 独創的な立案、高い研究技能、データの解析と的確な解釈をする能力を備え、ると共に、研究に関する倫理を深く理解し、これらを以て先駆的な研究や医療を遂行することができる。
4. 自身の研究成果を正確に発表、縦横に討論し、学術誌に論文を執筆・発表する力を備えている。
5. 大学・研究機関の研究者として、あるいは地域の医療機関において臨床医として指導的な役割を果たすことができる能力と人格を備えている。
6. 先進的な研究あるいは高度な医療技術を以て世界に貢献できる力を備えている。そのための国際的に活発に交流できる高いコミュニケーション能力と多様な価値観を容認する包容力を有する。

2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 高度医学研究者コースと専門医研究者コースのいずれかを履修する。前者は医学部以外からの学生にも広く門戸を開放している。
2. 倫理を含む研究の基礎を学んだ後、専攻分野の専門教育を行う。前者のコー

- スでは医学研究者になることを目標とし、将来の医学を支え新たな医学の創造ができるような人材を育成する。後者では高度で専門的な臨床能力と医療の現場へ貢献できる研究能力を兼ね備えた臨床医を育成する。
3. 専攻分野と関連して必要とされる内容を専攻外の分野から選択し、専門研究の拡充や展開を促し、広い視野からの問題解決能力の育成を行う。
 4. 医学全体の動向を知るために、各方面での先端的な研究内容を学習する「大学院セミナー」を履修する。
 5. 研究成果を学会等で発表し、学術誌に論文を執筆する論文研究指導を行う。

3 入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）

●求める学生像

高い倫理観と豊かな人間性を備え、共に新しい医学を創造し、社会に貢献する次のような学生を求めています。

1. 医学・医療に関する高度な専門的知識・技術の修得を目指す人
2. 新たな分野に踏み込み、先駆的な研究活動を志す人
3. 地域の医学・医療水準の向上を目指し、指導的な役割を担おうとする人
4. 大学・研究機関の指導者、研究者として活躍する意欲を持つ人
5. 医学・医療の分野で、世界に飛躍しようとする熱意を持つ人

●入学者選抜の基本方針

「求める学生像」に沿った人材を選抜するために、4月入学、10月入学の試験を入学時期に合わせて実施している。社会人を含む様々な立場の方に門戸を開放しています。試験は筆記試験（小論文）、面接、成績証明書及び志望理由書により学力や相応しい資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

大学院 医学研究科医科学専攻（修士課程）の3つの方針（ポリシー）

1 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

以下を満たす者に修士（医科学）の学位を授与します。

1. 本研究科に所定の単位を修得したうえで修士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格する。
2. 医科学の高度化と国際化に対応できる研究倫理、専門的知識及び学識を修得し、博士課程に進学できる水準に達している。
3. 医科学に関連した研究・教育・実務分野で活躍し、地域社会に貢献できる。

2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 社会人を含む様々な立場の方が受講できる。
2. 研究倫理を身につける。
3. 医科学の高度化・国際化に対応できる専門的な知識を修得する。
4. 実験系の医科学分野又は人を対象とした社会科学分野において、研究・教育・実務に従事する人材となる。
5. 高度な専門的知識や研究方法を修得することで研究者としての水準を向上させ、博士課程への進学を視野に入れる。

3 入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）

●求める学生像

高い倫理観と豊かな人間性を備え、共に新しい医学を創造し、社会に貢献する次のような学生を求めています。

1. 医学以外の専門分野を学んだ多様な知識的背景や発想を持ち、国際的な視点に立つ人。
2. 医科学の専門知識を体系的、集中的に学びとる意欲を持ち、地域社会に貢献する人。
3. 研究・教育・実務分野において、指導者を志す人。

●入学者選抜の基本方針

「求める学生像」に沿った人材を選抜するために、年2回（8月・12月）入学試験を実施しています。社会人を含む様々な立場の方に門戸を開放します。試験は筆記試験（小論文）、面接、成績証明書及び志望理由書により学力や相応しい資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

大学院 医学研究科災害・被ばく医療科学共同専攻（修士課程）の3つの方針（ポリシー）

1 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を取得し、

1. 災害・被ばく医療学における基礎的知識を習得している。
2. 医科学コースでは災害医療学や被ばく医療学、保健看護学コースでは被ばく医療学、放射線保健看護学に関連する学際的知識を習得している。
3. 協調性やリーダーシップを発揮し、国内外の災害現場における問題を把握し、それらの対策を立案し、実施する能力を身に付けている。
4. 災害時のクライシスコミュニケーション（災害発生時における情報伝達と共有）とリスクコミュニケーション（災害発生前後から長期的な復興過程における情報共有と対話）を主導することができる。
5. 災害、とくに放射線災害における長期的な心身への影響を理解し、復興期の支援を主導することができる。
6. グローバルな視点を持ち、地域社会および国際社会に貢献できる能力を身につけている。

と認められた者に対し、医科学コースにあっては修士（医科学）、保健看護学コースにあっては修士（看護学）の学位を授与します。

2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

【医科学コース】

1. 基礎科目で、災害・被ばく医療科学の基盤となる放射線医科学、リスクコミュニケーション学、救急・災害医学に関連する科目群を学びます。学修の到達度は、主にレポートやプレゼンテーション、ディスカッションにより評価します。
2. 専門科目で、災害・被ばく医療科学に関連する専門的知識を習得するための科目群を学びます。放射線災害を含む災害の発災前から復興期にわたる長期的な課題に対応する実践力を育成するための知識・技術を学びます。学修の到達度は、主にレポートやプレゼンテーション、ディスカッションにより評価します。
3. 専門実習で、福島県立医科大学、長崎大学における実習を通じて、習得した専門知識を活用し、災害・被ばく医療の専門家として実践、教育できる力を養います。保健看護学コースとの共修により、他職種との連携・協働を学びます。学修の到達度は主に実習内容およびそれに関するディスカッション、レポートを通じて評価します。
4. 課題研究で、それまでに習得した知識と実習による実践能力を基盤として、学位論文の作成に向けた研究を行います。評価は研究のプロセスにおけるディスカッション、プレゼンテーション、提出された論文により行います。

【保健看護学コース】

1. 基礎科目で、災害・被ばく医療科学の基盤となる放射線医科学、リスクコミュニケーション学、救急・災害医学に関連する科目群を学びます。学修の到達度は、主にレポートやプレゼンテーション、ディスカッションにより評価します。
2. 専門科目で、看護学の学問基盤および災害・放射線看護学に関連する専門的知識を習得するための科目群を学びます。放射線被ばくによる健康問題に対して保健医療、行政、国際機関などの分野での実践力を育成するための知識・技術を学びます。学修の到達度は、主にレポートやプレゼンテーション、ディスカッションにより評価します。
3. 専門実習で、福島県立医科大学、長崎大学における実習を通じて、習得した専門知識を活用し、放射線看護の高度専門家・実践家として力を養います。医科学コースとの共修により、他職種との連携・協働を学びます。学修の到達度は主に実習内容およびそれに関するディスカッション、レポートを通じて評価します。
4. 課題研究で、それまでに習得した知識と実習による実践能力を基盤として、学位論文の作成に向けた研究を行います。評価は研究のプロセスにおけるディスカッション、プレゼンテーション、提出された論文により行います。

3 入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）

入学者に以下の資質・素養を求めます。

●求める学生像

1. 災害医学や被ばく医療学、放射線国際医療保健学、放射線保健看護学への強い関心と学ぶ意欲がある。小論文試験により災害・被ばく医療学の基礎的知識や論理性を評価する。
2. 長崎大学保健看護学コースでは英語により語学力を評価する。
3. 国際的・学際的視野から災害・被ばく医療における実践、教育・研究に貢献しうる資質と意欲を有する。小論文試験、書類審査、面接試験により評価する。
4. 専門職業人として協調性とリーダーシップを発揮し、災害・被ばく医療に貢献しうる資質と意欲、倫理観を有する。書類審査、面接試験により評価する。
5. 災害時における調整力やコミュニケーション能力の研鑽を積もうとする高い志を有する。書類審査、面接試験により評価する。

大学院 看護学研究科（修士課程）の3つの方針（ポリシー）

1 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

所定の期間在学し、修了要件となる単位を取得するとともに、学位論文審査および最終試験に合格し、下記の条件を満たす者に学位（修士（看護学））を授与します。

1. 専門分野における専門的知識、技術を修得している。
2. 看護学の学問の発展に寄与する実践・研究・教育に取組むための基礎的能力を修得している。
3. 高い倫理観を有した看護職者として専門分野の課題を探究できる能力を有している。
4. 看護実践・研究・教育の場において地域に貢献できる能力を修得している。

2 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

専門分野の高度な実践者、看護学研究者、看護学教育者を育成します。

1. 専門性の高い看護職の基盤となる理論・知識が修得できる。
2. 専門領域における高度な知識と実践能力が修得できる。
3. 専門領域と関連する内容を学び、社会の要請に応え学問的成果をあげる能力を修得できる。

3 入学者の受入に関する方針（アドミッション・ポリシー）

看護職として高い倫理観と豊かな人間性を備え、専門性の高い看護学の修得を志向し、熱意を持って主体的に学んでいこうとする人を求めています。

●求める学生像

1. 看護学に関する専門的知識と技術を修得し、その発展に寄与する人
2. 専門看護師として高度な知識と卓越した実践能力を修得しようとする人
3. 保健・医療・福祉領域で多様な人と協働して地域貢献に尽力しようとする人

●入学者選抜の基本方針

求める学生像に沿った人材を選抜するために入学試験を実施します。試験は、筆記試験（看護学共通、専門領域、英語）、口述試験および出願書類等により総合判定します。

● 医学部

○教育理念

福島県立医科大学医学部は、心を感じ、知を持ち、技を活かし、和を育み、地域を創造する医師を養成します。

○教育目標

“君の持つ力を見つけ出して育てよう”

心：真摯な心、共感する心、探求する心

知：命を救う知識、病める人を癒す知恵、明日を生きる知性

技：確かな技、未知に挑む技、未来へ繋ぐ技

和：患者や家族との和、働く仲間との和、地域や世界の人々との和

地：地域に学ぶ、地域を創る、地域から発信する

● 看護学部

○教育理念

学生が主体的に学ぶことを基本とし、人間の存在と生命の尊厳を深く理解することのできる豊かな感性と倫理観を形成し、柔軟で論理的な思考力を培う。

また、あらゆる場で、あらゆる健康レベルの人々のニーズと必要な看護ケアを、人と人とのかわりを通して把握し、学生が自らの知識と技術を統合して、健康の回復から増進にむけた援助を提供できる能力を養う。

さらに、社会の変化に対応した看護専門職の役割を認識し、保健医療福祉に関わる広い領域で様々な人々と連携・協働を図りながら、看護の対象となる人々自らが健康問題を解決し健康状態を高めていく過程を援助できる、創造性豊かな看護専門職の育成を目指す。

○教育目標

学部の教育理念に基づき、次のような学生を育成することを教育の目標とする。

- 1 人間や文化に対する幅広い関心をもち、人間と生命、健康、生活について深く洞察することができる。
- 2 生命の尊厳や人権について理解し、人々の意思決定を支え、擁護に向けた行動をとることができる。
- 3 医療やケアの倫理について熟知し、倫理観に基づく判断や行動をとることができる。
- 4 自己を内省する力を養うとともに、他者とのコミュニケーションを通して、よりよい人間関係を築くことができる。
- 5 人々の健康レベルを、成長発達や日常生活を取り巻く環境の観点で捉え、健康の回復から増進に向けた援助過程で、看護専門職が果たす役割について理解することができる。
- 6 安全で効果的なケアを探求し、批判的思考に基づく臨床判断や根拠に基づく看護を実践できる。

- 7 地域社会の人々の健康に関するニーズを把握し、地域の専門職者と協働して人々がその課題を解決するために利用できる社会資源を探索することができる。
- 8 協働によるチーム医療を構築し、施設内および地域での看護の対象となる人々の状況にあわせたケアのマネジメントと看護専門職が果たす役割を理解することができる。
- 9 看護専門職者としての自らの能力を、自己評価、他者評価を通して振り返ることができ、看護専門職者として研鑽する基本的姿勢を修得する。

● 大学院医学研究科

○理念

大学院医学研究科は、医学・医療の発展に自立して寄与することができる研究者及び専門職者を育成するとともに、新しい医学の創造を行うことを目的とします。

○教育目標

- 1 医学研究を推し進め新たな医学の創造を目指す研究者を育成する。
- 2 研究の方法論を正しく身につけた専門性の高い臨床医を育成する。
- 3 医学・医療に関連した多彩な分野で活躍できる研究者や高度な専門職として活躍する人材を育成する。

● 大学院看護学研究科

○理念

福島県立医科大学大学院看護学研究科は、看護の実践・研究・教育の場で活躍できる高度な専門知識、技術、実践能力を有する看護職者の育成を行い、看護学の創造と発展に貢献することを目的とする。

○教育目標

- 1 高度な専門知識・技術と卓越した実践能力を持つ看護専門職者を育成する。
- 2 看護援助方法論の開発と研究を担う看護専門職者を育成する。
- 3 看護職のキャリア開発プログラムを構築できる看護専門職者を育成する。

2 沿 革

- 明治4.8.10 白河仮病院開院。
- ㄨ 4.9. 病院内に医術講義所開設。
 - ㄨ 6.4.21 須賀川に移転し、福島県立須賀川病院開院（福島県公立須賀川病院と改称）。
須賀川医学所設置。※1
 ※1 後に台湾総督府長・東京市長を歴任した後藤新平（1857-1929）が入学。
 - ㄨ 8.1. 須賀川医学所は須賀川医学講習所と改称。
 - ㄨ 12.5. 福島県公立須賀川病院の支病院は福島県立福島病院、同須賀川病院、同若松病院、同平病院に独立。
 - ㄨ 12.10.20 須賀川講習所は須賀川医学校と改称。
 - ㄨ 15.1.22 須賀川医学校を福島に移転。福島医学校開校。
 - ㄨ 23.3.31 福島県立福島病院が廃止され、三郡（信夫・伊達・安達）共立福島病院となる。
- 大正14.4.1 三郡共立福島病院は公立福島病院と改称。
- 昭和19.1.10 福島県立女子医学専門学校設立認可。
- ㄨ 19.4.1 1学年定員120人と決定（4年制）。
公立福島病院は福島県立女子医学専門学校附属医院となる。
 - ㄨ 22.6.18 医科大学（旧制）設立認可。
医科大学予科開設認可。学則制定。1学年定員40人（修業年限3年）。
 - ㄨ 25.3.30 医科大学医学部（旧制）開設認可。1学年定員40人（修業年限4年）。
本部、基礎医学教室（解剖学、生理学、生化学、薬理学、細菌学）福島市三河北町に置く。基礎医学教室（病理学、法医学、衛生学）、臨床医学教室（附属病院）、附属中央研究所福島市杉妻町に置く。
 - ㄨ 25.6.18 医科大学開学記念行事挙行。
 - ㄨ 26.3.31 女子医学専門学校廃止。女子医学専門学校附属医院廃止。
医科大学予科廃止。
 - ㄨ 26.4.1 旧女子医学専門学校附属医院は、福島県立医科大学附属病院となる。
 - ㄨ 26.10.16 精神科学教室、同病棟を福島市渡利に新築移転。
 - ㄨ 27.2.20 医科大学（新制）設置認可。
 - ㄨ 27.4.1 医科大学（新制）開設認可。1学年定員40人（修業年限4年）。
県立高等厚生学院が医科大学附属高等厚生学院となる。
 - ㄨ 28.1.28 公衆衛生学教室福島市三河北町に新築。
 - ㄨ 28.6.29 医科大学本部福島市三河北町に新築移転。
本部跡に衛生学教室を移転。
法医学教室、細菌学教室を福島市三河北町に新築移転。
 - ㄨ 29.3.10 附属高等厚生学院を医科大学附属看護学校と改称。
 - ㄨ 30.1.20 医科大学進学課程設置認可。

- 昭和30.4.1 医科大学進学課程開設。1学年定員40人（修業年限2年）。
病理学第二教室開設。
- ✧ 30.11.1 福島県立飯坂病院が医科大学附属病院飯坂分院となる。
 - ✧ 33.4.1 解剖学第二講座開設。
 - ✧ 33.9.30 福島県行政組織規則の改正により教室は講座と改称。
 - ✧ 34.4.1 生理学第二講座開設。
 - ✧ 34.5.25 医科大学本部（福島市三河北町）福島市上町に移転。
 - ✧ 34.10.31 学位審査権認可。
 - ✧ 35.4.6 R I 研究室設置認可。
 - ✧ 35.12.2 医科大学本部（福島市上町）福島市舟場町に移転。
 - ✧ 36.3.24 附属病院改築第7期工事完了（この工事により附属病院の改築は全館完了）。
 - ✧ 36.3.31 医科大学大学院設置認可。
 - ✧ 36.4.29 大学院開設並びに附属病院改築工事落成記念式挙行。
 - ✧ 36.5.19 解剖学第一講座（福島市三河北町）福島市舟場町（医科大学本部建物）に移転。
 - ✧ 37.3.22 解剖学第二講座（福島市三河北町）福島市舟場町（医科大学本部建物）に移転。
 - ✧ 37.12.15 基礎医学校舎第1次建築工事完了。
 - ✧ 37.12.20 学生定員増承認（40名を60名に増員）。
 - ✧ 38.8.1 町名改正により、医科大学本部及び基礎校舎の所在地は福島市杉妻町5番75号に、
附属病院は杉妻町4番45号に変更。
 - ✧ 41.4.1 麻酔科学講座新設。
 - ✧ 41.10.8 看護婦寄宿舍完成。
 - ✧ 42.4.1 泌尿器科学講座分離新設。
 - ✧ 42.7.31 附属病院特殊放射線棟完成。
 - ✧ 42.10.18 飯坂分院廃止。
 - ✧ 43.4.1 新学則を制定。進学課程は教養課程と名称変更。
がん診療部開設。
 - ✧ 44.1.22 大学院学生定員変更協議書受理される。
（25人を27人に変更。実施時期昭和44年4月1日）
 - ✧ 44.2.28 校舎（本館）第2次建築工事完了。
 - ✧ 44.9.1 附属リハビリテーション研究所（福島市飯坂町）新設。
 - ✧ 45.8.31 図書館、体育館完成。
 - ✧ 45.10.15 附属中央研究所内に公害医学研究室新設。
 - ✧ 46.1.12 学生定員増承認（60名を80名に増員）。
 - ✧ 46.2.15 学生クラブ棟完成。
 - ✧ 46.3.19 附属看護学校が総合衛生学院内（福島市渡利）に移転。
 - ✧ 46.10.9 創立20周年記念式典挙行。
 - ✧ 46.12.9 武道館完成。
 - ✧ 47.10.25 神経精神科病棟を本院に吸収。渡利神経精神科病棟を解体。

昭和48.6.15 RI棟完成。

ㄨ 57.4.1 脳神経外科学講座新設。

ㄨ 58.4.1 核医学講座新設。

ㄨ 58.9.16 大学歌「光の鳥」制定。

ㄨ 62.4.1 附属研究所内に実験動物研究室新設。

ㄨ 62.6.1 事務局の病院課を廃止し、施設管理課と医事課を新設。

附属中央研究所を附属研究所と改称。

附属放射性同位元素研究室を放射線生物学研究室に改称し、附属研究所に編入。

附属研究所に実験動物研究室を新設。

附属病院に歯科、集中治療部、病理部、輸血部、材料部、病歴部を新設。

附属病院中央臨床検査部を検査部に、中央レントゲン部を放射線部に、中央手術部を手術部に改称。

附属病院（福島市杉妻町）福島市光が丘に移転。

ㄨ 63.4.1 医科大学本部（福島市杉妻町）福島市光が丘に移転。

ㄨ 63.10.29 開学40周年記念式典挙行。

平成元.4.1 生化学第二講座新設。病院に神経内科、心臓血管外科新設。

生化学講座は生化学第一講座に名称変更。

ㄨ 5.4.1 病院に救急科を新設。

同窓会から同窓会館（光が丘会館）を寄附受領。

ㄨ 6.4.1 附属研究所を生体情報伝達研究所、放射性同位元素研究施設及び実験動物研究施設に再編整備。

ㄨ 6.6.11 創立50周年記念祝賀会開催。

ㄨ 7.4.1 神経内科学講座、心臓血管外科学講座、臨床検査医学講座を新設。

病院に新生児集中治療部を新設。

ㄨ 8.3.31 核医学講座廃止。

ㄨ 8.4.1 放射線科学講座を放射線医学講座と改称。

ㄨ 9.3.31 がん診療部廃止。

ㄨ 9.9.6 開学50周年記念式典挙行。

ㄨ 9.12.19 看護学部設置認可。

ㄨ 10.4.1 看護学部開設。1学年定員80人、3年次編入学定員10人（修業年限4年）。

学則を改正。医学部の基礎医学は生命科学・社会医学系に、臨床医学は臨床医学系に、教養は総合科学系に名称変更。

附属図書館・附属展示館は大学附属施設、附属病院・附属生体情報伝達研究所・附属放射性同位元素研究施設・附属実験動物研究施設・附属リハビリテーション研究所・附属看護学校は医学部附属施設となる。

細菌学講座を微生物学講座と改称。

病院の歯科は歯科口腔外科に、輸血部は輸血・移植免疫部に改称。

ㄨ 10.8.1 病院に形成外科を新設。

- 平成11.4.1 病院に呼吸器科を新設。
医学部附属生体情報伝達研究所に生体機能研究部門を新設。
- 〳 11.10.30 医学部附属看護学校50周年記念式典挙行。
- 〳 13.3.31 医学部附属看護学校廃止。
- 〳 13.12.20 大学院看護学研究科設置認可。
- 〳 14.4.1 大学院看護学研究科開設（入学定員15人、収容定員30人、修業年限2年）。
病院に総合周産期母子医療センターを新設（新生児集中治療部を廃止）。
- 〳 15.4.1 病院に安全管理部を新設。
F・F型行政組織の導入により事務局を再編。総務課・会計課・施設管理課・医事課を廃止し、総務領域（総務企画グループ・予算経理グループ・施設管理グループ）と病院領域（管理グループ・経営企画グループ・医事グループ）を新設。
- 〳 16.4.1 大学院医学研究科を再編整備（5研究課程を4専攻に再編。入学定員を27名から37名に増員）。
- 〳 16.6.26 創立60周年記念祝賀会開催。
- 〳 17.4.1 解剖学第一講座を神経解剖・発生学講座と、解剖学第二講座を解剖・組織学講座と、生化学第一講座を生化学講座と、生化学第二講座を免疫学講座と改称。
呼吸器科学講座、形成外科学講座を新設。
病院に総合診療・地域医療部、内視鏡診療部、医療情報部を新設。病歴部を廃止。
- 〳 18.4.1 福島県が公立大学法人福島県立医科大学を設立。公立大学法人福島県立医科大学は福島県立医科大学を設置。
法人に役員会を設置。法人の審議機関として、経営審議会を法人に、教育研究審議会を大学に設置。担当役員を責任者とする企画室、評価室、知的財産管理活用オフィス、危機管理室を設置。監事を補助する監査室を設置。
看護学部の領域を廃止し、7部門に再編（総合科学部門、生命科学部門、基礎看護学部門、生態看護学部門、家族看護学部門、ケアシステム開発部門、応用看護学部門）。
事務局の総務領域、病院領域を廃止し、総務グループ、財務管理グループ、企画グループを新設。事務局の附属施設として、大学健康管理センターを新設。
学生部、学生課を廃止し、学務部、学務グループを新設。
医学部附属病院が大学附属病院となる。病院に患者サービス・病院機能改善担当（看護部長兼務）の副病院長職を新設。病院に治験センター、事務部を新設。事務部に病院経営グループ、医事グループを新設。
附属図書館、附属展示館を再編し、附属学術情報センターとなる。附属学術情報センターに、学術情報グループを新設。
- 〳 18.5.1 病院の総合診療・地域医療部を地域・家庭医療部と改称。
- 〳 18.10.1 大学院医学研究科に地域医療・加齢医科学専攻長、機能制御医科学専攻長、神経医科学専攻長、分子病態医科学専攻長を設置。
病院の神経精神科を心身医療科と、麻酔科を麻酔・疼痛緩和科と改称。

- 平成19.2.1 病院に中央部門機能強化担当の副病院長職を新設。
- ク 19.4.1 生理学第一講座を細胞統合生理学講座と、生理学第二講座を神経生理学講座と、衛生学を衛生学・予防医学講座と、呼吸器科学講座を呼吸器内科学講座と改称。
病院にリハビリテーションセンター、救命救急センター、臨床腫瘍センター、医療支援部を新設。安全管理部を医療安全管理部と、呼吸器科を呼吸器内科と改称。

ク 20.1.1 臨床検査医学講座を感染制御・臨床検査医学講座と改称。

ク 20.1.28 附属病院4階東病棟に整備した救命救急センター運用開始。
ドクターヘリ運航開始。

ク 20.4.1 一部事務職を除き職員全員が法人職員となり、完全法人化する。
法人組織にトランスレーショナルリサーチ（TR）センターを新設。
医学部学生入学定員増（80名を95名に増員）。
大学院医学研究科医科学専攻（修士課程）開設（入学定員10人、修学年限2年）。
医学部に副医学部長職を新設。
医学部人文社会科学講座と外国語講座を人間科学講座に再編。数学講座、化学講座、生物学講座、物理学講座を自然科学講座に再編。
総合科学教育研究センターを新設し、人文社会科学系領域と自然科学系領域を設置。
事務局総務グループ、財務管理グループ、企画グループ及び学務部学務グループを再編し、事務局総務課、企画財務課、学生課を設置。学術情報グループは学術情報室として学生課の課内室となる。
学務部を学生部と改称、副学務部長職を廃止し、医学学生部長と看護学学生部長職を新設。
医療人育成・支援センターを新設し、医学教育部門と臨床医学教育研修部門を設置。
附属病院に性差医療センター、診療支援部、感染制御部を新設。
附属病院診療科の第一内科を循環器内科、血液内科に、第二内科を消化器内科、リウマチ・膠原病内科に、第三内科を腎臓・高血圧内科、糖尿病・内分泌代謝内科に、第一外科及び第二外科を呼吸器外科、消化器・一般外科、乳腺・内分泌・甲状腺外科、小児外科、低侵襲・最先端外科に、産科婦人科を産科及び婦人科にそれぞれ再編。
附属病院診療科の泌尿器科を泌尿器科・副腎内分泌外科と、耳鼻咽喉科を耳鼻咽喉科・頭頸部外科と改称。
中央部門を中央診療施設と、医療支援部を臨床工学センターと改称。
病院事務部病院経営グループ、医事グループを再編し病院経営課、医事課を設置。
病院経営課の課内室として医療連携・相談室を新設。
 - ク 20.6.22 光が丘キャンパス移転20周年、看護学部設置10周年、完全法人化記念事業「アニバーサリー2008」記念式典挙行。
 - ク 20.11.2 本学イメージマーク制定。
「福島県立医科大学ビジョン2008」制定。
学生歌「ラララ光の丘」制定。

- 平成21.4.1 医学部学生定員増（95名を100名に増員）。
 大学院医学研究科を再編（4専攻を医学専攻に再編）。
 大学院医学研究科に医学専攻長を設置。
 医学部の内科系講座、外科系講座に内科学部門長、外科学部門長を新設。
 内科学第一講座は循環器・血液内科学講座に、内科学第二講座は消化器・リウマチ
 膠原病内科学講座に、内科学第三講座は腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座
 に、外科学第一講座は臓器再生外科学講座に、外科学第二講座は器官制御外科学講
 座に改称。
 病理学第一講座は病理病態診断学講座に、病理学第二講座は基礎病理学講座に改称。
 附属病院に地域連携部を新設。
 附属病院診療科に病理診断科を新設。低侵襲最先端外科を低侵襲・先端治療科に改
 称。
 病院経営課の課内室である医療連携・相談室を、医事課の課内室に改編。
- ㄨ 21.11.11 医学部学生定員の変更届出（1学年定員105名）。
 ㄨ 21.12.3 医学部学生定員増承認（100名を105名に増員）。
 ㄨ 22.4.1 医学部学生定員増（100名を105名に増員）。
 理事を4名から5名に増員。
 会津医療センター準備室を新設。
 医学部に救急医療学講座、輸血・移植免疫学講座、地域・家庭医療学講座を新設。
 看護学部にも副看護学部長職を新設。
 事務局企画財務課の課内室として、ふくしま医療－産業リエゾン推進室を新設。
 附属病院事務部長が事務局次長（業務担当）を兼務、附属病院事務部全体が事務局
 兼務。
 医療人育成・支援センター内に女性医師支援センターを設置。
- ㄨ 22.9.1 役員の所掌業務の追加に伴い、役員（会津医療センター担当）を役員（地域医療担
 当）に改称。
 ㄨ 22.10.1 附属病院診療科の再編により、消化器・一般外科及び低侵襲・先端治療科を廃止し、
 消化管外科及び肝胆膵・移植外科を新設。
 ㄨ 23.2.1 法人組織に産学官共同研究センターを新設。
 ㄨ 23.4.1 法人組織に研究推進戦略室を新設。
 医学部学生定数増（105名を110名に増員）。
 先端医療研究推進・支援センターを新設し、基盤研究支援部門と臨床研究推進・支
 援部門を設置。
 看護学部の生態看護学部門、家族看護学部門、ケアシステム開発部門、応用看護学
 部門を、療養支援看護学部門、家族看護学部門、地域・在宅看護学部門、母性看護
 学・助産学部門に再編。
 事務局に研究推進課を新設。
 企画財務課の課内室であるふくしま医療－産業リエゾン推進室を、研究推進課の課

内室に改編。

附属病院の中央診療施設に人工透析センター、栄養管理部を新設。

治験センターの次長を2名から3名に増員し、総務担当次長1名、業務担当次長2名とした。

平成23.5.10 事務局の附属施設として、病児・病後児保育所を新設。

ㄥ 23.6.1 東日本大震災及び原発事故後の県民の健康管理対応のため、副学長を複数制にし、副学長（業務担当）を新設。

ㄥ 23.7.1 医学部の附属施設として医療制度研究センターを新設。

ㄥ 23.9.1 法人組織に放射線医学県民健康管理実施本部を新設。

大学組織に放射線医学県民健康管理センターを新設。

放射線医学県民健康管理センターに情報管理部門、疫学部門、臨床部門を新設。

ㄥ 23.10.1 医学部の生命科学・社会医学系に放射線生命科学講座、臨床医学系に放射線健康管理学講座を新設。

大学院医学研究科医学専攻（博士課程）10月入学開始。

ㄥ 24.2.1 医療人育成・支援センター内に災害医療総合学習センターを設置。

ㄥ 24.3.30 附属病院の救命救急センターを高度救命救急センターとして指定。

ㄥ 24.4.1 役員の所掌業務の追加に伴い、役員（教育研究担当）を役員（教育研究・県民健康管理担当）に、役員（地域医療担当）を役員（復興・地域医療担当）に改称。

法人組織に地域医療支援本部、広報戦略室、復興事業推進本部を新設。

知的財産管理活用オフィスを知的財産管理オフィスに改称し、知財部門と外部資金部門を新設。

トランスレーショナルリサーチセンターと産学官共同研究センターを統合し、産学官連携推進本部を新設し、リエゾン支援拠点部門と創薬関連トランスレーショナルリサーチ部門と医産連携部門を新設。

研究推進戦略室に研究基盤部門と臨床研究・治験部門を新設。

放射線医学県民健康管理センターに広報部門と国際連携部門を新設。

医学部の附属リハビリテーション研究所と先端医療研修推進・支援センターを廃止。

事務局に復興事業推進室と健康調査課を新設。

事務局を一本化し、附属病院には運営・管理部を置き、事務局次長（業務担当）、病院経営課、医事課、医療連携・相談室が兼務。

医学部学生定員増（110名を125名に増員）。

看護学部学定員増（80名を84名に増員）。

附属病院の副院長を4名から6名に増員。

専門看護技師（専門助産技師）を副看護師長（副助産師長）へ職名変更。

ㄥ 24.6.1 「感染制御・臨床検査医学講座」を「感染制御医学講座」に変更。

附属病院の内部組織として「放射線災害医療センター」を新設。

会津医療センター準備室に「準備副室長」を新設。

放射線医学県民健康管理センター臨床部門を、甲状腺検査部門、健康診査部門、こ

ころの健康度・生活習慣調査部門、妊産婦調査部門に再編するとともに、基本調査部門を新設。

市内栄町に放射線医学県民健康管理センター栄町オフィスを開設。

平成24.7.31 第6号館完成。

ㄥ 24.11.20 「ふくしま国際医療科学センター」を新設。

復興事業推進本部を廃止し、ふくしま国際医療科学センター整備運営本部を設置。ふくしま国際医療科学センターの下部組織に「放射線医学県民健康管理センター」を置き、「先端臨床研究センター」、「医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター」を新設。

医療－産業トランスレーショナルリサーチセンターの中に「臨床リソース・データ基盤分野」、「ゲノム解析分野」、「遺伝子発現解析分野」、「プロテオーム解析分野」、「トランスクリプトーム解析分野」、「遺伝子機能解析分野」、「ケミカルバイオロジー分野」、「インフォマティクス分野」、「動物実験分野」及び「臨床研究・治験分野」を新設。

ㄥ 25.3.1 「副理事」を新設。

「臨床検査医学講座」及び「甲状腺内分泌学講座」を新設。

ㄥ 25.4.1 医学部学生定員増（125名を130名に増員）。

復興事業推進室を「復興事業推進課」へ拡充。

ふくしま医療－産業リエゾン推進室を「医療－産業連携推進室」へ改編。

「臨床研究イノベーションセンター」を新設。

附属病院 乳腺・内分泌・甲状腺外科を乳腺外科及び甲状腺・内分泌外科へ改称。

放射線医学県民健康管理センター広報部門を広報コミュニケーション部門に変更するとともに、線量評価部門を新設。

事務局に復興担当の事務局次長職を新設。

ㄥ 25.5.1 理事を増員し、「復興担当」、「県民健康管理担当」、「教育研究・人材開発担当」、「経営・渉外担当」、「医療・臨床教育担当」、「企画・地域医療担当」、「管理運営担当」に改編。

ㄥ 25.5.12 「会津医療センター準備室」を廃止し「会津医療センター」を設置。

ㄥ 25.7.1 医学部の「神経生理学講座」を「システム神経科学講座」に改編。

放射線県民健康管理センターに「事業管理部門」を新設。

ㄥ 25.8.1 医学部に「疫学講座」及び「放射線物理化学講座」を新設。

ㄥ 25.10.1 医学部に「災害こころの医学講座」を新設。

放射線県民健康管理センターの「基本調査部門」と「線量評価部門」を「基本調査・線量評価部門」に改編。「こころの健康度・生活習慣支援部門」を新設。

ㄥ 25.12.1 附属病院の「医療情報部」の内部組織として「第三次システム開発室」を新設。

ㄥ 25.12.3 附属病院に「甲状腺センター」を新設。

ㄥ 26.4.1 大学に「総括副学長」を新設。また、副学長を「総務担当」、「学務担当」、「臨床教育担当」、「企画・地域医療担当」へ改称。

「法人経営室」を事務局より法人組織へ改編。

法人組織の「企画室」と「広報戦略室」を「企画広報戦略本部」へ改編し、大学に「広報コミュニケーション室」を新設。

法人組織として「男女共同参画推進本部」を、大学に「男女共同参画支援室」を新設。

大学に「地域医療支援センター」を新設。

大学の附属施設として「附属死因究明センター」を新設。

医療人育成・支援センターの部門に「看護学教育研修部門」を新設。「災害医療総合学習センター」を内部組織に改編。

「学術情報室」を総務課の課内室へ改編。

健康調査課の課内室として「甲状腺検査室」を新設。

「学生課」に研修支援係を加えて、「教育研修支援課」に改編。

附属病院の副院長を6名から7名に増員。

附属病院の診療科に「小児腫瘍内科」を新設。

放射線県民健康管理センターの11部門を「甲状腺検査部門」、「国際連携・コミュニケーション部門」、「健康調査部門」、「疫学・統計部門」の4部門に改編。

先端臨床研究センターに「分子イメージング部門」、「臨床研究・治験部門」及び「環境動態調査部門」を新設。

平成26.7.1 附属病院の診療科に「漢方内科」、「リハビリテーション科」を新設。

ㄥ 26.8.1 医学部に「放射線腫瘍学講座」を新設。

附属病院の診療科に「放射線治療科」を新設。

ㄥ 26.9.1 医学部に「腫瘍内科学講座」を新設。

附属病院の診療科に「腫瘍内科」を新設。

ㄥ 26.10.1 医学部に「放射線災害医療学講座」を新設。

ㄥ 27.1.1 医学部に「健康リスクコミュニケーション学講座」を新設。

ㄥ 27.4.1 ふくしま国際医療科学センターに「総括副センター長」を新設。

放射線医学県民健康管理センターの「国際連携・コミュニケーション部門」と「疫学・統計部門」を「健康調査支援部門」に改編。

総合科学教育研究センターの領域名称変更に伴い、医学部人間科学講座「人文社会科学」を「生命倫理学分野」に、同講座「外国語」及び看護学部総合科学部門「外国語」を「言語学分野」に、医学部自然科学講座「数学」を「数理情報学分野」に、同講座「化学」を「先端化学分野」に、同講座「生物学」を「分子細胞生物学分野」に、同講座「物理学」を「数理解物質科学分野」に、看護学部総合科学部門「社会学」を「行動科学分野」に名称変更。

附属病院の中央診療施設に「臨床研究教育推進部」を新設。

会津医療センターに「麻酔科学講座」を新設。

ㄥ 27.8.26 附属病院が「高度被ばく医療支援センター」、「原子力災害医療・総合支援センター」に指定。

- 平成27.10.1 先端臨床研究センターに「分子治療学部門」を新設し、「分子イメージング部門」を「分子画像学部門」に名称変更。
- ㄥ 27.11.1 附属病院に「災害医療部」を新設。「災害医療部」の内部組織として「基幹災害医療センター」、「原子力災害医療・総合支援センター」、「高度被ばく医療支援センター」、「二次被ばく医療室」を新設。
 - ㄥ 28.1.29 「先端臨床研究センター棟」、「環境動態解析センター棟」完成。
 - ㄥ 28.3.1 附属病院の中央診療施設に「痛み緩和医療センター」を新設。
 - ㄥ 28.3.22 「学生寮」完成。
 - ㄥ 28.4.1 理事を復興担当、県民健康管理担当、研究・地域医療担当、教育担当、医療・臨床教育担当、経営・渉外担当、企画・管理運営担当に再編。
法人組織の「研究推進戦略室」を「医療研究推進本部」へ名称変更。
大学に「国際交流室」、「ふくしま子ども・女性医療支援センター」及び「医療研究推進センター」を新設、学生部を医療人育成・支援センターの内部組織として統合。
医学部に「リハビリテーション医学講座」を新設し、「循環器・血液内科学講座」を「循環器内科学講座」及び「血液内科学講座」に再編。
大学院医学研究科に「災害・被ばく医療科学共同専攻」を新設。
附属病院の副病院長を7名から5名に減員。
附属病院の診療科に「甲状腺・内分泌内科」を新設。中央診療施設に「甲状腺・内分泌診療センター」「人工関節センター」を新設。内部組織として「ふたば救急総合医療支援センター」を新設。「災害医療部」の内部組織として「事務部」を新設。「治験センター」を「臨床研究センター」に名称変更。
ふくしま国際医療科学センターに「甲状腺・内分泌センター」及び「健康増進センター」を新設。
事務局教育研修支援課の課内室として「新医療系学部設置準備室」を新設、「研究推進課」を「医療研究推進課」に名称変更。
 - ㄥ 28.5.1 附属病院の中央診療施設に「遺伝診療部」を新設。
 - ㄥ 28.6.30 「災害医学・医療産業棟」完成。
 - ㄥ 28.7.1 医学部の「腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座」を「腎臓高血圧内科学講座」及び「糖尿病内分泌代謝内科学講座」に再編。
 - ㄥ 28.8.1 医学部の「消化器・リウマチ膠原病内科学講座」を「消化器内科学講座」及び「リウマチ膠原病内科学講座」に再編。
 - ㄥ 28.10.1 附属病院に「総合内科」を新設。
 - ㄥ 28.10.28 「ふくしま いのちと未来のメディカルセンター棟」完成。
 - ㄥ 28.11.1 医学部「臓器再生外科学講座」（旧外科学第一講座）及び「器官制御外科学講座」（旧外科学第二講座）を、「消化管外科学講座」「肝胆膵・移植外科学講座」「呼吸器外科学講座」「乳腺外科学講座」に再編。
附属病院に「核医学科」を新設。
 - ㄥ 28.12.1 放射線医学県民健康管理センター栄町オフィスを閉所し、事務所を光が丘へ移転。

平成28.12.11 ふくしま国際医療科学センター開設記念式典挙行。

ㄨ 29.2.1 附属病院に「こども医療センター」を新設。

ㄨ 29.3.31 附属病院「第三次システム開発室」を廃止。

ㄨ 29.4.1 大学に「看護師特定行為研修センター」を新設。

法人組織の「医療研究推進本部」、「産学官連携推進本部」及び「知的財産管理活用オフィス」を統合して「医療研究推進戦略本部」を設置。

「復興事業推進課」を「復興推進課」に名称変更。

附属病院に「脳疾患センター」、「移植医療部」を新設。「地域連携部」を「患者サポートセンター」に名称変更。

会津医療センター「糖尿病・代謝・腎臓内科学講座」を「糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科学講座」に名称変更。

会津医療センター附属病院に「研修教育センター」を新設。

ㄨ 29.7.21 「手術室棟」完成。

ㄨ 30.4.1 法人組織に「新医療系学部設置推進本部」を新設。

放射線医学県民健康管理センターの「健康調査部門」を「健康調査基本部門」及び「健康調査県民支援部門」に再編。

医学部「医療制度研究センター」を廃止。「薬理学講座」を「病態制御薬理医学講座」へ名称変更。

附属病院に「心臓血管センター」を新設。

※創立は昭和19年が起点、開学は昭和22年が起点。

3 歴代理事長、部局長等

(30.6.1現在)

○ 理事長

平成18.4.1～20.3.31	高 地 英 夫
〳 20.4.1～29.3.31	菊 地 臣 一
〳 29.4.1～	竹 之 下 誠 一

○ 副理事長

平成18.4.1～20.3.31	菊 地 臣 一
〳 20.4.1～22.3.31	丹 羽 真 一
〳 22.4.1～26.4.30	竹 之 下 誠 一
〳 26.5.1～28.3.31	大 戸 齊
〳 28.4.1～	谷 川 攻 一

○ 学 長 (昭和22.6.17までは学校長)

昭和19.4.1～20.12.14 (事務取扱)	八 木 精 一
〳 20.12.15～22.2.8	八 木 精 一
〳 22.2.9～25.3.31	池 田 龍 一
〳 25.4.1～36.4.30	大 里 俊 吾 (初代)
〳 36.5.1～42.4.30	武 藤 完 雄 (第2代、第3代)
〳 42.5.1～43.4.30	勝 又 正 (第4代)
〳 43.5.1～44.6.12 (心得)	藤 原 留 造
〳 44.6.13～44.7.31 (〳)	辻 義 人
〳 44.8.1～45.11.1 (〳)	楠 信 男
〳 45.11.2～51.11.1	楠 信 男 (第5代、第6代)
〳 51.11.2～55.11.1	辻 義 人 (第7代)
〳 55.11.2～61.11.1	松 川 明 (第8代、第9代)
〳 61.11.2～平成4.11.1	伊 藤 司 (第10代、第11代)
平成4.11.2～8.11.1	若 狭 治 毅 (第12代)
〳 8.11.2～12.11.1	元 木 良 一 (第13代)
〳 12.11.2～16.11.1	茂 田 士 郎 (第14代)
〳 16.11.2～20.3.31	高 地 英 夫 (第15代)
〳 20.4.1～29.3.31	菊 地 臣 一 (第16代、第17代、第18代)
〳 29.4.1～	竹 之 下 誠 一 (第19代)

○ 副学長

平成16.5.1～16.11.30	丸 山 幸 夫
〳 16.12.1～18.3.31	鈴 木 仁

平成18.4.1~22.3.31	藤田 禎三
〳 22.4.1~23.7.14	阿部 正文
〳 23.7.15~26.3.31	阿部 正文 (総務担当)
〳 23.7.15~30.3.31	山下 俊一 (業務担当)
	神谷 研二 (〳)
〳 24.10.1~27.10.31	福原 俊一 (〳)
〳 25.5.1~26.3.31	大戸 斉 (〳)
	棟方 充 (〳)
〳 26.4.1~28.3.31	大戸 斉 (総務担当)
	紺野 慎一 (臨床教育担当)
	福島 哲仁 (学務担当)
	八木 沼洋行 (企画・地域医療担当)
	谷川 攻一 (業務担当)
〳 26.4.1~28.11.1	阿部 正文 (総括副学長)
〳 27.7.1~	吉村 泰典 (業務担当)
〳 27.11.1~	福原 俊一 (医師確保・健康長寿担当)
〳 28.4.1~30.3.31	大平 弘正 (総務担当)
〳 28.4.1~	齋藤 清 (臨床教育担当)
〳 28.4.1~29.3.31	橋本 康弘 (学務担当)
	宇川 義一 (研究・地域医療担当)
〳 29.4.1~	大戸 斉 (総括副学長)
	安村 誠司 (学務担当)
	紺野 慎一 (地域医療担当)
〳 30.4.1~	八木 沼洋行 (県民健康担当)
	錫谷 達夫 (特命担当)
	山下 俊一 (国際担当)

○ 医学部長

平成10.4.1~12.3.31	茂田 士郎
〳 12.4.1~16.3.31	高地 英夫
〳 16.4.1~18.3.31	菊地 臣一
〳 18.4.1~22.3.31	阿部 正文
〳 22.4.1~26.3.31	大戸 斉
〳 26.4.1~30.3.31	錫谷 達夫
〳 30.4.1~	竹石 恭知

○ 看護学部長

平成10.4.1~22.3.31	中	山	洋	子
〳 22.4.1~26.3.31	鈴	木	順	造
〳 26.4.1~28.3.31	真	壁	玲	子
〳 28.4.1~30.3.31	畠	山	とも	子
〳 30.4.1~	太	田		操

○ 学生部長

(昭和37.9.30までは学生課長、平成18.4.1から平成20.3.31までは学務部長)

昭和26.4.1~29.3.31	福	山	右	門
〳 29.4.1~32.3.31	山	本	寛	一
〳 32.4.1~34.3.31	鈴	木	武	彦
〳 34.4.1~36.7.31	横	山	正	松
〳 36.8.1~38.11.30	辻		義	人
〳 38.12.1~40.9.30	中	村	逸	雄
〳 40.10.1~42.10.10	藤	原	留	造
〳 42.10.11~45.6.30	鶴	見	膠	一
〳 45.7.1~47.6.30	黒	田		直
〳 47.7.1~49.8.31	塚	原		進
〳 49.9.1~49.10.31 (事務取扱)	楠		信	男
〳 49.11.1~51.10.31	星	島	啓一	郎
〳 51.11.1~53.10.31	小	島		瑞
〳 53.11.1~56.4.30	大	崎	丈	夫
〳 56.5.1~58.4.30	中	村	久	也
〳 58.5.1~61.11.1	伊	藤		司
〳 61.11.2~平成元.4.30	茂	田	士	郎
平成元.5.1~4.11.12	若	狭	治	毅
〳 4.11.13~7.4.30	福	島	匡	昭
〳 7.5.1~9.4.30	高	地	英	夫
〳 9.5.1~11.4.30	清	水		強
〳 11.5.1~13.4.30	菅	井	尚	則
〳 13.5.1~15.4.30	平	岩	幸	一
〳 15.5.1~17.4.30	藤	田	禎	三
〳 17.5.1~18.3.31	阿	部	正	文
〳 18.4.1~22.3.31	藤	田	禎	三
〳 22.4.1~24.3.31	阿	部	正	文
〳 24.4.1~26.3.31	錫	谷	達	夫

平成26.4.1～28.3.31	岡田達也
〳 28.4.1～	松岡有樹

○ 附属病院長 (平成10.4.1から平成18.3.31までは医学部附属病院長)

昭和19.4.1～26.5.27	池田龍一
〳 26.5.28～27.6.19	丸井琢次郎
〳 27.6.20～29.7.28	若林俊一
〳 29.7.29～31.5.14	九嶋勝司
〳 31.5.15～34.4.30	楠信男
〳 34.5.1～36.4.30	梶浦睦男
〳 36.5.1～38.4.30	栗野亥佐武
〳 38.5.1～40.4.30	貴家寛而
〳 40.5.1～42.4.30	大原徳明
〳 42.5.1～44.4.30	松川明
〳 44.5.1～44.7.31	楠信男
〳 44.8.1～46.4.30	遠藤辰一郎
〳 46.5.1～48.4.30	飯島進
〳 48.5.1～50.4.30	大内仁
〳 50.5.1～52.4.30	本多憲児
〳 52.5.1～54.3.31	吉田赳夫
〳 54.4.1～56.4.30	奥秋晟
〳 56.5.1～59.4.30	大内仁
〳 59.5.1～63.4.30	白岩康夫
〳 63.5.1～平成2.4.30	熊代永
平成2.5.1～4.4.30	白岩康夫
〳 4.5.1～8.4.30	阿部力哉
〳 8.5.1～10.4.30	加藤桂一郎
〳 10.5.1～12.4.30	大谷巖
〳 12.5.1～14.4.30	鈴木仁
〳 14.5.1～16.4.30	丸山幸夫
〳 16.5.1～18.3.31	丹羽真一
〳 18.4.1～20.3.31	菊地臣一
〳 20.4.1～22.3.31	竹之下誠一
〳 22.4.1～24.3.31	村川雅洋
〳 24.4.1～26.3.31	棟方充
〳 26.4.1～28.3.31	紺野慎一
〳 28.4.1～	齋藤清

○ 総合科学教育研究センター長

平成20.4.1～22.3.31	藤	田	禎	三
〳 22.4.1～24.3.31	安	村	誠	司
〳 24.4.1～26.3.31	錫	谷	達	夫
〳 26.4.1～28.3.31	和	栗		聡
〳 28.4.1～	永	福	智	志

○ 医療人育成・支援センター長

平成20.4.1～22.3.31	藤	田	禎	三
〳 22.4.1～26.3.31	福	島	哲	仁
〳 26.4.1～27.9.30	大	森	孝	一
〳 27.10.1～28.3.31	大	津	留	晶
〳 28.4.1～29.1.31	橋	本	康	弘
〳 29.2.1～	大	谷	晃	司

○ 附属学術情報センター長 (平成18.3.31までは附属図書館長)

昭和25.4.1～26.9.5	宮	路	重	嗣
〳 26.10.19～30.4.30	宍	戸	仙	太郎
〳 30.5.1～32.4.30	横	山	正	松
〳 32.5.1～35.11.30	北	村	四	郎
〳 35.12.1～38.4.30	藤	原	留	造
〳 38.5.1～40.4.30	小	島		瑞
〳 40.5.1～43.10.24	星	島	啓	一郎
〳 43.10.25～46.3.31	辻		義	人
〳 46.4.1～48.3.31	鶴	見	膠	一
〳 48.4.1～50.3.31	大	崎	丈	夫
〳 50.4.1～52.3.31	鈴	木	武	彦
〳 52.4.1～54.3.31	中	村	久	也
〳 54.4.1～56.3.31	黒	田		直
〳 56.4.1～58.3.31	伊	藤		司
〳 58.4.1～60.3.31	長	井		靖
〳 60.4.1～平成元.3.31	若	狭	治	毅
平成元.4.1～3.3.31	茂	田	士	郎
〳 3.4.1～5.3.31	高	地	英	夫
〳 5.4.1～7.3.31	中	西	弘	則
〳 7.4.1～9.3.31	菅	井	尚	則
〳 9.4.1～11.3.31	福	島	匡	昭
〳 11.4.1～13.3.31	香	山	雪	彦

平成13.4.1～15.3.31	清水 強
ゝ 15.4.1～17.3.31	鈴木 利光
ゝ 17.4.1～20.3.31	平岩 幸一
ゝ 20.4.1～22.3.31	八木 沼洋行
ゝ 22.4.1～24.3.31	上田 和毅
ゝ 24.4.1～26.3.31	大平 弘正
ゝ 26.4.1～29.3.31	和田 郁夫
ゝ 29.4.1～	黒田 直人

○ **附属展示館長** (平成18.4.1 附属学術情報センターに統合)

昭和63.4.1～平成6.3.31	菅井 尚則
平成6.4.1～8.11.5	杉浦 康夫
ゝ 8.11.6～12.3.31	平岩 幸一
ゝ 12.4.1～18.3.31	八木 沼洋行

○ **医学部附属生体情報伝達研究所長**

(昭和62.3.31までは附属中央研究所長、平成6.3.31までは附属研究所長、平成10.3.31までは生体情報伝達研究所長)

昭和29.5.1～36.4.30	大里 俊吾
ゝ 36.5.1～42.4.30	武藤 完雄
ゝ 42.5.1～43.4.30	勝又 正
ゝ 45.10.14～51.11.1	楠 信男
ゝ 51.11.2～55.11.1	辻 義人
ゝ 55.11.2～61.11.1	松川 明
ゝ 61.11.2～平成4.11.1	伊藤 司
平成4.11.2～8.11.1	若狭 治毅
ゝ 8.11.2～10.3.31	元木 良一
ゝ 10.4.1～12.3.31	茂田 士郎
ゝ 12.4.1～14.3.31	高地 英夫
ゝ 14.4.1～18.3.31	小林 和人
ゝ 18.4.1～	本間 好

○ **医学部附属放射性同位元素研究施設長**

(平成10.3.31までは放射性同位元素研究施設長)

平成6.4.1～13.3.31	藤田 禎三
ゝ 13.4.1～29.3.31	本間 好
ゝ 29.4.1～	小林 和人

○ **医学部附属実験動物研究施設長** (平成10.3.31までは実験動物研究施設長)

平成6.4.1～9.9.2	清水 強
ゝ 9.9.3～12.3.31	丸山 幸夫

- | | |
|---|--------|
| 平成12.4.1～16.3.31 | 鈴木利光 |
| 〳 16.4.1～22.3.31 | 小林和人 |
| 〳 22.4.1～24.3.31 | 片平清昭 |
| 〳 24.4.1～30.3.31 | 関口美穂 |
| ○ 医学部附属医療制度研究センター長 (平成30.4.1 廃止) | |
| 平成23.7.1～26.3.31 | 大戸 齊 |
| 〳 26.4.1～30.3.31 | 錫谷 達夫 |
| ○ 医学部附属死因究明センター長 | |
| 平成26.4.1～27.3.31 | 錫谷 達夫 |
| 〳 27.4.1～ | 黒田 直人 |
| ○ 医学部附属リハビリテーション研究所長 | |
| (平成10.3.31までは附属リハビリテーション研究所長、平成24.3.31廃止) | |
| 昭和44.9.1～53.4.30 | 吉田 赳夫 |
| 〳 53.5.19～62.3.31 | 塚原 進 |
| 〳 62.4.1～平成3.3.31 | 粕川 禮司 |
| 平成3.4.1～5.3.31 | 児玉 南海雄 |
| 〳 5.4.1～7.3.31 | 菊地 臣一 |
| 〳 7.4.1～9.3.31 | 山本 悌司 |
| 〳 9.4.1～11.3.31 | 茂田 士郎 |
| 〳 11.4.1～13.3.31 | 丹羽 真一 |
| 〳 13.4.1～15.3.31 | 丸山 幸夫 |
| 〳 15.4.1～17.3.31 | 山口 脩 |
| 〳 17.4.1～19.3.31 | 児玉 南海雄 |
| ○ 医学部附属看護学校長 (平成10.3.31までは附属看護学校長、平成13.3.31閉校) | |
| 昭和25.4.1～27.9.14 | 丸井 琢次郎 |
| 〳 27.9.15～30.4.30 | 若林 俊一 |
| 〳 30.5.1～31.5.14 | 九嶋 勝司 |
| 〳 31.5.15～34.4.30 | 楠 信男 |
| 〳 34.5.1～36.4.30 | 梶浦 睦雄 |
| 〳 36.5.1～38.4.30 | 栗野 亥佐武 |
| 〳 38.5.1～40.4.30 | 貴家 寛而 |
| 〳 40.5.1～42.4.30 | 大原 徳明 |
| 〳 42.5.1～42.11.10 | 松川 明 |
| 〳 42.11.11～44.5.10 | 大原 徳明 |
| 〳 44.5.11～46.3.31 | 栗野 亥佐武 |
| 〳 46.4.1～48.3.31 | 松川 明 |

昭和48.4.1~49.9.9	遠藤辰一郎
〃 49.9.10~51.9.9	飯島進
〃 51.9.10~53.9.9	大内仁
〃 53.9.10~55.9.9	本多憲児
〃 55.9.10~56.3.31	塚原進
〃 56.4.1~57.3.31	黒田直
〃 57.4.1~59.3.31	奥秋晟
〃 59.4.1~60.3.31	大崎丈夫
〃 60.4.1~61.3.31	中村久也
〃 61.4.1~63.3.31	熊代永
〃 63.4.1~平成2.3.31	白岩康夫
平成2.4.1~4.3.31	木村和衛
〃 4.4.1~6.3.31	福地総逸
〃 6.4.1~8.3.31	元木良一
〃 8.4.1~10.3.31	大谷巖
〃 10.4.1~13.3.31	佐藤章

○ 事務局長

昭和25.4.1~25.6.17 (事務取扱)	渡部浩 (総務部庶務課長)
〃 25.6.17~26.9.1 (〃)	八島喜右工門 (〃)
〃 26.9.1~28.6.30 (心得)	柳沼重三
〃 28.7.1~28.8.2	柳沼重三
〃 28.8.3~28.9.2 (兼務)	穴沢栄 (総務部地方課長)
〃 28.9.3~30.8.31 (事務取扱)	八島喜右工門 (総務部長)
〃 30.9.1~33.3.1	坪井寅寿
〃 33.4.1~39.7.14	佐藤七右工門
〃 39.7.15~44.3.31	新城文武
〃 44.4.1~46.7.14	岡田宗治
〃 46.7.15~47.5.31	富田善一郎
〃 47.6.1~49.3.31	吉成敬三
〃 49.4.1~50.12.31	黒沢三郎
〃 51.1.1~51.5.31	横田謙一郎
〃 51.6.1~54.3.31	小野茂
〃 54.4.1~55.3.31	佐藤静雄
〃 55.4.1~56.3.31	高木博
〃 56.4.1~58.7.15	奥山健一
〃 58.7.16~61.3.31	菅井旭

昭和61.4.1～63.3.31	古川丈孫
〳 63.4.1～平成元.3.31	小宅厚
平成元.4.1～3.4.21	高橋貞夫
〳 3.4.22～5.3.31	岡田雅光
〳 5.4.1～7.3.31	佐藤家治
〳 7.4.1～9.3.31	宍戸正照
〳 9.4.1～11.3.31	井上俊郎
〳 11.4.1～13.3.31	大谷正洋
〳 13.4.1～15.3.31	鈴木孝雄
〳 15.4.1～16.3.31	鈴木泰雄
〳 16.4.1～19.3.31	遠藤俊博
〳 19.4.1～22.3.31	野崎洋一
〳 22.4.1～26.3.31	藤島初男
〳 26.4.1～28.3.31	井出孝利
〳 28.4.1～30.3.31	佐藤宏隆
〳 30.4.1～	戸田光昭

○ **会津医療センター長**（平成25.5.11までは会津医療センター準備室長）

平成22.4.1～24.3.31	棟方充
〳 24.4.1～	高久史磨

○ **ふくしま国際医療科学センター長**

平成24.11.20～28.3.31	菊地臣一
〳 28.4.1～	谷川攻一

○ **放射線医学県民健康管理センター長**

平成23.9.1～25.3.31	山下俊一
〳 25.4.1～28.11.1	阿部正文
〳 28.11.2～	神谷研二

○ **先端臨床研究センター長**

平成24.11.20～29.3.31	竹之下誠一
--------------------	-------

○ **医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター長**

平成24.11.20～28.3.31	和栗聡
〳 28.4.1～	渡辺慎哉

4 施設の概要

(1) 名称及び所在地

福島県立医科大学医学部	福島市光が丘1番地
福島県立医科大学看護学部	〃
福島県立医科大学附属病院	〃
ふくしま国際医療科学センター	〃
福島県立医科大学医学部附属研究所・研究施設	〃
福島県立医科大学附属学術情報センター	〃
福島県立医科大学医療研修センター	〃
福島県立医科大学会津医療センター	会津若松市河東町谷沢字前田21番地2

(2) 校 地

学部、校舎	45,366㎡
講堂	1,486〃
体育館・武道館・プール、洋弓場、和弓場	12,700〃
グラウンド	19,633〃
野球場・テニスコート	13,864〃
学生寮	1,551〃
艇庫	495〃
附属病院	75,455〃
9号館（医療研修センター）	3,047〃
10号館（附属研究所・研究施設）	4,839〃
駐車場・汚水処理場・その他	277,248〃
会津医療センター	50,121〃
合 計	505,805〃

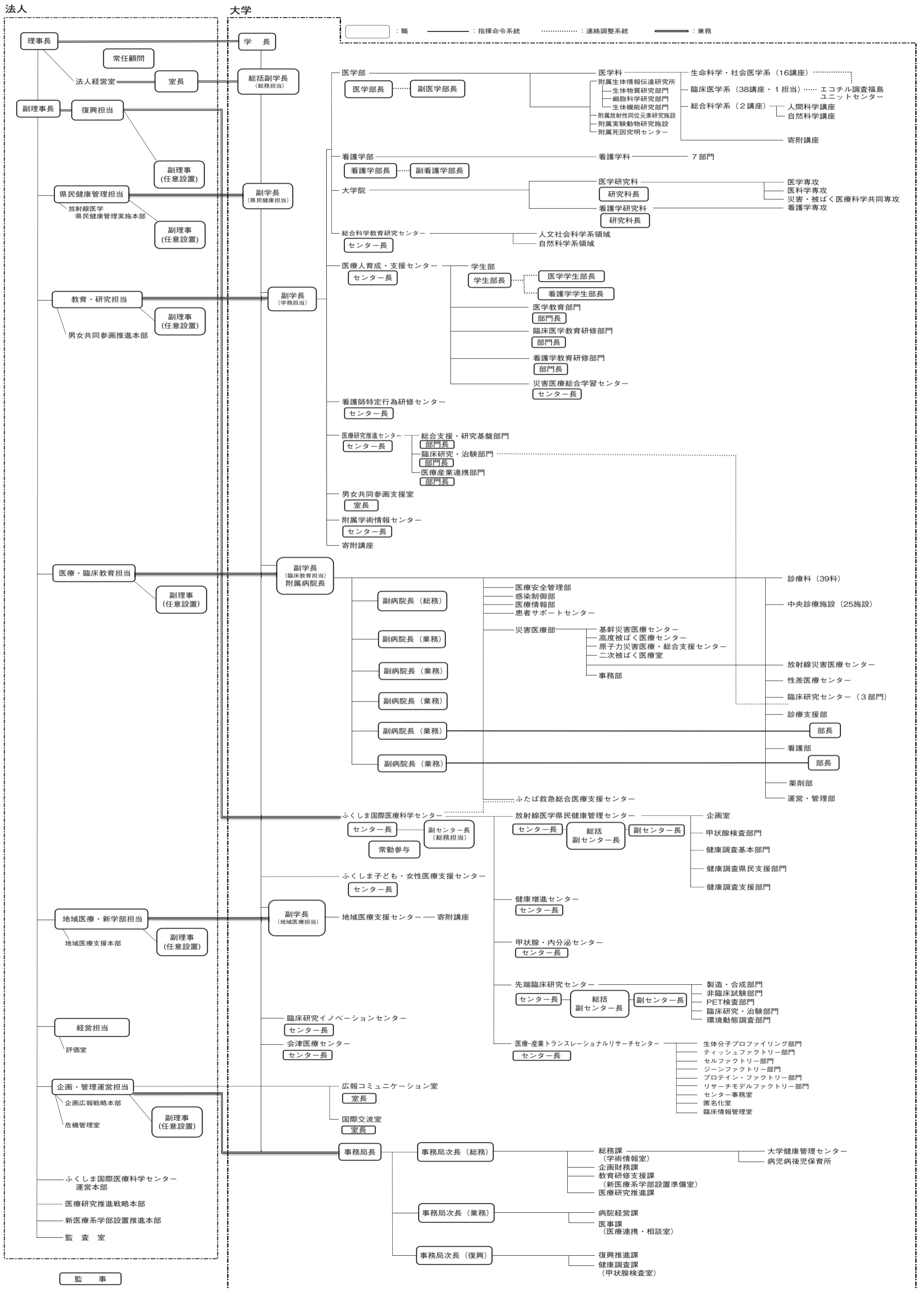
(3) 校舎等建物

1号館（管理棟） 鉄筋コンクリート造・3階建	2,556㎡
2号館（臨床医学系研究棟） 鉄骨、鉄筋コンクリート造・地上5階地下1階建	8,614〃
3号館（生命科学・社会医学系研究棟） 〃 ・5階建	6,563〃
4号館（総合科学系研究棟） 〃 ・地上5階地下1階建	7,197〃
5号館（実習棟） 〃 ・2階建	1,261〃
〃（講義棟） 鉄筋コンクリート造・2階建	1,306〃
〃（福利厚生棟） 〃 ・ 〃	1,373〃
6号館（新講義棟） 〃 ・ 〃	1,256〃
7号館（光が丘会館） 〃 ・ 〃	783〃
8号館（看護学部棟） 鉄骨、鉄筋コンクリート造・地上・6階地下1階建	13,205〃

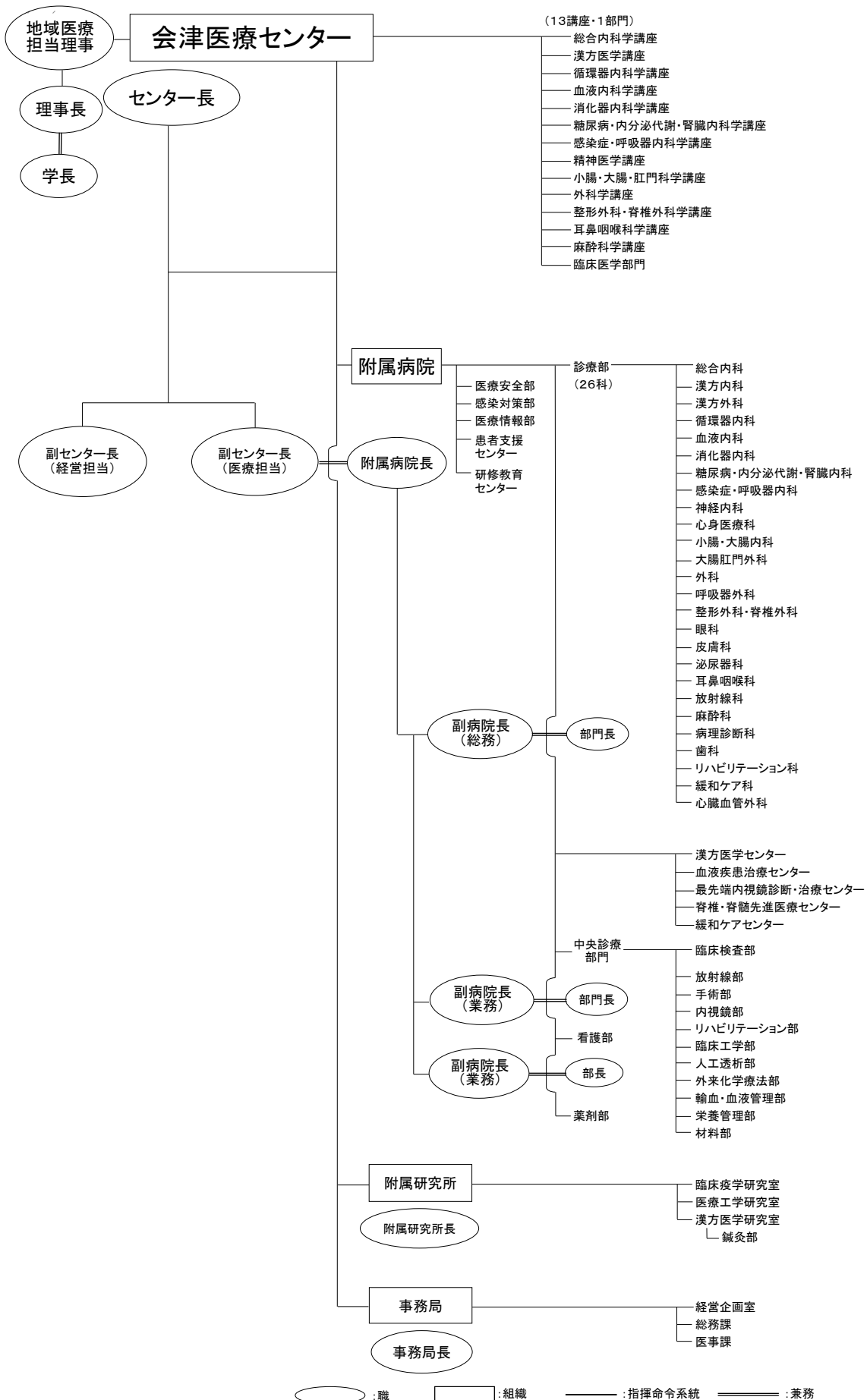
9号館（医療研修センター）	鉄筋コンクリート造・4階建	2,639㎡
10号館（附属研究所・研究施設）	〃 ・5階建	7,669㎡
11号館（臨床講義棟）	〃 ・2階建	1,107㎡
12号館	〃 ・4階建	2,602㎡
講堂	〃 ・2階建	1,750㎡
附属学術情報センター	鉄筋コンクリート造・2階建	4,101㎡
体育館・武道館	〃（一部鉄骨造）・3階建	4,554㎡
和弓場	鉄骨造・平屋建	113㎡
附属病院	鉄骨、鉄筋コンクリート造・地上10階地下1階建	56,635㎡
北外来棟 （カンファランス棟）	鉄筋コンクリート造・3階建	1,834㎡
心身医療科病棟	〃 ・2階建	1,547㎡
MRI棟・ ハイエネルギー棟	〃 ・平屋建	2,026㎡
手術室棟	〃 ・3階建	1,880㎡
原子力災害第2 次緊急医療施設	〃 ・平屋建	351㎡
看護師宿舎	〃 ・5階建	2,955㎡
託児所	〃 ・平屋建	480㎡
学生寮	〃 ・3階建	2,096㎡
汚水処理棟	〃 ・平屋建	1,304㎡
冷凍機械室棟	〃 ・2階建（一部3階建）	374㎡
洗濯場	鉄骨造 ・平屋建	118㎡
救命救急機械室	鉄筋コンクリート造・2階建	171㎡
へり格納庫	鉄骨造 ・平屋建	324㎡
リハビリテーションセンター	〃 ・2階建	334㎡
その他附属施設		1,346㎡
会津医療 センター	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）・6階建	24,280㎡
環境動態解析 センター棟	鉄筋コンクリート造・2階建	864㎡
先端臨床研究 センター棟	〃 ・地上3階地下1階建	5,487㎡
災害医学・ 医療産業棟	鉄骨造 ・地上8階地下1階建	10,023㎡
ふくしまのちと未来の メディカルセンター棟	〃 ・地上7階地下1階建	23,896㎡
受電施設棟	鉄筋コンクリート造・2階建	874㎡
合 計		207,848㎡

5 組織機構図

(30.4.1 現在)



公立大学法人福島県立医科大学 会津医療センター組織機構図



6 役 職 員

(30.6.1現在)

□ 法 人 ○ 役 員 会

理 事 長 竹之下誠一
副理事長(復興担当) 谷川 攻一
理 事(県民健康管理担当) 八木沼洋行
〃 (医療・臨床教育担当) 齋藤 清
〃 (教育・研究担当) 安村 誠司
〃 (地域医療・新学部担当) 紺野 慎一
〃 (経営担当) 菊地 健一
〃 (企画・管理運営担当) 戸田 光昭
監 事 菅野 浩司
〃 鈴木 和郎

○ 法人経営室
室 長 (兼) 大戸 斉

○ 企画広報戦略本部
本 部 長 (兼) 戸田 光昭

○ 医療研究推進戦略本部
本 部 長 (兼) 大戸 斉

○ 放射線医学県民健康管理実施本部
本 部 長 (兼) 大平 弘正

○ 男女共同参画推進本部
本 部 長 (兼) 安村 誠司

○ 評 価 室
室 長 (兼) 菊地 健一

○ 地域医療支援本部
本 部 長 (兼) 紺野 慎一

○ 危機管理室
室 長 (兼) 戸田 光昭

○ ふくしま国際医療科学センター運営本部
本 部 長 (兼) 谷川 攻一

○ 監 査 室
室 長 (兼) 岡田 達也

○ 経営審議会
議 長 竹之下誠一
委 員 谷川 攻一
〃 菊地 健一
〃 齋藤 清
〃 戸田 光昭
外 部 委 員 玄侑 宗久
〃 林 由美子
〃 前原 和平
〃 吉川 恵章
〃 渡辺 健壽

○ 教育研究審議会
議 長 竹之下誠一
委 員 大戸 斉
〃 安村 誠司
〃 竹石 恭知
〃 太田 操
〃 齋藤 清
〃 小林 和人
〃 坂本 祐子
〃 黒田 直人
〃 本間 好
〃 谷川 攻一
〃 紺野 慎一
〃 戸田 光昭
〃 錫谷 達夫
〃 大谷 晃司
〃 松岡 有樹
〃 永福 智志
〃 本多たかし
外 部 委 員 跡見 裕
〃 佐藤富美子

□ 大 学

学 長	(兼)	竹之下 誠一
総括副学長(総務担当)	〃	大戸 齊
副学長(県民健康担当)	〃	八木沼洋行
〃 (学務担当)	〃	安村 誠司
〃 (臨床教育担当)	〃	齋藤 清
〃 (地域医療担当)	〃	紺野 慎一
〃 (特命担当)		錫谷 達夫
〃 (国際担当)		山下 俊一
〃 (業務担当)		神谷 研二
〃 (医師確保・健康長寿担当)		福原 俊一
〃 (業務担当)		吉村 泰典

○ 医 学 部

学 部 長	教授 (兼)	竹石 恭知
副学部長	〃	関根 英治
内科学部門長	〃	大平 弘正
外科学部門長	〃	鈴木 眞一

〔生命科学・社会医学系 (16講座)〕

神経解剖・発生学講座	主任 教授	八木沼洋行
解剖・組織学講座	〃	和栗 聡
細胞統合生理学講座	〃	挾間 章博
システム神経科学講座	〃	永福 智志
生 化 学 講 座	〃	橋本 康弘
免 疫 学 講 座	〃	関根 英治
病態制御薬理医学講座	〃	下村 健寿
微生物学講座	〃	錫谷 達夫
基礎病理学講座	〃	千葉 英樹
衛生学・予防医学講座	〃	福島 哲仁
公衆衛生学講座	〃	安村 誠司
法 医 学 講 座	〃	黒田 直人
放射線生命科学講座	〃	坂井 晃
疫 学 講 座	〃	大平 哲也
放射線物理化学講座	〃	石川 徹夫
健康リスクコミュニケーション学講座	主任事務取扱	(兼) 大津留 晶

〔臨床医学系 (37講座)〕

循環器内科学講座	主任 教授	竹石 恭知
血液内科学講座	〃	池添 隆之

消化器内科学講座	主任 教授	大平 弘正
リウマチ膠原病内科学講座	〃	右田 清志
腎臓高血圧内科学講座	〃	風間順一郎
糖尿病内分泌代謝内科学講座	〃	島袋 充生
神経内科学講座	主任事務取扱	(兼) 永福 智志
呼吸器内科学講座	主任	柴田 陽光
消化管外科学講座	〃	河野 浩二
肝胆膵・移植外科学講座	〃	丸橋 繁
呼吸器外科学講座	〃	鈴木 弘行
乳腺外科学講座	〃	大竹 徹
心臓血管外科学講座	〃	横山 齊
脳神経外科学講座	主任事務取扱	(兼) 紺野 慎一
整形外科科学講座	主任	紺野 慎一
形成外科学講座	〃	小山 明彦
産科婦人科学講座	〃	藤森 敬也
小児科学講座	〃	細矢 光亮
眼 科 学 講 座	〃	石龍 鉄樹
皮膚科学講座	〃	山本 俊幸
泌尿器科学講座	〃	小島 祥敬
耳鼻咽喉科学講座	〃	室野 重之
神経精神医学講座	〃	矢部 博興
放射線医学講座	〃	伊藤 浩
麻 醉 科 学 講 座	〃	村川 雅洋
救急医療学講座	〃	伊関 憲
病理病態診断学講座	〃	橋本 優子
臨床検査医学講座	〃	志村 浩己
感染制御医学講座	〃	金光 敬二
輸血・移植免疫学講座	〃	池田 和彦
地域・家庭医療学講座	〃	葛西 龍樹
放射線健康管理学講座	〃	大津留 晶
甲状腺内分泌学講座	〃	鈴木 眞一
災害こころの医学講座	〃	前田 正治
放射線腫瘍学講座	〃	鈴木 義行
腫瘍内科学講座	〃	佐治 重衡
放射線災害医療学講座	〃	長谷川有史
リハビリテーション医学講座	〃	大井 直往

〔総合科学系 (2講座)〕

人間科学講座	主任 教授	藤野美都子
自然科学講座	〃	岡田 達也

〔寄附講座 (24講座)〕

プログレッシブ DOHaD 研究講座	主任 教授	志村 龍男
低侵襲腫瘍制御講座	〃 〃 (兼)	紺野 慎一
先端癌免疫治療研究講座	〃 〃	大戸 齊
神経再生医療学講座	〃 〃 (兼)	宇川 義一
心臓病先進治療学講座	〃 〃 〃	竹石 恭知
生活習慣病・慢性腎臓病 (CKD) 病態治療学講座	特任 教授	旭 浩一
周産期・小児地域医療支援講座	〃 教授 (兼)	細矢 光亮
災害医療支援講座	〃 〃 〃	紺野 慎一
地域救急医療支援講座	〃 〃 〃	紺野 慎一
地域産婦人科支援講座	〃 〃 〃	藤森 敬也
肺高血圧先進医療学講座	〃 〃 〃	竹石 恭知
疼痛医学講座	〃 〃 〃	矢吹 省司
スポーツ医学講座	〃 〃	沼崎 広法
白河総合診療アカデミー	〃 〃 (兼)	福原 俊一
東白川整形外科アカデミー	〃 〃 〃	紺野 慎一
地域整形外科支援講座	〃 〃 〃	紺野 慎一
外傷学講座	〃 〃	松下 隆
消化器内視鏡 先端医療支援講座	〃 〃	小原 勝敏
腸内環境病態医療学講座	〃 〃 (兼)	錫谷 達夫
不整脈病態制御医学講座	〃 〃 〃	竹石 恭知
医療エレクトロニクス研究講座	〃 〃 〃	下村 健寿
多発性硬化症治療学講座	〃 〃 〃	宇川 義一
生体機能イメージング講座	〃 〃	石渡 喜一
外傷再建学講座	〃 〃	伊藤 雅之

○ 医学部附属生体情報伝達研究所

所 長	教授 (兼)	本間 好
生体物質研究部門	研究 主任 教授	本間 好
細胞科学研究部門	〃 〃	和田 郁夫
生体機能研究部門	〃 〃	小林 和人

○ 医学部附属放射性同位元素研究施設

施設 長	教授 (兼)	小林 和人
------	--------	-------

○ 医学部附属実験動物研究施設

施設 長	教授	関口 美穂
------	----	-------

○ 医学部附属死因究明センター

センター 長	教授 (兼)	黒田 直人
--------	--------	-------

○ 看護学部

学 部 長	教授 (兼)	太田 操
副 学 部 長	〃 〃	高橋 香子
総合科学部門長	〃	中山 仁
生命科学部門長	〃	本多たかし
基礎看護学部門長	〃	坂本 祐子
療養支援看護学部門長	〃	山手 美和
家族看護学部門長	〃	和田久美子
地域・在宅看護学部門長	〃	高橋 香子
母性看護学・助産学部門長	〃	太田 操

○ 大学院

医学研究科 長	教授 (兼)	小林 和人
医学専攻 長	教授 (兼)	千葉 英樹
医科学専攻 長	〃 〃	永福 智志
神経医科学専攻 長	〃 〃	小林 和人
分子病態医科学専攻 長	〃 〃	千葉 英樹

※平成21年4月1日より、医学専攻として統合。
平成21年3月31日に当該専攻に在学する者が
当該専攻に在学しなくなる日までの間、存続
するものとする。

災害・被ばく医療 科学共同専攻 長	教授 (兼)	坂井 晃
看護学研究科 長	〃 〃	坂本 祐子

○ 総合科学教育研究センター

センター 長	教授 (兼)	永福 智志
人文社会科学系領域 長	教授 (兼)	亀田 政則
自然科学系領域 長	〃 〃	松岡 有樹

○ 事務局

事務局 長	(兼)	戸田 光昭
事務局次長 (総務担当)		伊藤 剛
〃 (業務担当)		菅井 敏美
〃 (復興担当)		齋藤 善護

総務課長
 学術情報室長
 企画財務課長
 医療研究推進課長
 教育研修支援課長
 新医療系学部設置準備室長
 大学健康管理センター所長
 病児病後児保育所長
 病院経営課長
 医事課長
 医療連携・相談室長
 復興推進課長
 健康調査課長
 甲状腺検査室長

小柴 康宏
 (兼)小柴 康宏
 菅野 勝男
 大野 竜一
 加藤 宏明
 矢吹 省司
 板垣俊太郎
 准教授 (兼)川崎 幸彦
 佐藤 博
 大槻 立志
 鈴木 正彦
 平野井 徹
 野本 雅彦
 原田 浩幸

医療安全管理部長
 感染制御部長
 医療情報部長
 患者サポートセンター部長
 災害医療部長
 ふたば救急総合医療支援センター長
 循環器内科部長
 血液内科部長
 消化器内科部長
 リウマチ・膠原病内科部長
 腎臓・高血圧内科部長
 糖尿病・内分泌代謝内科部長
 神経内科部長
 呼吸器内科部長
 漢方内科部長
 腫瘍内科部長
 総合内科部長
 呼吸器外科部長
 消化管外科部長
 肝胆膵・移植外科部長
 乳腺外科部長
 小児外科部長
 甲状腺・内分泌内科部長
 甲状腺・内分泌外科部長
 心臓血管外科部長
 脳神経外科部長
 整形外科部長
 形成外科部長
 産科部長
 婦人科部長
 小児科部長
 小児腫瘍内科部長
 眼科部長
 皮膚科部長
 泌尿器科・副腎内分泌外科部長
 耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長
 心身医療科部長
 放射線科部長
 放射線治療科部長

講師 大内 一夫
 教授 (兼)金光 敬二
 准教授 鈴木 均
 〃 山田 仁
 講師 (兼)島田 二郎
 〃 谷川 攻一
 教授 (兼)竹石 恭知
 〃 〃 池添 隆之
 〃 〃 大平 弘正
 〃 〃 右田 清志
 〃 〃 風間順一郎
 〃 〃 島袋 充生
 講師 〃 小林 俊輔
 教授 〃 柴田 陽光
 〃 〃 小宮ひろみ
 〃 〃 佐治 重衡
 〃 濱口 杉大
 〃 (兼)鈴木 弘行
 〃 〃 河野 浩二
 〃 〃 丸橋 繁
 〃 〃 大竹 徹
 〃 田中 秀明
 〃 (兼)鈴木 悟
 〃 〃 鈴木 眞一
 〃 〃 横山 斉
 〃 〃 佐久間 潤
 〃 〃 紺野 慎一
 〃 〃 小山 明彦
 〃 〃 藤森 敬也
 准教授 〃 渡邊 尚文
 教授 〃 細矢 光亮
 〃 〃 菊田 敦
 〃 〃 石龍 鉄樹
 〃 〃 山本 俊幸
 〃 〃 小島 祥敬
 〃 〃 室野 重之
 〃 〃 矢部 博興
 〃 〃 伊藤 浩
 〃 〃 鈴木 義行

○ 医療人育成・支援センター

センター長 教授 大谷 晃司
 学生部長 〃 (兼)松岡 有樹
 医学学生部長 〃 〃 永福 智志
 看護学学生部長 〃 〃 本多たかし

 医学教育部門長 教授 亀岡 弥生
 臨床医学教育研修部門長 〃 (兼)大谷 晃司
 看護学教育研修部門長 〃 〃 和田久美子
 災害医療総合学習センター長 〃 〃 大津留 晶

○ 看護師特定行為研修センター

センター長 教授 (兼)鈴木 弘行

○ 附属病院

病院長 (兼)齋藤 清
 副病院長(総務・企画・経営担当) 教授 〃 鈴木 弘行
 〃 (教育・研修・臨床研究担当) 〃 〃 佐治 重衡
 〃 (中央診療施設機能強化・医療情報担当) 〃 〃 鈴木 義行
 〃 (安全管理・感染制御・事故防止・質管理・災害医療担当) 〃 〃 大竹 徹
 〃 (医療連携・患者サービス病院機能改善担当) 〃 〃 目黒 文子

核医学科部長	教授(兼)	織内 昇
麻酔・疼痛緩和科部長	〃	〃 村川 雅洋
病理診断科部長	〃	〃 橋本 優子
歯科口腔外科部長	准教授	長谷川 博
救急科部長	教授(兼)	伊関 憲
リハビリテーション科部長	〃	〃 大井 直往
検査部長	〃	〃 志村 浩己
放射線部長	〃	〃 鈴木 義行
手術部長	〃	〃 黒澤 伸
集中治療部長	准教授	五十州 剛
総合周産期母子医療センター部長	教授(兼)	細矢 光亮
病理部長	〃	〃 橋本 優子
輸血・移植免疫部長	〃	〃 池田 和彦
地域・家庭医療部長	〃	〃 葛西 龍樹
内視鏡診療部長	准教授	引地 拓人
リハビリテーションセンター部長	教授(兼)	大井 直往
救命救急センター部長	〃	〃 伊関 憲
臨床腫瘍センター長	〃	〃 佐治 重衡
臨床工学センター部長	〃	〃 横山 斉
人工透析センター部長	講師	〃 田中 健一
痛み緩和医療センター部長	教授	小幡 英章
甲状腺・内分泌診療センター部長	特命教授(兼)	横谷 進
人工関節センター部長	教授	〃 青田 恵郎
遺伝診療部長	准教授	〃 渡邊 尚文
こども医療センター部長	教授	〃 細矢 光亮
脳疾患センター部長	〃	〃 矢部 博興
移植医療部長	〃	〃 丸橋 繁
栄養管理部長	〃	〃 鈴木 義行
材料部長	〃	〃 見城 明
臨床研究教育推進部長	准教授	栗田 宜明
性差医療センター部長	教授	小宮ひろみ
臨床研究センター長	〃(兼)	佐治 重衡
診療支援部長	〃	〃 鈴木 義行
看護部長	副病院長	〃 目黒 文子
薬剤部長		和泉啓司郎

○ 附属学術情報センター

センター長 教授(兼) 黒田 直人

○ 会津医療センター

センター長		高久 史磨
副センター長(経営担当)		室井 勝
〃(医療担当)		棟方 充
附属病院長	(兼)	棟方 充
附属副病院長(総務)	〃	白土 修
附属副病院長(業務)	〃	鶴谷 善夫
附属副病院長(業務) 兼看護部長		松本 光
附属研究所長	(兼)	高久 史磨
事務局長		小林 真
総合内科学講座	教授	鈴木 啓二
漢方医学講座	〃	三瀧 忠道
循環器内科学講座	〃	鶴谷 善夫
血液内科学講座	〃	大田 雅嗣
消化器内科学講座	主任事務取扱	〃 棟方 充
糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科学講座	〃	橋本 重厚
感染症・呼吸器内科学講座	〃	新妻 一直
精神医学講座	〃	川勝 忍
小腸・大腸・肛門科学講座	〃	富樫 一智
外科学講座	〃	齋藤 拓朗
整形外科・脊椎外科学講座	〃	白土 修
耳鼻咽喉科学講座	〃	小川 洋
麻酔科学講座	〃	村山 隆紀
臨床医学部門長	〃	北條 洋

○ ふくしま国際医療科学センター

センター長	(兼)	谷川 攻一
常勤参与	〃	菊地 臣一
副センター長	〃	藤島 初男

[放射線医学県民健康管理センター]

センター長	(兼)	神谷 研二
総括副センター長	〃	大戸 斉
甲状腺検査部門長	教授	〃 志村 浩己
健康調査部門長	〃	〃 大津留 晶
健康調査県民支援部門長	〃	〃 前田 正治

[健康増進センター]

センター長	教授(兼)	大平 弘正
-------	-------	-------

副センター長 教授(兼) 大平 哲也
〃 講師 宮崎 真
[甲状腺・内分泌センター]

センター長 特命教授 横谷 進
[先端臨床研究センター]

総括副センター長 (兼) 藤島 初男
副センター長 教授 〃 伊藤 浩
〃 〃 鈴木 義行
製造・合成部門長 〃 高橋 和弘
非臨床試験部門長 〃 趙 松吉
PET検査部門長 准教授(兼) 石井 士朗
臨床研究・治験部門長 特命准教授 〃 南川 一夫
環境動態調査部門長 教授 〃 石川 徹夫

[医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター]
センター長 教授 渡辺 慎哉
副センター長 〃 家村俊一郎
〃 (兼) 藤島 初男

○ 臨床研究イノベーションセンター
センター長 理事長付特命教授(兼) 福原 俊一

○ 医療研究推進センター
センター長 特命准教授 南川 一夫

○ 男女共同参画支援室
室長 教授(兼) 小宮ひろみ

○ 広報コミュニケーション室
室長 特命教授 松井 史郎

○ 国際交流室
室長 教授(兼) 和栗 聡

○ 地域医療支援センター
センター長 教授(兼) 紺野 慎一
副センター長 〃 〃 大平 弘正
〃 〃 小宮ひろみ

○ ふくしま子ども・女性医療支援センター
センター長 特命教授 水沼 英樹

7 名 譽 教 授

(30.6.1 現在)

名誉教授	池	田	龍	一 ※	名誉教授	芳	賀	馨 ※
〃	大	里	俊	吾 ※	〃	伊	藤	司 ※
〃	若	林	俊	一 ※	〃	星	島	啓一郎 ※
〃	武	藤	完	雄 ※	〃	木	村	和 衛
〃	山	本	寛	一 ※	〃	福	地	総 逸 ※
〃	丸	井	琢次郎	※	〃	白	岩	康 夫
〃	栗	野	亥佐武	※	〃	竹	川	佳壽子
〃	藤	原	留	造 ※	〃	若	狹	治 毅
〃	楠		信	男 ※	〃	奥	秋	晟 ※
〃	横	山	正	松 ※	〃	稻	村	裕 ※
〃	梶	浦	睦	雄 ※	〃	阿	部	力 哉
〃	大	原	徳	明 ※	〃	中	西	弘 則
〃	鶴	見	膠	一 ※	〃	高	久	祐 治
〃	辻		義	人 ※	〃	福	島	匡 昭
〃	鈴	木	武	彦 ※	〃	粕	川	禮 司
〃	黒	田		直 ※	〃	星	野	俊 一 ※
〃	遠	藤	辰一郎	※	〃	元	木	良 一
〃	大	内		仁 ※	〃	引	地	岳 雄
〃	大	崎	丈	夫 ※	〃	田	中	正 敏
〃	松	川		明 ※	〃	加	藤	桂一郎 ※
〃	塚	原		進	〃	清	水	強
〃	飯	島		進 ※	〃	大	谷	巖
〃	中	村	久	也 ※	〃	茂	田	士 郎
〃	長	井		靖 ※	〃	菅	井	尚 則
〃	南	條	善	治	〃	山	本	悌 司
〃	森			一 ※	〃	鈴	木	仁
〃	刈	米	重	夫 ※	〃	金	子	史 男
〃	小	島		瑞 ※	〃	吉	田	浩
〃	松	本		淳 ※	〃	大	波	哲 雄
〃	熊	代		永	〃	丸	山	幸 夫

名誉教授	児	玉	南	海	雄
〃	高	地	英		夫
〃	鈴	木	利		光
〃	佐	藤			章 ※
〃	落	合	威		彦
〃	香	山	雪		彦
〃	藤	田	禎		三
〃	山	口			脩
〃	丹	羽	真		一
〃	清	水	研		明
〃	中	山	洋		子
〃	荒	川	唱		子
〃	平	岩	幸		一
〃	志	賀	令		明
〃	渡	辺			毅
〃	宍	戸	文		男
〃	小	林	恒		夫
〃	林		正		幸
〃	木	村	純		子
〃	後	藤	満		一
〃	竹	之	下		誠
〃	真	壁	玲		子
〃	阿	部	正		文
〃	菊	地	臣		一
〃	棟	方			充
〃	上	田	和		毅
〃	大	戸			斉
〃	鈴	木	順		造
〃	宇	川	義		一

(発令順 ※は故人)

8 運 営 概 況

(1) 所 属 別 職 員 数

(30.6.1 現在)

所 属	職	学 長	副 学 長	教 員					事 務 ・ 技 術 系 職 員					合 計			
				教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	小 計	事 務 職 員	技 術 職 員	技 能 職 員	労 務 職 員		小 計		
学 長		1														0	1
副 学 長			10													0	0
医 学 部				91	48	70	134	158	501	2	52	4	1	59	560		
生 命 科 学 ・ 社 会 医 学 系				15	8	13	30	7	73		18	3		21	94		
臨 床 医 学 系				43	24	41	84	129	321	2	28	1		31	352		
綜 合 科 学 系				4	5	4	1		14					0	14		
寄 附 講 座				25	8	9	11	22	75					0	75		
附 属 生 体 情 報 伝 達 研 究 所				3	2	2	7		14		3			3	17		
附 属 放 射 性 同 位 素 研 究 施 設					1				1		1			1	2		
附 属 実 験 動 物 研 究 施 設				1		1	1		3		1		1	2	5		
附 属 死 因 究 明 セ ン タ ー									0		1			1	1		
看 護 学 部				11	6	15	8	8	48					0	48		
大 学 院				2(104)	(63)	(89)			2(256)					0	2(256)		
綜 合 科 学 教 育 研 究 セ ン タ ー				3	2	0			5					0	5		
医 療 人 育 成 ・ 支 援 セ ン タ ー				2		1	3	3	9					0	9		
看 護 師 特 定 行 為 研 修 セ ン タ ー				1					1					0	1		
医 療 研 究 推 進 セ ン タ ー					2		0	1	3					0	3		
附 属 学 術 情 報 セ ン タ ー									0		1			1	1		
広 報 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 室				1					1					0	1		
ふ く し ま 子 ど も ・ 女 性 医 療 支 援 セ ン タ ー				3		1			4	1				1	5		
事 務 局				7	4	1	0	5	17	228	52	20	0	300	317		
理 事 (経 営 担 当) ・ 局 長 ・ 次 長									0	5				5	5		
綜 務 課									0	26	9			35	35		
学 術 情 報 課									0	2	7			9	9		
企 画 財 務 課									0	17				17	17		
医 療 研 究 推 進 課									0	25				25	25		
教 育 研 修 支 援 課									0	25				25	25		
新 医 療 系 学 部 設 置 準 備 室				7	3	1		4	15	9				9	24		
大 学 健 康 管 理 セ ン タ ー				1				1	2		1			1	3		
病 院 経 営 課									0	18				18	18		
医 事 課 (医 療 連 携 ・ 相 談 室)									0	26	17	16		59	59		
復 興 推 進 課									0	9				9	9		
健 康 調 査 課 (甲 状 腺 検 査 室)									0	66	18	4		88	88		
附 属 病 院				7	10	8	11	22	58	11	1,078	2	0	1,091	1,149		
病 院 長 部				1					1					0	1		
医 療 安 全 管 理 部					1				1	2	2			4	5		
感 染 制 御 部									0		2			2	2		
医 療 情 報 部					1				1					0	1		
患 者 サ ポ ー ト セ ン タ ー					1				1		11			11	12		
災 害 医 療 部									0	3				3	3		
ふ た ば 救 急 総 合 医 療 支 援 セ ン タ ー				1	1	1		3	6					0	6		
診 療 部				3	2	2	4	7	18					2	20		
検 査 部								1	1		50			50	51		
放 射 線 部									0		47			47	47		
手 術 部					1				1					0	1		
集 中 治 療 部					1	1	2	1	5					0	5		
綜 合 周 産 期 母 子 医 療 セ ン タ ー						2	2	5	9					0	9		
病 理 部									0		10			10	10		
輸 血 ・ 移 植 免 疫 部									0		10			10	10		
地 域 ・ 家 庭 医 療 部									0					0	0		
内 視 鏡 診 療 部					1		2	1	4		3			3	7		
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン セ ン タ ー									0		25			25	25		
救 命 救 急 セ ン タ ー									0					0	0		
臨 床 腫 瘍 セ ン タ ー						1		1	2		1			1	3		
臨 床 工 学 セ ン タ ー									0		19			19	19		
人 工 透 析 セ ン タ ー								1	1					0	1		
痛 み 緩 和 医 療 セ ン タ ー				1			1		2					0	2		
脳 疾 患 セ ン タ ー					1	1			2					0	2		
材 料 部									0			1		1	1		
臨 床 研 究 教 育 推 進 部								1	1					0	1		
性 差 医 療 セ ン タ ー				1				1	2					0	2		
臨 床 研 究 セ ン タ ー									0	4	5			9	9		
看 護 部									0	1	843			844	844		
薬 剤 部									0	1	48	1		50	50		
ふ く し ま 国 際 医 療 科 学 セ ン タ ー				2					2					0	2		
放 射 線 医 学 県 民 健 康 管 理 セ ン タ ー				3	3	2	2	5	15					0	15		
健 康 増 進 セ ン タ ー					1	1		2	4	1	1			2	6		
甲 状 腺 内 分 泌 セ ン タ ー				1					1					0	1		
先 端 臨 床 研 究 セ ン タ ー				3	1	1	1	3	9	1	3			4	13		
医 療 - 産 業 ト ラ ン ス レ ー シ ョ ナ ル リ サ ー チ セ ン タ ー				4	4	3	9	4	24	1				1	25		
臨 床 研 究 イ ノ ベ ー シ ョ ン セ ン タ ー							1	3	4					0	4		
会 津 医 療 セ ン タ ー				15	12	18	5	5	55	22	276	10		308	363		
合 計		1	10	156	93	121	174	219	763	267	1,463	36	1	1,767	2,531		

(2) 医学部・看護学部の主な研究題目

ア 医学部

生 命 科 学 ・ 社 会 医 学 系	神経解剖・発生学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・神経分化と神経細胞死 ・神経伝導路の形成メカニズム ・発生過程の神経系への遺伝子導入法の開発 ・脳形成過程での細胞移動と層構築機構の研究 ・小脳内領域の形成機序と機能に関する研究 ・光遺伝学を用いた脳機能解析
	解剖・組織学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞内分解システム ・オートファジー（自食作用）の形態学と生理機能 ・細胞内メンブレントラフィック ・神経組織と腫瘍細胞におけるクラスリンアダプターの機能解析 ・電子顕微鏡による細胞内微細構造解析
	細胞統合生理学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンチャネル・トランスポータの分子細胞生理学 ・細胞防御機構に関わるイオンチャネル・トランスポータの研究 ・上皮・内皮膜輸送の研究 ・循環生理学 ・高脂血症モデル家兎をもちいた病態生理学
	システム神経科学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的認知（顔認知・個体関係認知）・社会行動の神経機構に関する神経生理学的・認知神経科学的研究 ・視知覚・視覚認知・視覚記憶の神経機構に関する神経生理学的・認知神経科学的研究 ・大脳辺縁系、前頭皮質、側頭皮質の機能的連関に関する神経生理学的・行動薬理学的研究 ・動物モデルを用いた統合失調症をはじめとする精神疾患の病態解明の研究 ・睡眠・覚醒調節の神経機構に関する神経生理学的・行動薬理学的研究
	生化学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・アルツハイマー病をはじめとする、中枢神経系疾患マーカーの研究 ・がん糖鎖マーカーの研究
	免疫学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・補体系におけるセリンプロテアーゼ MASP-1/3 の作用機構の解明 ・MASP-1/3 の個体発生における新たな役割に関する研究 ・各種炎症性疾患における補体因子 MASP-1/3 の作用機構の解明 ・セリンプロテアーゼ MASP-1/3 を標的とする新規補体抑制分子の開発 ・SLE モデルマウスを用いた自己反応性B細胞形成過程の解明
	病態制御薬理医学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・肥満・生活習慣病の病態制御ならびに治療法の研究 ・KATP チャネル異常に基づく新生児糖尿病/DEND 症候群の病態機序と治療法の研究 ・インスリン分泌機序に基づく糖尿病の病態研究 ・脳・全身連関に基づく糖尿病・肥満研究 ・薬物トランスポーターを介する医薬品食品相互作用の研究
	微生物学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルペスウイルスの分子レベルでの発症病理の解明 ・正常細菌叢の解析 ・ゲノムを用いた微生物同定法の開発 ・抗菌・抗ウイルス活性を持つ物質の検索 ・プレバイオティクス・プロバイオティクスの研究
	基礎病理学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞間接着シグナルによる初期胚幹細胞の新規上皮分化誘導機構 ・過剰な細胞間接着シグナルによるがんの悪性形質増強機構 ・細胞間接着シグナルによる腸上皮幹細胞の運命決定機構 ・細胞間接着シグナルに着目した新規ダイレクト・リプログラミングの創出 ・間葉系幹細胞における細胞間接着分子の発現と機能 ・核内受容体とその代謝関連標的分子に着目した難治がん治療法 ・ネフローゼ症候群ポドサイトにおけるタイト結合新生の意義－新規診断マーカーと治療標的の同定 ・宿主細胞間接着分子を標的とするC型肝炎の新規予防・治療法の開発 ・統合失調症における血液脳関門の破綻とその分子機構
	衛生学・予防医学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災・福島第一原子力発電所事故後の労働者の健康問題に関する研究 ・健康診査・保健指導と受療行動・医療費に関する研究 ・神経細胞の老化（パーキンソン病など）に影響をおよぼす生活要因に関する研究 ・循環器疾患のリスクの解明 ・喫煙量、飲酒量の指標の検討およびその定量化方法の確立 ・中毒/トキシコロジー ・熱中症の予防と実践に関する研究 ・高齢者の日常生活動作、及び健康寿命に関する研究 ・医療施設・介護老人保健施設における転倒発生の要因とその対策における研究 ・地域における難病患者のQOL（quality of life）に関する質的検討 ・コラボレーションを通じて学ぶ参加型・問題解決型医学教育手法の開発 ・疾患マーカーの探索

生 命 科 学 ・ 社 会 医 学 系	公衆衛生学講座	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の（臨床）疫学と予防 老年学（転倒・骨折、閉じこもりの（臨床）疫学、認知加齢） 災害の疫学（県民健康調査、市町村支援他） 精神保健（被災地等におけるこころの健康づくり） 政策科学（介護保険・医療保険制度の見直し） 地域保健（母子・成人保健、人材育成） 予防理学療法・身体活動に関する研究
	法医学講座	<ul style="list-style-type: none"> 緊縛性ショックモデルにおける病態生理・生化学的解析 向精神薬の中毒学的研究 白質損傷を伴う脳外傷の組織学的検討 心副伝導路検索のルーチン化手法の開発 甲状腺ラテント癌の病理・疫学的研究 死後変化を考慮した死後画像診断に関する基礎的研究 放射能汚染死体の死因究明に関する技術的研究
	放射線生命科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 低線量被ばく（医療被ばく）における染色体解析を用いた生物学的線量評価方法の確立 ヒト正常Bリンパ球由来 iPS 細胞を用いたBリンパ球系（多発性骨髄腫）がん幹細胞研究 福島県における小児甲状腺がん発症者の末梢血リンパ球を用いた染色体解析による生物学的線量評価 東電原発作業員の染色体解析を用いた生物学的線量評価
	疫学講座	<ul style="list-style-type: none"> 脳卒中、虚血性心疾患、心臓突然死、心房細動等の循環器疾患の発症・予防に関する疫学研究 生活習慣病と心理社会的因子との関連についての疫学研究 肥満、高血圧、糖尿病、介護予防に対する介入研究 うつ予防のための生活習慣・ストレス対処行動に関する疫学研究 脳卒中、虚血性心疾患、認知症等の疾病登録についての研究 震災が生活習慣及び生活習慣病に及ぼす影響とその対策についての疫学研究 笑い和生活習慣病・認知症との関連についての疫学研究
	放射線物理化学講座	<ul style="list-style-type: none"> 原発事故後の外部・内部被ばく線量評価 原発事故で放出された放射性物質の環境動態調査 放射線物質（ラドン・大地ガンマ線）による被ばく線量の評価 放射線測定・線量評価に関する国内外の研究機関との連携推進
	健康リスクコミュニケーション学講座	<ul style="list-style-type: none"> 安全や健康に関するリスク評価、リスク管理 リスク認知およびリスク受容とリスクコミュニケーション リスク対策に向けたレギュラトリーサイエンスの構築 主観的／社会的幸福度向上のためのリスク学の確立
臨 床 医 学 系	循環器内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 心不全の分子病態解明と治療学的研究 動脈硬化の分子病態解明と治療法の開発 冠動脈疾患の病態解明と予防的治療法の確立 末梢動脈疾患の病態解明と治療法の確立 不整脈の病態解明と治療法の確立 肺高血圧症の病態解明と治療法の確立 成人先天性心疾患の治療に関する研究 睡眠呼吸障害の病態解明と心血管疾患に関連した治療法の確立 循環器疾患における危険因子を考慮した疫学的研究 PET/MRI を用いた心血管画像診断 DNA 損傷と心血管機能 Cardio-oncology
	血液内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 造血細胞移植後に発症する内皮症候群の病態解明と予防方法の開発 造血細胞移植後の免疫異常の病態解明とその制御方法の開発 急性白血病の新規治療標的分子の探索 骨髄不全症候群及び急性白血病の病態解明と治療への応用 造血異常クローンの増殖機序に関する研究 骨髄増殖性疾患の発症及び進展に関わる遺伝子異常の解明
	消化器内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 消化管癌の内視鏡的治療法の確立 胆道疾患の内視鏡治療法の開発 超音波内視鏡を用いた胆膵疾患の診断に関する臨床研究 炎症性腸疾患の診断と治療、炎症性腸疾患モデルを用いた病態解析 自己免疫性肝疾患の病態と治療に関する臨床的および基礎的研究 肝疾患における自己抗体に関する臨床的および基礎的研究 ウイルス性肝炎の病態と治療に関する臨床的および基礎的研究 肝細胞癌の病態と治療に関する臨床的および基礎的研究

臨 床 医 学 系	リウマチ膠原病内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 自己炎症疾患の病因、病態に関する研究 IgG4 関連疾患の病態における、補体システムの関与に関する研究 全身性エリテマトーデスの病態における、補体第二経路の関与に関する研究 神経精神ループスの病態における抗トリオースリン酸イソメラーゼ抗体の関与に関する研究 免疫抑制療法後の B 型肝炎ウイルス再活性化に関する研究
	腎臓高血圧内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> IgA 腎症の成因と予後に関する臨床研究 進行性腎障害の病態と治療に関する臨床的研究 腎障害進展ならびに腎不全合併症における生体内レドックス調節異常に関する基礎的・臨床的研究 腎障害進展における成長因子・オートコイドの意義 腎障害進展における脂質とその核内受容体の役割 慢性腎臓病 (CKD) とその背景因子 (生活習慣病、メタボリックシンドローム) の疫学 慢性腎臓病 (CKD) 医療連携システムの制度設計 食塩感受性高血圧の成因に関する分子生物学的研究 高血圧治療の脳血行動態・認知機能への影響 腹膜透析の腹膜障害抑制に関する研究 水素の抗炎症効果の臨床応用に関する研究 骨の材質特性に関する研究 尿毒症性骨粗鬆症の病態生理に関する研究 脆弱性骨折予防のための多職種連携プログラムの作成
	糖尿病内分泌代謝内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 副腎腫瘍および原発性アルドステロン症の診断病態治療 Pre-Cushing Syndrome (副腎偶発腫瘍) の診断・病態・治療 インスリン抵抗性の病態の解明と予後に関する基礎的および臨床的研究 糖尿病性血管合併症の発症・進展機序の解明に関する基礎的および臨床的研究 脂質異常症と動脈硬化進展機序に関する研究 異所性脂肪および心臓脂肪に関する基礎的および臨床的検討
	神経内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 反復磁気刺激の作用機序に関する研究 新しい反復磁気刺激法の開発と確立 ヒト運動野内調節機構の解明 PET、MRI による脳機能分析 パーキンソン病をはじめとする神経変性疾患の磁気刺激治療の開発 パーキンソン症候群の疾患バイオマーカーの探索と新規治療法開発の研究 てんかんの磁気刺激治療 不随意運動の発生機序に関する研究 脳深部刺激用コイルの開発 パーキンソン病における認知機能の心理学的研究 パーキンソン病における眼球運動系異常の解析 読字の神経基盤の研究 筋緊張性ジストロフィーにおける社会認知機能に関する研究 チャンネル病のチャンネル機能解析と遺伝子解析 神経興奮異常が神経疾患の病態生理に及ぼす影響に関する研究 神経軸索興奮特性検査の神経疾患バイオマーカーとしての応用の研究 筋興奮特性検査の神経筋疾患バイオマーカーとしての応用の研究 筋萎縮性側索硬化症の疾患バイオマーカーの探索と新規治療法開発の研究
	呼吸器内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 喘息ならびに COPD の新しい診断治療法の開発 喘息ならびに COPD の遺伝薬理学 (Pharmacogenetics) 間質性肺疾患の発症および病態に関する研究 呼気を用いた呼吸器疾患診断法の開発 自然免疫と肺疾患に関する研究 肺癌の新しい診断法の開発 肺癌の新しい化学療法の開発 気管支鏡を用いた新しい診断治療法の開発 抗結核薬の薬理学 喘息気道炎症マーカーの探索 喘息治療における抗体療法 糖鎖と肺疾患に関する研究 急性肺障害の病態に関する研究

臨 床 医 学 系	消化管外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 胃がん、食道癌、大腸癌に対する低侵襲手術（鏡視下手術、ロボット手術）の開発 胃がん、食道癌、大腸癌に対する癌免疫療法の臨床開発と先進医療 Stage II, III大腸癌の網羅的遺伝子解析によるバイオマーカーの同定 放射線照射+免疫チェックポイント阻害剤による新規がん免疫療法の臨床試験 WT1, surviving, MAGE-4を抗原とした樹状細胞ワクチンの開発 消化器癌におけるPD-L1の発現調節機構の解明 術前化学放射線療法における血中遊離癌細胞の臨床的意義の検討 炎症性腸疾患における外科介入の臨床的検討 触覚センサー付き鉗子の産学共同開発
	肝胆膵・移植外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 腫瘍免疫療法に関する基礎的研究とその臨床応用 臓器再生誘導に関する研究 肝再生および肝虚血再灌流障害の機構解析とその臨床応用 膵島移植実験およびその臨床応用 肝・膵切除に対する腹腔鏡手術法の開発 自己膵島移植に関する研究 拒絶反応の制御に関する研究 消化器癌における微小転移と肝細胞に関する研究 消化器癌に対する化学療法、化学放射線療法の効果予測法の確立 消化器癌の遺伝子解析による分子生物学的研究 肝胆膵領域疾患に対する手術法の研究と集学的治療法の開発
	呼吸器外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 腫瘍免疫療法に関する基礎的研究とその臨床応用 肺癌の分子生物学および予後因子の研究 新たなイメージング技術の開発 肺癌に対する低侵襲手術の開発（胸腔鏡手術、ロボット支援手術） 肺癌に対する免疫療法の開発 胸部領域手術における先端的医療機器の開発
	乳腺外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 整容性と根治性を考慮した乳癌の次世代診断治療法の開発 乳房・腋窩領域手術における先端的医療機器開発 次世代画像診断による至適な乳房温存手術の適応と臨床応用 次世代高度ナビゲーション技術を応用したセンチネルリンパ節生検の臨床応用 乳癌サブタイプ別診断に関する新規遺伝子セットの基礎および臨床研究 乳癌の長期予後と関連する新規遺伝子セットの基礎および臨床研究 乳癌薬物療法の治療効果予測分子マーカーの開発及び臨床応用 乳癌における新規腫瘍マーカーの臨床的意義と機能解析 家族性乳癌の分子生物学的研究および新規治療法の開発 乳癌に対する有効性の高い免疫療法の開発
	心臓血管外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 心拍動下手術に関する研究 ステントグラフトの改良、臨床応用に関する研究 弓部大動脈手術時の脳保護に関する研究 急性大動脈解離手術におけるステントグラフト治療の開発 手術シミュレーション及び評価法の開発 造血幹細胞を用いた血管新生療法 弁膜症における心機能と心筋細胞障害の研究 心臓手術における水利尿の効果 大動脈粥腫遊離防止に関する研究
	脳神経外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 脳神経外科手術の開発 神経内視鏡手術の開発 脳、脳神経、脊髄の誘発電位に関する電気生理学的研究とその臨床応用 蛍光脳血管撮影とレーザー光源の開発と臨床応用 脳腫瘍の遺伝子解析 脳脊髄液の糖タンパク解析 言語及び高次脳機能に関わる脳内ネットワークの解明 先進的な画像誘導手術の開発
	整形外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 腰部脊髄神経と馬尾の圧迫性神経障害に関する病態解明の研究 腰椎椎間板ヘルニアによる神経根障害のメカニズムと治療に関する研究 腰部神経根性疼痛に対する薬剤治療効果に関する研究 腰部椎間関節炎の新しい概念の病態解明と治療効果についての臨床および基礎的研究 慢性痛の病態解明、特にリエゾン精神医学との関与についての研究 慢性腰痛の病態解明と治療法の開発（再生医療を含む） スポーツ障害の疫学研究 運動器疾患の縦断的疫学研究

臨 床 医 学 系	形成外科学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・先天異常に対する初期手術および成人に至るまでのトータルケアの研究 ・微小血管外科を用いた遊離組織移植の研究 ・顔面神経麻痺に対する形成外科の手術の研究 ・皮弁移植のシミュレーション外科の研究 ・端側神経縫合の研究 ・創傷治癒機転の解析 ・リンパ浮腫に対する外科的治療の研究 ・乳房再建法の研究
	産科婦人科学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性羊胎仔動物実験モデルを用いた、胎児低酸素血症下における胎児内分泌学的動態・循環動態の研究 ・子宮内膜症における性ステロイド環境の解明と新しい治療法に関する研究 ・ヒト射出精子の受精能の評価をヒト精子核蛋白の異種性、卵管上皮との相互作用の面から研究 ・未成熟精子の受精能、受精のメカニズムを顕微授精のテクニックを用いて研究 ・卵巣癌が癌性腹膜炎に至る機序をマウス癌性腹膜炎モデルにより分子生物学的、病理学的に研究 ・婦人科悪性腫瘍内に出現する腫瘍関連マクロファージについての病理学的・分子生物学的研究
	小児科学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ脳症の病態解明と治療法開発に関する研究 ・亜急性硬化症全脳炎（SSPE）の病態解明と有効な治療法開発に関する研究 ・RSウイルスと反復性喘鳴との関連に関する研究 ・RSウイルスワクチン開発を目指した基礎的研究 ・エンテロウイルス感染症の分子生物学的診断法の確立とその臨床応用 ・ソニカルストレスが胎児マウス肺に与える影響についての分子生物学的検討 ・グルココルチコイドの血管透過性調整に関わるマイクロRNAの同定と臨床応用への検討 ・未熟児貧血に対するEPO製剤の投与方法に関する研究 ・新生児慢性肺障害の発症機序の解明と新たな治療法の開発 ・超早産児における先天性ウレアプラズマ感染による慢性肺疾患発症のメカニズムの解明 ・川崎病の病態解明と治療抵抗性に関する研究 ・急性・慢性腎障害および難治性中枢神経感染症の発症・進展過程におけるDAMPsの役割とその制御システムの検討 ・慢性腎炎に対する新しい治療法開発に関する研究 ・IgA腎症の発展に関与するウイルスの役割についての病態病理学的研究 ・腎糸球体の再生過程における糸球体内皮細胞の役割に関する検討 ・腎糸球体・間質の炎症惹起と硬化性病変進展過程におけるM1・M2マクロファージの役割と再生・硬化促進因子の解明 ・溶血性尿毒症性症候群の発症病態と腎修復過程の解明および新規治療薬開発 ・紫斑病性腎炎における糖鎖不全IgA1産生機序とその受容体同定による病態解析
	眼科学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢黄斑変性の治療に関する臨床的・基礎的研究 ・網膜疾患の画像診断（形態と機能の関連） ・糖尿病網膜症の分子生物学的研究 ・脈絡膜新生血管の発症機序解明と薬物治療 ・斜視、弱視に関する臨床的・基礎的研究 ・網膜硝子体疾患の手術治療に関する臨床的・基礎的研究 ・眼部腫瘍の臨床的研究
	皮膚科学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の免疫・アレルギー性疾患の発症機序と治療 ・自己免疫性水疱症の発症機序 ・皮膚硬化の発症機構の解析 ・乾癬の病因・病態に関する研究 ・アトピー性皮膚炎の発症機序に関する研究 ・アレルギー性接触皮膚炎の解析 ・皮膚悪性リンパ腫の発症機序に関する研究 ・メラノーマの臨床研究 ・膠原病の皮膚病変の成立機序の検討
	泌尿器科学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボット支援手術・腹腔鏡手術の術式の開発 ・小児膀胱尿管逆流に対する腹腔鏡下手術 ・前立腺肥大症・過活動膀胱などの下部尿路機能障害の病態解明と治療の応用 ・腎移植における拒絶反応の病態解明 ・男子不妊症の病態解明と新規治療法の開発 ・膀胱癌転移に関する病態解明 ・腎細胞癌における免疫チェックポイント阻害剤・分子標的薬に対する耐性機序の解明 ・前立腺癌細胞におけるアンドロゲンレセプター発現抑制機序の解明

臨 床 医 学 系	耳鼻咽喉科学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・頭頸部癌（特にウイルス関連癌）の転移能と発癌メカニズム・上皮間葉転換に関する研究 ・頭頸部癌のバイオマーカーに関する研究 ・センチネルリンパ節における腫瘍免疫応答 ・頭頸部悪性腫瘍に対する新しい診断・治療技術（経口腔の手術を含む）の開発 ・ウイルスによる聴覚障害とその予防に関する研究 ・鼻・副鼻腔手術の治療効果判定についての研究 ・嚥下障害の重症度診断と早期発見に関する研究 ・音声機能外科における低侵襲手術の開発 ・喉頭、気管などの気道組織再生に関する研究
	神経精神医学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症の発病機序と治癒機序の臨床的・基礎的研究 ・気分障害の病態生理と治癒機序の臨床的・基礎的研究 ・精神疾患の死後脳の組織学的・分子生物学的研究 ・精神神経疾患の病因と治癒機序についての分子遺伝学的研究 ・ADHDの生物学的診断法の開発 ・児童精神疾患の疫学研究 ・心身医学・リエゾン精神医学の臨床的研究 ・認知症の治療法に関する臨床的研究 ・てんかんの認知機能障害についての認知科学的研究・臨床薬理学的研究
	放射線医学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・PET/CT・PET/MRIによるがん診断に関する研究 ・脳神経疾患のマルチモーダルイメージングに関する研究 ・CT、MRI、PET、SPECTによる画像診断に関する研究 ・インターベンショナルラジオロジーに関する研究
	麻酔科学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・全身麻酔薬と脳内神経伝達物質に関する研究 ・麻酔薬の薬物動態・力学に関する研究 ・周術期の免疫能に関する研究 ・福島県における緩和ケアシステム構築に関する研究 ・手術中モニターに関する研究
	救急医療学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療の質の向上に関する研究 ・心肺蘇生法の研究 ・救急搬送システムの解析・ITC化の推進 ・重症患者における管理 ・災害時の救急医療・病院避難の検討 ・原子力災害医療と緊急被ばく医療 ・僻地救急医療の問題と対策 ・緊急気道確保法の研究 ・ドクターヘリ救急自動通報システム（D-Call Net）の研究
	病理病態診断学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・リンパ球の分化・成熟、機能に関する研究 ・反応性リンパ節疾患の病理 ・悪性リンパ腫の生物学的特性に関する病理学的・分子生物学的研究 ・小児腫瘍の病理学的・遺伝子学的研究
	臨床検査医学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査に関する臨床研究 ・甲状腺疾患の超音波診断に関する研究 ・小児・若年者甲状腺疾患に関する研究 ・甲状腺癌の分化・脱分化機構の解明とバイオマーカーの探索
	感染制御医学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床検体からの原因微生物の核酸検出による感染症診断 ・病原体の伝播経路や環境衛生の研究 ・急性感染症の早期に働く自然免疫細胞の役割
	輸血・移植免疫学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・造血幹細胞に関する研究 ・輸血と移植に伴う同種免疫反応と免疫寛容 ・母子不適合妊娠（赤血球型、血小板型）の診断等と治療 ・治療的造血前駆細胞と免疫細胞の分離と培養
	地域・家庭医療学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を基盤としたコモン・プロブレムの診断・治療・予防に関する研究 ・生活習慣病の予防的介入の効果に関する研究 ・患者中心の医療、家族志向ケアの教育効果及び臨床効果に関する研究 ・地域の保健・医療・介護・福祉・教育を包括した取り組みの評価に関する研究 ・医療政策学、医療経済学、地域看護学、医療IT学などを含む学際的研究

臨 床 医 学 系	放射線健康管理学講座	<ul style="list-style-type: none"> 放射線災害における被ばく医療、健康管理、地域医療の臨床研究 環境因子の及ぼす健康リスクに関する予防医学研究 放射線発がん機構の解明と診断法の開発 甲状腺疾患における超音波診断の開発 放射線災害下における癌スクリーニングが及ぼす社会心理学的影響 放射線災害に対応する医療関係者、保健担当者のための教育リソース開発
	甲状腺内分泌学講座	<ul style="list-style-type: none"> 甲状腺癌の発癌機構に関する研究 甲状腺ホルモン輸送と作用に関する研究 甲状腺未分化癌における遺伝子治療の開発 内分泌領域（甲状腺・副甲状腺・副腎）の内視鏡手術の開発と臨床応用 多発性内分泌腺腫症の分子生物学的解明と治療法の研究 内分泌腫瘍における骨・カルシウム代謝の研究 低線量被曝の甲状腺に与える影響の研究 甲状腺超音波診断 組織弾性イメージング 小児甲状腺癌の診断と治療 ヨード摂取と甲状腺疾患について 内分泌腫瘍に関する iPS 細胞樹立とその応用 甲状腺癌治療における免疫システムの研究
	災害こころの医学講座	<ul style="list-style-type: none"> 災害、とくに原子力災害が及ぼす精神保健上の問題に関する研究 被災地住民への有効な介入技法の検討 支援者の精神保健に関する調査研究およびその介入 PTSD 等に関する、被災地での心理教育技法の確立 原子力災害におけるスティグマ発生に関するメカニズムとその予防に関する検討
	放射線腫瘍学講座	<ul style="list-style-type: none"> 放射線による抗腫瘍免疫の活性化に関する基礎・トランスレーショナル研究 免疫療法同時併用放射線療法（免疫放射線療法）に関する臨床研究 腫瘍の低酸素状態と放射線治療効果、および、その修飾に関する研究 高精度放射線治療（強度変調放射線療法、定位放射線療法）に関する臨床研究
	腫瘍内科学講座	<ul style="list-style-type: none"> がん分子標的治療薬の臨床開発 トランスレーショナルリサーチ（基礎と臨床の橋渡し研究） 福島県のがん罹患動向についての研究 発作性夜間ヘモグロビン尿症の病態生理の解明 骨髄不全症候群の診断・治療の開発
	放射線災害医療学講座	<ul style="list-style-type: none"> 原子力災害時における医療機関等の事業継続や避難に関する研究 市民・行政・専門家の連携による環境監視・減災支援基盤の構築と社会実装の研究 放射線被ばく不安に関連した潜在的要因の解析によるオーダーメイドな放射線リスクコミュニケーションの開発 東京電力福島第一原子力発電事故における住民の線量評価に関する包括研究 高線量被ばくによる臓器障害に関する治療法の研究 放射線教育プログラムによる放射線業務従事者の知識向上と不安低下度の定量的解析
	リハビリテーション医学講座	<ul style="list-style-type: none"> 地域高齢者における脊柱の矢状面での変形が ADL・QOL に及ぼす影響の調査研究 円背防止の新たな運動療法の開発 FDG-PET によるさまざまな身体活動時における筋活動量の計測 変形性股関節症の術後患者に対する身体的評価、ADL、QOL の経時的変化の調査研究 脳卒中片麻痺患者の上肢麻痺に対する末梢神経電気刺激の効果に関する研究 リハビリテーションロボットによる機能障害の改善効果に関する研究 高齢者の膝内反変形の原因の解明と予防体操の開発 再生医療とリハビリテーションのハイブリッド治療の開発 スポーツによる腱障害発生の解明と治療の開発 障害者スポーツによる障害者の健康や QOL に対する影響の調査研究 がん患者の廃用症候群に対する効果的な運動療法の開発 地域リハビリテーションによる高齢者・障害者の健康増進、生きがい感への効果に関する研究 超音波検査を利用した手部腱断裂のリハビリテーションプログラムの開発 高次脳機能障害患者に対する生活のしづらさの調査研究 術後疼痛に影響を与える予測因子の検討 静止立位における機能的左右差の検討
総合科学系	人間科学講座	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代医学・医療史に関する研究 カント倫理学をはじめとする西欧の倫理学研究 日本およびフランスの憲法・社会保障法・生命倫理法研究
	生命倫理学分野	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代医学・医療史に関する研究 カント倫理学をはじめとする西欧の倫理学研究 日本およびフランスの憲法・社会保障法・生命倫理法研究
	言語学分野	<ul style="list-style-type: none"> 言語現象にかかわる人間の認知能力と運用能力の研究 古代ギリシャの医学、古代ギリシャ語に由来する現代医学用語に関する研究

総合科学講座	数理情報学分野	<ul style="list-style-type: none"> ・フラクタル理論におけるマルチフラクタルの研究 ・代数学におけるデジタル和問題の研究
	先端化学分野	<ul style="list-style-type: none"> ・キャピラリー電気泳動・マイクロチップ電気泳動などによる微量タンパク質解析法の研究 ・遷移金属触媒による新規有機合成反応の開発研究
	分子細胞生物学分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘムタンパク質の構造と機能 ・グロビン属タンパク質における結合酸素の安定化機構 ・ゾウリムシの核分化に伴うゲノム再構成機構 ・X線結晶構造解析によるタンパク質の立体構造決定
	数理物質科学分野	<ul style="list-style-type: none"> ・分子性物質の伝導性と磁性の NMR 研究 ・観測的宇宙論における重力レンズ効果の理論的研究 ・パワースペクトル密度と傾きヒストグラムを用いた表面物性評価に関する研究 ・自然放射線の測定と解析
生体情報伝達研究所	生体物質研究部門	<ul style="list-style-type: none"> ・脂質代謝の調節メカニズムに関する研究 ・新規シグナル分子標的薬剤の開発 ・細胞周期特異的なシグナル分子基盤に関する研究
	細胞科学研究部門	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞内でのタンパク質の品質管理・動態制御・運命決定機構の解明 ・受精における膜融合機構の解明 ・生細胞での分子ダイナミクス解析のための新たなバイオイメージング技術の開発
	生体機能研究部門	<ul style="list-style-type: none"> ・哺乳動物の脳神経系における情報処理の機構 ・行動選択、切り替え基盤となる神経回路ネットワークの機構 ・脳神経疾患モデル動物の開発
放射性同位元素研究施設	<ul style="list-style-type: none"> ・大気中および降雨・降雪中の放射性物質濃度の測定と解析 ・放射性同位元素をトレーサーとしたタンパク質の機能解析 ・細胞機能におけるエピジェネティクス調節機構の解明 	
実験動物研究施設	<ul style="list-style-type: none"> ・病態／疾患モデルの開発 ・疼痛関連行動の解析 ・実験動物飼育技術の改良と開発 ・動物実験倫理の教育 	
死因究明センター	<ul style="list-style-type: none"> ・死後 CT 画像撮影に関する技術的検討 ・死後経過時間による死後 CT 画像所見に与える影響に関する基礎的研究 ・剖検による死後 CT 画像所見の検討 	

イ 看護学部

総合科学部門	言語学分野	<ul style="list-style-type: none"> ・医学英語研究 ・英米文学における「言語と存在」に関する研究 ・英語の意味論・語用論
	行動科学分野 (社会学)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本を中心に東アジアの農耕文化、社会に関する研究 ・子育て・子育て支援に関する実践的な研究
	行動科学分野 (心理学)	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学的支援方法の研究 ・家族療法、ブリーフ・セラピー、ナラティブ・セラピーの応用
	保健情報学・疫学分野 (医療統計学)	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠、出産、育児に関する疫学 ・人材育成プログラムの開発と評価 ・ヘルスリテラシーに関する研究
生命科学部門	形態機能学 (解剖学・生理学・病理学)	<ul style="list-style-type: none"> ・痛覚伝導路の形態学的研究 ・慢性痛症の発生機序に関する実験病理学的研究 ・神経損傷の形態学的研究 ・腫瘍血管の形態学的研究 ・電子顕微鏡試料作成技術の開発 ・遺伝子の発現・構造解析 ・腫瘍細胞の分子生物学的研究 ・自己免疫の発症機序に関する生化学的研究 ・代謝異常の分子遺伝学的研究
	病態機能学	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの検体を用いたがんの診断治療に寄与する新しいバイオマーカーの探索 ・新薬の薬効および副作用の臨床的評価

基礎看護学部門	基礎看護学	<ul style="list-style-type: none"> ・看護実践能力向上に繋がる基礎看護技術の教育方法に関する研究 ・糖尿病看護に関する研究 ・看護教育学に関する研究 ・災害看護教育に関する研究 ・放射線看護教育に関する研究 ・医療安全に関する研究 ・医療安全とノンテクニカルスキルに関する研究 ・口腔内の清潔判定に関する研究 ・長期生存がんサバイバーに関する研究
	看護管理学	<ul style="list-style-type: none"> ・看護管理学に関する研究 ・看護管理者のコンピテンシーと成果に関する研究
療養支援看護学部門	成人看護学	<ul style="list-style-type: none"> ・がん看護外来に関する研究 ・造血幹細胞移植を受ける患者の感染から身を守る生活の意味 ・外来通院している造血器腫瘍患者の感染から身を守る生活 ・がんサバイバーの就労に関する研究 ・がん患者のターミナルケアに関する研究 ・婦人科がん術後患者のQOLに関する研究 ・在宅で生活する終末期がん患者の生活の質に関する研究 ・がん患者の心身緊張緩和に関する研究 ・クリティカルケアを受ける患者の体験に関する研究 ・がんと共に生きる力を高める看護介入方法の開発 ・がんサバイバーが地域で生活していく生活の質を高める包括的支援システムに関する研究 ・がん患者へのピアサポートに関する研究 ・外来化学療法室における災害急性期初期対応のためのシミュレーション教育
	老人看護学	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の転倒予防に関する研究 ・高齢者の周手術期看護に関する研究 ・高齢者の排泄ケアに関する研究 ・高齢者の退院支援に関する研究 ・糖尿病患者の在宅療養生活継続に関する研究 ・高齢者の睡眠に関しての研究 ・高齢者の服薬管理に関する研究
家族看護学部門	小児看護学	<ul style="list-style-type: none"> ・低出生体重児の退院支援に関する研究 ・慢性疾患児とその家族への支援に関する研究 ・闘病仲間を失った子どもの支援に関する研究 ・小児看護学基礎教育に関する研究
	家族看護学	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢の親の死を受け入れられない子どもの特徴に関する研究 ・高齢の親の死を受け入れられない子どもへの看護介入に関する研究 ・看護場面における効果的な看護面接に関する研究 ・家族看護学を学んだ看護師の“気になる家族”と価値観との関連についての研究
	精神看護学	<ul style="list-style-type: none"> ・アサーショントレーニングの効果に関する研究 ・がんを併発した精神疾患患者に対するケアに関する研究 ・被災地におけるアルコール健康問題に対する教育的アプローチに関する研究 ・震災後の精神科医療の再構築に関する研究 ・発達障害のある子どもと家族への支援に関する研究 ・親を亡くした子どもへの支援に関する研究 ・学校ヘルスマENTALリテラシー教育に関する研究
地域・在宅看護学部門		<ul style="list-style-type: none"> ・地域で生活している個人及び家族、集団の健康レベルに応じた支援に関する研究 ・中高年者のヘルスプロモーション行動とその教育に関する研究 ・産業看護、行政看護に関する研究 ・地域保健活動における住民の主体性、社会的行動に関する研究 ・公衆衛生看護活動、保健師の現任教育、産休育休後の保健師の復職支援に関する研究 ・地域在住高齢者のADL、QOLに関する研究 ・東日本大震災及び福島原子力発電所事故の被災者および支援者に関する研究 ・子どものむし歯予防、5歳児健康診査に関する研究 ・孫育てをしている祖父母に関する研究
母性看護学・助産学部門		<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象にしたいのちの教育に関する研究 ・ウェルネス看護診断に関する研究 ・ケア場面における助産診断の分析 ・産褥期の乳房ケアに対する福島県内の感染症等の実態調査 ・新生児の目の拭きとり方向に関する研究 ・東日本大震災後の居住地決定に関する妊産婦の思い ・母親の産後うつ予防を目的とした妊娠期の夫婦参加型支援－介入モデルの臨床応用と効果検証 ・育児支援団体の特性に応じてカスタマイズ可能な介入プログラムの開発

(3) 大学学生数 (県内県外者別)

(30.5.1現在)

区 分		学 年						合 計
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	
医 学 部	県 内	45 (15)	46 (13)	37 (16)	39 (9)	48 (20)	60 (17)	275 (90)
	県 外	88 (28)	91 (31)	97 (30)	91 (22)	79 (27)	84 (22)	530 (160)
	計	133 (43)	137 (44)	134 (46)	130 (31)	127 (47)	144 (39)	805 (250)
看 護 学 部	県 内	58 (55)	62 (56)	60 (56)	62 (58)	/	/	242 (225)
	県 外	26 (26)	24 (21)	24 (23)	19 (16)			93 (86)
	計	84 (81)	86 (77)	84 (79)	81 (74)			335 (311)
学 部 合 計	県 内	103 (70)	108 (69)	97 (72)	101 (67)	48 (20)	60 (17)	517 (315)
	県 外	114 (54)	115 (52)	121 (53)	110 (38)	79 (27)	84 (22)	623 (246)
	計	217 (124)	223 (121)	218 (125)	211 (105)	127 (47)	144 (39)	1,140 (561)

(注) () は女子数で内数を示す。

(4) 大学院学生数

(30.5.1現在)

区 分		学 年				計
		1 年	2 年	3 年	4 年	
医 学 研 究 科	医 学 専 攻 (博 士 課 程)	29	49	33	84	195
	医 学 専 攻 (修 士 課 程)	9	11	/	/	20
	災 害 ・ 被 ば く 医 療 科 学 共 同 専 攻 (修 士 課 程)	5	15			20
	計	43	75	33	84	235
看 護 学 研 究 科	が ん 看 護 学 領 域	0	2	/	/	2
	家 族 看 護 学 領 域	0	1			1
	老 年 看 護 学 領 域	1	1			2
	精 神 看 護 学 領 域	2	5			7
	母 性 看 護 学 領 域	1	4			5
	小 児 看 護 学 領 域	0	2			2
	地 域 看 護 学 領 域	0	2			2
	計	4	17			21
合 計		47	92	33	84	256

(5) 学位授与者数

① 医学博士

(ア) 旧 制

総数	年 度	34 年 度	35 年 度
217		5	212

(イ) 新 制

年度 総数	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55
大学院	-	-	-	11	19	20	13	21	15	6	2	1	0	2	4	1	0	5	1	2
論 文	2	8	15	13	42	10	14	20	17	12	6	5	9	6	22	28	30	43	41	36
計	2	8	15	24	61	30	27	41	32	18	8	6	9	8	26	29	30	48	42	38

年度 総数	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
大学院	2	2	2	1	3	5	8	8	6	14	7	6	12	13	15	3	11	10	6	10
論 文	27	18	30	32	26	35	36	50	46	65	23	48	29	88	39	61	31	30	54	32
計	29	20	32	33	29	40	44	58	52	79	30	54	41	101	54	64	42	40	60	42

年度 総数	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	計
大学院	19	12	19	9	16	20	21	21	25	25	22	19	23	19	31	28	26	622
論 文	23	24	23	16	41	25	15	18	11	11	12	11	12	2	7	8	7	1,445
計	42	36	42	25	57	45	36	39	36	36	34	30	35	21	38	36	33	2,067

② 医学修士

年度 総数	21	22	23	24	25	26	27	28	29	計
大学院	6	9	5	6	4	5	7	5	3	50

③ 看護学修士

年度 総数	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	計
大学院	5	5	1	5	6	5	8	10	1	18	10	6	8	3	7	98

④ 災害・被ばく医療科学

年度 総数	29	計
大学院	7	7

(6) 卒業生の状況

〈医学部〉

(30.5.1現在)

区分	卒業回数	卒業年度	卒業者数	地域別		県内内訳					不明	死亡	
				県外	県内	本学	開業医	公立病院	その他院	その他			
県立 女子医学 専門学校	1	23	107	52	14	-	2	-	2	10	4	37	
	2	24	65	38	6	-	3	-	-	3	4	17	
	3	25	39	17	8	-	3	-	-	5	2	12	
	小計		211	107	28	0	8	0	2	18	10	66	
県立 医科 大学 (医学部)	旧制	1	28	44	8	10	-	5	-	2	3	-	26
		2	29	49	12	13	-	8	-	-	5	1	23
	小計		93	20	23	0	13	0	2	8	1	49	
	新制	3	30	39	12	10	-	5	-	1	4	2	15
		4	31	43	14	9	-	4	1	2	2	2	18
		5	32	47	18	16	-	9	1	4	2	2	11
		6	33	50	13	16	-	8	-	2	6	8	13
		7	34	41	9	15	-	8	-	5	2	3	14
		8	35	42	17	16	-	7	-	1	8	2	7
		9	36	42	20	13	-	3	1	4	5	1	8
		10	37	40	13	17	-	10	-	3	4	-	10
		11	38	39	12	23	-	17	1	1	4	1	3
		12	39	41	15	19	-	8	1	5	5	-	7
		13	40	43	22	18	-	10	-	4	4	-	3
		14	41	44	18	17	1	7	-	4	5	5	4
		15	42	52	22	20	-	6	4	5	5	4	6
		16	43	65	31	26	-	17	-	7	2	1	7
		17	44	56	30	17	-	7	-	7	3	4	5
		18	45	58	12	39	1	7	2	21	8	2	5
		19	46	59	27	27	-	18	1	5	3	2	3
		20	47	82	32	43	2	19	4	15	3	3	4
		21	48	67	31	29	-	13	2	10	4	3	4
		22	49	59	27	29	1	12	1	11	4	-	3
		23	50	72	35	30	1	14	3	9	3	3	4
		24	51	64	23	33	3	11	1	12	6	2	6
		25	52	70	29	38	1	18	2	10	7	2	1
		26	53	80	29	46	1	15	2	21	7	3	2
		27	54	56	24	28	-	18	2	8	0	2	2
		28	55	84	19	60	3	20	4	29	4	2	3
		29	56	77	31	41	-	20	4	14	3	2	3
		30	57	80	21	52	4	20	1	19	8	6	1
		31	58	73	31	37	3	10	3	18	3	3	2
		32	59	83	27	53	1	20	2	24	6	2	1
		33	60	88	26	56	4	15	6	26	5	2	4
		34	61	91	34	55	8	12	4	22	9	1	1
		35	62	77	25	48	4	13	2	21	8	2	2
		36	63	92	28	58	3	16	3	29	7	2	4
		37	元	83	23	57	11	16	5	19	6	2	1
		38	2	95	43	44	6	9	6	16	7	7	1
		39	3	86	27	57	12	13	5	24	3	2	-
		40	4	91	43	44	9	7	2	21	5	3	1
		41	5	72	33	36	6	5	3	18	4	2	1
		42	6	86	52	29	7	3	2	13	4	4	1
		43	7	81	28	51	20	2	1	18	10	1	1
		44	8	88	40	43	15	-	3	22	3	5	-
		45	9	72	33	36	16	1	3	10	6	3	-
		46	10	90	41	43	12	1	2	18	10	6	-
		47	11	84	49	32	14	1	1	12	4	3	-
		48	12	78	35	40	23	-	2	14	1	3	-
		49	13	73	38	31	16	-	2	13	0	4	-
		50	14	77	46	29	18	-	3	6	2	2	-
		51	15	85	38	42	16	-	2	17	7	5	-
		52	16	73	40	30	16	-	1	12	1	3	-
		53	17	79	47	30	13	-	4	11	2	2	-
		54	18	82	48	33	12	-	-	19	2	1	-
		55	19	79	39	40	11	-	4	23	2	-	-
		56	20	79	35	41	23	-	-	15	3	3	-
		57	21	79	37	42	16	-	2	24	0	-	-
		58	22	84	41	43	12	-	-	31	0	-	-
		59	23	74	46	27	8	-	2	17	0	1	-
		60	24	80	31	48	15	-	4	29	-	1	-
		61	25	90	36	53	13	-	1	39	-	1	-
		62	26	102	52	45	5	-	6	34	-	5	-
		63	27	101	49	51	10	-	5	36	-	1	-
		64	28	110	47	57	7	-	4	46	-	6	-
65		29	99	21	75	20	-	12	43	-	3	-	
小計			4,548	1,915	2,283	423	475	145	999	241	158	192	
合計			4,852	2,042	2,334	423	496	145	1,003	267	169	307	

〈看護学部〉

区 分	卒業 回数	卒業 年度	卒業 者数	地 域 別		県 内 内 訳				
				県 外	県 内	県	市町村	公立病院	その他病院	その他
県立医科大学 (看護学部)	1	13	87	57	30	10	4	1	15	—
	2	14	86	60	26	12	1	2	11	—
	3	15	83	43	40	15	—	3	18	4
	4	16	81	47	34	10	1	2	21	—
	5	17	90	51	39	2	1	14	19	3
	6	18	88	47	41	—	2	21	17	1
	7	19	89	46	43	2	1	25	15	—
	8	20	83	47	36	—	3	17	15	1
	9	21	92	52	40	—	1	13	23	3
	10	22	92	37	55	—	2	27	22	4
	11	23	89	49	40	—	2	22	14	2
	12	24	88	43	45	3	4	20	18	—
	13	25	83	34	49	4	3	21	19	2
	14	26	72	28	44	2	5	29	8	—
	15	27	85	26	59	1	7	40	8	3
	16	28	86	32	54	1	9	33	7	4
	17	29	87	33	54	3	6	31	8	6
合 計			1,461	732	729	65	52	321	258	33

(7) 解剖件数

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
正常解剖	54	57	66	47	41	62	51	49	56	53
病理解剖	(15) 64	(3) 64	(14) 53	(5) 46	(7) 37	(7) 34	(3) 42	(9) 26	(10) 31	(11) 44
法医解剖	184	196	170	198	191	204	170	217	163	149

(注) () 内は院外件数で内数を示す。病理解剖には外来死亡患者・死産児を含む。

(8) 教員等の海外出張状況

〈医学部〉

年度	職 種 別					計	目 的 別						
	教授	准教授	講師	助教、助手	その他		学会	医療協力	研究	留学	視察	その他	
昭和41年度	6	1				7	5					1	1
42	6		1	1		8	5		2			1	
43	9	3	1	1		14	7	1	2			4	
44		2	2	2	2	8		5	2	1			
45	5		4	1	1	11	7		2	2			
46	6	3	3	4	2	18	6	5	7				
47	7	4	3	2		16	10	4	2				
48	9	5	3	12	2	31	17	8				6	
49	13	5	4	5	1	28	11	9	2	2			4
50	14	4	5	6	1	30	18	5	2			2	3
51	21	9	8	14		52	19	11	5	4	1		12
52	11	12	7	14		44	22	11	3	3	3		2
53	18	14	14	16		62	24	7	3	6	3		19
54	19	15	3	30		67	42	13	6	1	2		3
55	12	7	8	26		53	32	8	8	3	1		1
56	15	10	6	18		49	33	5	4	5			2
57	13	5	8	17		43	32		1	4	1		5
58	16	9	6	15		46	35	3	1	4	1		2
59	10	8	10	6	1	35	25	3	1	4	2		
60	11	8	5	13		37	27	2	3	2			3
61	12	8	8	10		38	26		6	2	3		1
62	18	8	9	17		52	43		2			5	2
63	21	11	6	20		58	44		11		2		1
平成元	24	10	9	25	1	69	59	3	3		2		2
2	25	12	11	29	2	79	67		8				4
3	33	6	14	42	1	96	84	4	2	4			2
4	24	11	18	34	4	91	68	7	12		2		2
5	32	14	21	42		109	89	5	12	3			
6	37	17	27	55		136	108	4	20	3			1
7	35	20	29	39		123	97	2	13	3	3		5
8	46	18	30	52		146	104	3	22	3	6		8
9	46	14	22	46		128	106	4	9	3	2		4
10	35	19	32	48		134	97	2	21	6	3		5
11	26	16	14	30		86	69	4	8	1	1		3
12	30	18	17	22		87	73	1	4	1	3		5
13	22	8	12	22		64	58	3	2				1
14	24	10	19	26		79	64	3	9		2		1
15	21	16	12	22		71	62	4	5				
16	31	12	15	20		78	72	3	3				
17	31	6	20	21		78	73		5				
18	32	8	11	23		74	66		3			5	
19	28	7	12	26		73	55		8			7	3
20	43	12	14	28	1	98	82		4			6	6
21	38	18	16	24	1	97	82		4			6	5
22	44	17	20	31	5	117	95		4	1		7	10
23	31	12	18	35	2	98	80		2	2		13	1
24	21	10	12	24	5	72	63		8			1	
25	28	11	13	22		74	60		6			2	6
26	36	10	19	39	1	105	96		4			1	4
27	24	7	1	30		62	59		2			1	
28	29	10	9	27	1	76	74		2				
29	26	7	10	30		73	66		4				3

〈看護学部〉

年度	区分	職 種 別					計	目 的 別						
		教授	准教授	講師	助教、助手	その他		学会	医療協力	研究	留学	視察	その他	
平成10年度		5		4			9		3	2		4		
11		4					4	1	2		1			
12		6	1	1	8		16	10	1		3	2		
13		1	2	2	1		6	5		1				
14		3		1	4		8	7	1					
15			2	3			5	3		2				
16		4	1	1			6	3				3		
17		5	1		2		8	5				3		
18		4		3	1		8	3		1		4		
19		2		1	1		4	2				2		
20		6		1	2		9	4				1	4	
21		2		2			4	4						
22		2		1	1		4	2				2		
23		2	1	1			4	4						
24		1					1			1				
25		1					1	1						
26		2					2	1						1
27			1	2	1		4	2		1				1
28							0							
29			1				1	1						

(注) 平成18年度までは、准教授とある職種は助教授、助教、助手とある職種は助手と読み替える。

(9) 図書館現況

(30.3.31現在)

	単 行 本	製 本 雑 誌	計	現行学術雑誌
和 書	(冊) 90,744	(冊) 42,350	(冊) 133,094	(種) 722
洋 書	20,083	74,750	94,833	102
計	110,827	117,100	227,927	824

(10) 平成29年度図書館利用状況

	利用者数	図 書 貸 出	
		人 員	冊 数
年 間	(人) 144,487	(人) 8,503	(冊) 17,322
月 平 均	12,040	709	1,444

(11) 平成29年度文献相互貸借状況

貸 (受 付)			借 (依 頼)			
現物貸出	複写受付	計	現物借受	複写依頼	海外利用 (複写)	計
(件) 31	(件) 2,207	(件) 2,238	(件) 63	(件) 2,382	(件) 8	(件) 2,453

(12) 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金額

(単位 千円)

区 分	年 度	所 管	平成21年度			平成22年度			
			応募 件数	交付 件数	交付金額	応募 件数	交付 件数	交付金額	
新学術領域研究		文部科学省	-	-	-	5	0	0	
特別推進研究			-	-	-	0	0	0	
特定領域研究			8	3	8,100	3	0	0	
若手研究 (A)			1	1	2,100	-	-	-	
若手研究 (B)			125	29	32,900	-	-	-	
若手研究 (A)		日本学術振興会	-	-	-	3	2	2,600	
若手研究 (B)			-	-	-	137	32	36,200	
基盤研究 (S)			-	-	-	1	0	0	
基盤研究 (A)			2	1	5,100	2	0	0	
基盤研究 (B)			22	6	23,800	24	9	36,500	
基盤研究 (C)			172	49	54,600	160	64	65,800	
挑戦的萌芽研究			16	3	3,900	35	5	7,200	
研究活動スタート支援			32	6	5,760	16	6	5,950	
計				378	98	136,260	381	118	154,250

(注)
平成20年度：
「若手研究(スタートアップ)」新設
平成21年度：
「萌芽研究」廃止
「挑戦的萌芽研究」新設
平成22年度：
「若手研究(スタートアップ)」廃止
「研究活動スタート支援」
新設
平成23年度：
「若手研究(A),(B)」の所
管変更
平成25年度：
「新学術領域研究」の所
管変更

(単位 千円)

区 分	年 度	所 管	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
			応募 件数	交付 件数	交付金額	応募 件数	交付 件数	交付金額	応募 件数	交付 件数	交付金額
新学術領域研究		科学省部	9	0	0	6	3	13,500	-	-	-
特別推進研究			0	0	0	1	0	0	1	0	0
特定領域研究			0	0	0	0	0	0	0	0	0
若手研究 (A)		日本学術振興会	3	2	2,900	3	1	2,500	2	1	3,600
若手研究 (B)			154	45	48,300	136	44	53,100	126	51	47,940
基盤研究 (S)			0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究 (A)			0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究 (B)			29	9	32,500	26	9	29,700	23	8	31,500
基盤研究 (C)			164	66	75,600	176	74	84,400	213	72	83,100
挑戦的萌芽研究			23	5	6,000	32	15	17,100	42	18	19,400
研究活動スタート支援			6	2	2,040	8	1	900	11	3	2,400
新学術領域研究			-	-	-	-	-	-	12	4	13,800
特別研究員奨励費			-	-	-	-	-	-	1	1	900
計			388	129	167,340	388	147	201,200	431	158	202,640

(単位 千円)

区 分 \ 年 度	所 管	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
		応募 件数	交付 件数	交付金額	応募 件数	交付 件数	交付金額	応募 件数	交付 件数	交付金額
特別推進研究	科 文 学 省 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定領域研究		0	0	0	0	0	0	0	0	0
若手研究 (A)	日 本 学 術 振 興 会	2	1	3,900	3	1	3,510	3	2	4,160
若手研究 (B)		109	48	51,398	133	60	90,610	141	61	85,589
基盤研究 (S)		0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究 (A)		0	0	0	1	0	0	1	0	0
基盤研究 (B)		22	8	20,525	22	6	28,600	20	9	27,738
基盤研究 (C)		153	82	100,131	235	100	135,069	242	117	172,487
挑戦的萌芽研究		29	14	16,600	30	8	12,870	37	8	10,309
研究活動スタート支援		10	6	6,100	10	4	5,070	10	3	4,420
新学術領域研究		8	4	66,500	17	3	37,333	5	4	19,052
国際共同加速化基金 (国際共同支援班)		-	-	-	1	1	6,240	1	1	3,185
特別研究員奨励費		1	1	900	1	1	900	0	0	0
奨励研究	9	1	600	10	1	600	8	1	560	
計		343	165	266,654	463	185	320,802	468	206	327,500

(単位 千円)

区 分 \ 年 度	所 管	平成29年度		
		応募 件数	交付 件数	交付金額
特別推進研究	科 文 学 省 部	0	0	0
特定領域研究		0	0	0
若手研究 (A)	日 本 学 術 振 興 会	1	1	5,720
若手研究 (B)		148	69	101,696
基盤研究 (S)		0	0	0
基盤研究 (A)		1	0	0
基盤研究 (B)		20	10	40,150
基盤研究 (C)		252	119	171,564
挑戦的萌芽研究		3	3	2,210
挑戦的研究 (開拓)		2	0	0
挑戦的研究 (萌芽)		30	4	10,400
研究活動スタート支援		8	2	2,730
新学術領域研究		21	7	70,584
国際共同加速化基金 (国際共同支援班)	2	2	12,269	
特別研究員奨励費	1	1	1,690	
奨励研究	12	1	570	
計		501	219	419,583

(13) 厚生労働科学研究費補助金額

(単位 千円)

研究事業名	28年度	29年度
	金額	金額
難治性疾患等政策研究事業	4,920	5,130
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	-	350
がん対策推進総合研究事業	250	15,765
新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業	250	230
慢性の痛み対策研究事業	200	200
労災疾病臨床研究事業費補助金	500	600
戦略的アウトカム研究	300	300
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	1,000	0
成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業	6,400	0
厚生労働科学特別研究事業	500	0
政策科学総合研究事業	504	0

(14) 医科大学附属病院の状況

① 病類別病床数

(30.4.1現在)

病 類	区 分	許 可 床
一 般	核 心	713 (床)
結 核	核 心	14
精 神	核 心	49
感 染 症	核 心	2
	計	778

② 等級別病室数病床数室料差額

(30.4.1現在)

等 級	区 分	室 数	病 床 数	室 料 差 額
特 別 室	A	2 (室)	2 (床)	19,440 (円)
〃	B	8	8	6,480
〃	C	41	41	3,020
〃	MS	1	1	56,160
〃	MA	10	10	7,560
〃	MB	32	32	4,860
	計	94	94	

③ 分娩取扱件数

年 度	件 数
平 成 14 年 度	407 (194)
平 成 15 年 度	404 (205)
平 成 16 年 度	358 (182)
平 成 17 年 度	351 (159)
平 成 18 年 度	344 (162)
平 成 19 年 度	429 (203)
平 成 20 年 度	417 (192)
平 成 21 年 度	444 (235)

年 度	件 数
平成 22 年 度	386 (203)
平成 23 年 度	316 (155)
平成 24 年 度	339 (152)
平成 25 年 度	458 (198)
平成 26 年 度	463 (224)
平成 27 年 度	454 (234)
平成 28 年 度	449 (249)
平成 29 年 度	427 (253)

(注) () 内は異常分娩数で内数を示す。

④ 臨床検査件数

検査の種類 \ 年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
一 般	149,513	155,195	152,347	161,374	163,721
生 化 学	1,965,463	2,066,689	2,128,386	2,164,910	2,229,219
血 液	327,807	346,656	355,675	371,732	391,605
生 理 学	40,590	42,496	46,136	47,310	50,681
微 生 物	35,007	36,207	34,498	32,013	34,938
免 疫 血 清	186,180	194,468	223,697	234,924	256,293
緊 急	268,457	280,514	290,373	300,742	311,441
計	2,973,017	3,122,225	3,231,112	3,313,005	3,437,898

⑤ 病理部検査件数

検査の種類 \ 年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
細 胞 診	7,490	7,252	7,054	7,463	7,706
病 理 迅 速	703	754	769	773	786
病 理 組 織	5,624	6,013	6,217	6,418	7,319
計	13,817	14,019	14,040	14,654	15,811

⑥ X線等照射件数

照射の種類 \ 年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
撮影・透視 (CT、MRを除く)	77,644	83,548	84,268	76,360	88,370
C T ・ M R	24,076	25,453	25,912	27,927	29,241
放 射 線 治 療	15,344	14,457	16,375	12,830	17,203
核 医 学 検 査	2,675	2,288	2,074	1,885	2,304
P E T	990	2,575	1,766	1,878	2,803
救 急 撮 影	9,239	10,321	10,714	8,260	7,925
計	129,968	138,642	141,109	129,140	147,846

⑦ 手術件数

診療科 \ 年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
循環器内科	9	0	7	9	86
血液内科	12	10	8	8	5
消化器内科	54	57	72	89	83
リウマチ・膠原病内科	0	0	0	0	0
腎臓・高血圧内科	35	49	62	48	31
糖尿病・内分泌代謝内科	0	0	0	0	0
神経内科	0	0	0	0	0
呼吸器内科	21	6	10	7	17
腫瘍内科		0	0	0	0
漢方内科		0	0	0	0
総合内科				0	0
呼吸器外科	212	197	205	202	230
消化管外科	386	394	432	464	468
肝胆膵・移植外科	193	225	241	228	209
乳腺・内分泌・甲状腺外科	141				
乳腺外科	75	132	113	144	128
小児外科	158	169	182	202	223
甲状腺・内分泌内科				0	0
甲状腺・内分泌外科	60	163	153	135	151
心臓血管外科	353	340	315	306	322
脳神経外科	257	261	257	265	246
整形外科	991	979	954	939	1,038
形成外科	202	213	237	187	203
産科婦人科	541	600	615	590	619
小児科	2	0	2	0	0
小児腫瘍内科		0	2	2	4
眼科	1,221	1,223	1,276	1,252	1,459
皮膚科	126	104	119	134	113
泌尿器科・副腎内分泌外科	416	368	400	453	482
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	413	431	417	434	362
心身医療科	0	15	30	62	70
放射線科	0	0	0	0	0
放射線治療科		0	0	0	0
核医学科				0	0
麻酔・疼痛緩和科	17	18	3	2	2
歯科口腔外科	96	101	113	117	126
救急科	0	0	0	1	0
リハビリテーション科		0	0	0	0
計	5,991	6,055	6,225	6,280	6,677

(注) 平成25年度の乳腺・内分泌・甲状腺外科は9月末まで、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科については10月からの値。

⑧ 調剤薬処方数

(ア) 院 内

年度 種別 区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	処方枚数	調剤数	処方枚数	調剤数	処方枚数	調剤数	処方枚数	調剤数	処方枚数	調剤数
外 来 (院内)	枚 (79) 19,266	件 (163) 39,784	枚 (77) 18,785	件 (168) 41,098	枚 (78) 18,840	件 (172) 41,800	枚 (72) 17,548	件 (147) 35,755	枚 (68) 16,637	件 (141) 34,478
入 院	(331) 120,822	(600) 218,985	(344) 125,659	(645) 235,477	(348) 127,290	(633) 231,784	(348) 127,142	(652) 237,944	(350) 127,585	(684) 249,718
合 計	(410) 140,088	(763) 258,769	(421) 144,444	(813) 276,675	(426) 146,130	(805) 273,584	(420) 144,690	(799) 273,699	(418) 144,222	(825) 284,196

(注) () 内は一日平均を示す。

(イ) 院 外

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
院外処方箋枚数	(727) 177,416	(711) 173,586	(716) 173,890	(709) 172,380	(721) 175,824
外来処方箋総数	(806) 196,682	(788) 192,371	(793) 192,730	(782) 189,928	(789) 192,461
発 行 率(%)	90.2	90.2	90.2	90.8	91.4

(注) () 内は一日平均を示す。

(ウ) 注射薬処方数

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
注射薬処方箋	オーダー件数 件 685,244	オーダー件数 件 735,854	オーダー件数 件 762,444	オーダー件数 件 790,030	オーダー件数 件 765,443

⑨ 平成29年度薬剤管理指導算定数

(単位 人)

病棟名	1回	2回	3回	4回	合計
I C U	13	0	1	0	14
4階東病棟	0	0	0	0	0
5階東病棟	649	133	31	11	824
5階西病棟	391	144	42	4	581
6階東病棟	752	42	2	0	796
6階西病棟	0	0	0	0	0
7階東病棟	310	140	37	9	496
8階東病棟	720	157	37	10	924
8階西病棟	406	56	10	4	476
9階東病棟	386	83	6	1	476
9階西病棟	425	73	10	3	511
10階東病棟	527	44	8	1	580
2階北病棟	54	18	23	25	120
心身医療科病棟	16	8	3	1	28
みらい棟救急センター	3	0	0	0	3
みらい棟3階東	369	27	1	0	397
みらい棟M F I C U	6	1	0	0	7
みらい棟N I C U	37	9	0	0	46
みらい棟4階東	653	214	53	10	930
みらい棟4階西	260	114	70	17	461
みらい棟5階東	98	43	17	2	160
みらい棟5階西	160	24	7	3	194
みらい棟P I C U	1	1	0	0	2
合計	6,236	1,331	358	101	8,026

(うち麻薬管理指導加算申請数)

病棟名	1回	2回	3回	4回	合計
I C U	0	0	0	0	0
4階東病棟	0	0	0	0	0
5階東病棟	12	1	0	0	13
5階西病棟	2	0	0	0	2
6階東病棟	0	0	0	0	0
6階西病棟	0	0	0	0	0
7階東病棟	0	0	0	0	0
8階東病棟	10	3	0	0	13
8階西病棟	1	0	0	0	1
9階東病棟	6	1	0	0	7
9階西病棟	9	5	0	0	14
10階東病棟	0	0	0	0	0
2階北病棟	0	0	0	0	0
心身医療科病棟	0	0	0	0	0
みらい棟救急センター	0	0	0	0	0
みらい棟3階東	0	0	0	0	0
みらい棟MF I C U	0	0	0	0	0
みらい棟N I C U	0	0	0	0	0
みらい棟4階東	3	0	0	0	3
みらい棟4階西	6	2	0	0	8
みらい棟5階東	24	10	4	4	42
みらい棟5階西	0	0	0	0	0
みらい棟P I C U	0	0	0	0	0
合計	73	22	4	4	103

⑩ 病理解剖件数

診療科	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数
循環器内科	22	4	30	7	23	5	28	6	26	6
血液内科	10	1	12	2	20	1	21	2	22	1
消化器内科	27	5	32	5	35	2	21	2	19	6
リウマチ・膠原病内科	7	3	3	1	5	2	1	2	6	0
腎臓・高血圧内科	3	2	5	1	4	0	6	0	4	2
糖尿病・内分泌代謝内科	2	0	0	0	2	1	1	1	0	0
神経内科	9	0	10	2	5	0	10	0	13	2
呼吸器内科	23	6	30	0	18	0	27	2	26	3
腫瘍内科			0	0	0	0	0	0	0	0
漢方内科			0	0	0	0	0	0	0	0
総合内科									1	0
呼吸器外科	16	0	9	7	8	1	14	1	13	0
消化管外科	21	2	6	2	18	0	15	1	24	3
肝胆膵・移植外科	11	1	18	1	12	0	6	0	4	2
乳腺・内分泌・甲状腺外科	5	0								
乳腺外科	5	0	8	0	7	0	9	0	2	0
小児外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
甲状腺・内分泌外科	0	0	2	1	0	0	0	0	2	0
心臓血管外科	23	0	24	3	23	0	17	0	17	2
脳神経外科	13	1	21	2	17	0	16	0	11	0
整形外科	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産科婦人科	19	0	17	0	18	1	23	1	27	0
小児科	20	1	11	0	10	1	11	1	9	0
小児腫瘍内科			2	0	13	1	6	1	9	0
眼科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
皮膚科	5	0	10	2	7	0	3	0	4	0
泌尿器科・副腎内分泌外科	10	0	11	0	10	0	14	0	11	0
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	8	0	9	0	4	1	5	1	4	0
心身医療科	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線治療科			0	0	0	0	0	0	0	0
核医学科									0	0
麻酔・疼痛緩和科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
救急科	82	0	75	3	78	2	102	3	91	6
リハビリテーション科			0	0	0	0	0	0	0	0
計	345	27	346	39	339	18	357	24	347	33
剖検率	7.8%		11.3%		5.3%		6.7%		9.5%	

(注) 外来死亡患者・死産児を含まない。

平成25年度の乳腺・内分泌・甲状腺外科は9月末まで、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科については10月からの値。

⑪ 診療科別患者数

(ア) 外来患者

診療科	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数
循環器内科	21,536	88	21,263	87	20,922	86	20,238	83	20,165	83
血液内科	6,874	28	6,846	28	7,546	31	7,977	33	8,048	33
消化器内科	21,012	86	21,270	87	22,208	91	22,645	93	22,560	92
リウマチ・膠原病内科	8,228	34	8,345	34	8,574	35	8,200	34	8,637	35
腎臓・高血圧内科	11,553	47	11,028	45	10,825	45	10,820	45	10,859	45
糖尿病・内分泌代謝内科	23,611	97	19,948	82	18,518	76	15,675	65	12,145	50
神経内科	8,971	37	8,611	35	8,349	34	8,132	33	7,869	32
呼吸器内科	12,946	53	13,406	55	13,888	57	14,123	58	14,037	58
腫瘍内科			21	0	394	2	705	3	0	0
漢方内科			262	1	757	3	915	4	0	0
総合内科							62	0	401	2
呼吸器外科	4,588	19	4,448	18	4,632	19	4,142	17	4,492	18
消化管外科	7,279	30	6,753	28	7,293	30	7,778	32	8,286	34
肝胆膵・移植外科	3,898	16	3,951	16	4,379	18	3,998	16	4,170	17
乳腺・内分泌・甲状腺外科	6,650	27								
乳腺外科	3,799	16	7,433	30	7,896	32	8,671	36	9,320	38
小児外科	1,313	5	1,397	6	1,536	6	1,789	7	1,996	8
甲状腺・内分泌内科							816	3	0	0
甲状腺・内分泌外科	3,056	13	5,998	25	5,880	24	5,470	23	5,661	23
心臓血管外科	5,110	21	4,956	20	4,971	20	4,921	20	4,868	20
脳神経外科	4,518	19	4,338	18	4,438	18	4,452	18	4,788	20
整形外科	27,189	111	27,332	112	27,092	111	26,634	110	27,585	113
形成外科	4,966	20	4,590	19	4,710	19	4,284	18	3,708	15
産科婦人科	24,845	102	24,921	102	24,945	103	24,547	101	25,357	104
小児科	10,363	42	8,776	36	8,829	36	9,453	39	10,157	42
小児腫瘍内科			1,717	7	2,258	9	2,063	8	2,339	10
眼科	35,765	147	34,068	140	32,570	134	33,418	138	35,032	144
皮膚科	12,227	50	13,061	54	13,859	57	15,000	62	15,645	64
泌尿器科・副腎内分泌外科	15,304	63	14,621	60	14,256	59	14,201	58	15,082	62
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	14,401	59	13,432	55	13,797	57	12,871	53	11,919	49
心身医療科	22,418	92	20,592	84	20,040	82	18,351	76	18,142	74
放射線科	13,220	54	4,189	17	270	1	349	1	136	1
放射線治療科			8,011	33	11,242	46	10,769	44	11,964	49
核医学科							76	0	769	3
麻酔・疼痛緩和科	7,245	30	7,638	31	7,321	30	7,106	29	7,299	30
歯科口腔外科	8,714	36	9,384	38	9,605	40	9,446	39	8,687	36
救急科	3,016	12	2,926	12	3,294	14	3,180	13	3,235	13
リハビリテーション科			417	2	1,926	8	2,080	9	0	0
放射線健康相談科	334	1	407	2	669	3	1,118	5	0	0
合計	354,949	1,455	346,356	1,419	349,689	1,439	346,475	1,426	345,358	1,415

(注) 一日平均患者数は、年度内の延患者数を年度内の外来診療日数で除した数である。

放射線科には核医学診療室分を含む。

平成25年度の乳腺・内分泌・甲状腺外科は9月末まで、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科については10月からの値。

(イ) 入院患者

診療科	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数	延患者数	一日平均患者数
循環器内科	10,457	29	12,361	34	12,376	34	11,606	32	12,498	34
血液内科	10,247	28	12,511	34	11,993	33	10,953	30	11,104	30
消化器内科	10,752	29	13,896	38	13,232	36	12,872	35	12,652	35
リウマチ・膠原病内科	3,600	10	3,798	10	4,088	11	3,389	9	3,605	10
腎臓・高血圧内科	5,057	14	6,877	19	5,736	16	5,962	16	4,526	12
糖尿病・内分泌代謝内科	3,409	9	4,763	13	4,171	11	3,822	10	2,933	8
神経内科	6,646	18	7,094	19	6,122	17	5,794	16	6,390	18
呼吸器内科	9,668	26	10,408	29	10,644	29	10,847	30	9,582	26
腫瘍内科			0	0	0	0	0	0	0	0
漢方内科			0	0	0	0	0	0	0	0
総合内科							0	0	752	2
呼吸器外科	4,791	13	5,139	14	5,202	14	5,056	14	4,620	13
消化管外科	9,670	26	9,447	26	12,021	33	11,978	33	12,112	33
肝胆膵・移植外科	6,153	17	7,051	19	6,674	18	6,579	18	5,370	15
乳腺・内分泌・甲状腺外科	2,337	6								
乳腺外科	1,684	5	3,009	8	3,651	10	3,178	9	2,888	8
小児外科	1,364	4	1,522	4	1,802	5	1,704	5	1,952	5
甲状腺・内分泌内科							0	0	0	0
甲状腺・内分泌外科	847	2	1,738	5	1,543	4	1,796	5	1,947	5
心臓血管外科	7,941	22	7,043	19	7,437	20	6,166	17	6,282	17
脳神経外科	7,623	21	7,491	21	7,574	21	8,297	23	8,337	23
整形外科	20,790	57	20,344	56	18,244	50	18,754	51	19,720	54
形成外科	3,118	9	2,969	8	3,479	10	2,848	8	2,948	8
産科婦人科	19,414	53	19,158	52	22,030	60	20,364	56	19,932	55
小児科	18,533	51	11,258	31	10,127	28	9,856	27	13,513	37
小児腫瘍内科			6,190	17	6,348	17	7,960	22	7,493	21
眼科	11,426	31	10,143	28	10,557	29	9,600	26	10,154	28
皮膚科	6,401	18	5,975	16	6,855	19	6,845	19	5,653	15
泌尿器科・副腎内分泌外科	9,104	25	9,309	26	9,899	27	11,291	31	10,544	29
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	9,889	27	10,372	28	9,333	26	9,799	27	7,533	21
心身医療科	8,546	23	7,941	22	7,532	21	6,925	19	9,333	26
放射線科	642	2	122	0	14	0	55	0	85	0
放射線治療科			286	1	320	1	623	2	879	2
核医学科							67	0	356	1
麻酔・疼痛緩和科	479	1	565	2	373	1	376	1	365	1
歯科口腔外科	1,957	5	2,039	6	2,920	8	2,546	7	3,239	9
救急科	3,222	9	3,247	9	3,421	9	4,002	11	3,768	10
リハビリテーション科			0	0	0	0	0	0	0	0
(I C U)	(2,126)	(6)	(2,024)	(6)	(2,287)	(6)	(2,315)	(6)	(3,366)	(9)
(N I C U)	(4,429)	(12)	(4,099)	(11)	(4,134)	(11)	(4,606)	(13)	(7,086)	(19)
(M F I C U)			(1,157)	(3)	(1,482)	(4)	(1,073)	(3)	(1,263)	(3)
合計	215,767	591	224,066	614	225,718	617	221,910	608	223,065	611

(注) 一日平均患者数は、年度内の延患者数を暦日数で除した数である。

() は再掲。

放射線科には核医学診療室分を含む。

平成25年度の乳腺・内分泌・甲状腺外科は9月末まで、乳腺外科、甲状腺・内分泌外科については10月からの値。

⑫ 診療項目別稼働額

(ア) 外 来

(単位 千円)

診療項目	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比
		%		%		%		%		%
初診料	49,377	0.9	48,344	0.8	48,352	0.7	47,002	0.7	47,631	0.7
再診料	196,460	3.6	203,791	3.5	207,035	3.2	205,426	3.0	210,621	2.9
指導料	119,340	2.2	115,535	2.0	114,984	1.8	116,245	1.7	120,730	1.7
在宅療養	-	-	-	-	452,310	7.0	447,769	6.6	399,325	5.6
投薬料	186,216	3.4	171,999	2.9	210,137	3.2	249,910	3.7	264,503	3.7
注射料	1,986,531	36.4	2,332,739	39.7	2,707,764	41.7	2,968,875	43.6	3,103,277	43.3
検査料	1,176,193	21.5	1,199,141	20.4	1,249,732	19.3	1,273,131	18.7	1,337,697	18.7
画像診断料	718,163	13.1	743,937	12.7	787,562	12.1	802,275	11.8	905,174	12.6
理学療法料	303,220	5.5	323,667	5.5	343,566	5.3	343,676	5.0	387,743	5.4
処置・手術料他	727,949	13.3	738,743	12.6	366,744	5.7	353,484	5.2	383,536	5.4
文書料	(83,115)	(1.5)	(84,519)	(1.4)	(89,792)	(1.4)	(85,859)	(1.3)	(86,727)	(1.2)
合計	5,463,449	100.0	5,877,896	100.0	6,488,186	100.0	6,807,793	100.0	7,160,237	100.0
患者1人 1日当り稼働額	(円) 16,577		(円) 17,865		(円) 19,480		(円) 19,652		(円) 20,733	

(注) 患者当り稼働額は入院中他科受診患者を含めない患者数で算出している。
 構成比は四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。
 () は再掲。

(イ) 入院

(単位 千円)

診療項目	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比
初診料	-	-	-	-	10,155	0.1	10,062	0.1	10,565	0.1
指導料	-	-	-	-	69,394	0.4	72,030	0.4	88,444	0.5
在宅療養	-	-	-	-	22,344	0.1	26,868	0.2	21,540	0.1
投薬料	144,146	1.0	161,840	1.0	173,313	1.1	159,980	1.0	160,620	0.9
注射料	419,342	2.8	430,912	2.7	625,473	3.8	462,055	2.8	643,354	3.7
処置・手術料	5,359,963	36.0	5,558,860	35.1	5,709,040	35.0	5,614,164	34.6	5,987,263	34.7
輸血料	(368,179)	(2.5)	(386,672)	(2.4)	(437,860)	(2.7)	(423,044)	(2.6)	(410,018)	(2.4)
麻酔料	(554,468)	(3.7)	(576,810)	(3.6)	(572,704)	(3.5)	(556,555)	(3.4)	(558,546)	(3.2)
検査料	209,033	1.4	227,552	1.4	238,839	1.5	210,707	1.3	219,238	1.3
画像診断料	65,965	0.4	65,499	0.4	68,633	0.4	58,394	0.4	56,006	0.3
理学療法料	188,527	1.3	201,001	1.3	234,546	1.4	280,064	1.7	362,574	2.1
入院料他	8,519,665	57.2	9,200,799	58.1	9,143,357	56.1	9,346,845	57.6	9,703,071	56.2
室料差額	(79,479)	(0.5)	(89,011)	(0.6)	(88,648)	(0.5)	(100,592)	(0.6)	(142,864)	(0.8)
分娩介助料	(108,780)	(0.5)	(109,036)	(0.7)	(101,318)	(0.6)	(97,357)	(0.6)	(103,001)	(0.6)
文書料	(2,416)	(0.0)	(2,532)	(0.0)	(2,407)	(0.0)	(2,412)	(0.0)	(2,376)	(0.0)
合計	14,906,641	100.0	15,846,463	100.0	16,295,094	100.0	16,241,169	100.0	17,252,674	100.0
患者1人 1日当り稼働額	69,087	(円)	70,722	(円)	72,192	(円)	73,112	(円)	77,344	(円)

(注) 構成比は四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

() は再掲。

(15) 会津医療センター附属病院の状況

① 病類別病床数

(30.4.1現在)

病 類	区 分	許 可 床
一 般	一 般	204 (床)
結 核	結 核	14
精 神	精 神	0
感 染 症	感 染 症	8
計		226

② 等級別病室数病床数室料差額

(30.4.1現在)

等 級	区 分	室 数	病 床 数	室 料 差 額
特別室 A		2 (室)	2 (床)	19,440 (円)
〃 B (一人部屋)		25	25	6,480
計		27	27	

③ 臨床検査件数

検査の種類	年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
一 般	一 般	21,566	24,743	25,714	24,361	24,780
生 化 学	生 化 学	429,632	501,601	589,801	589,419	619,687
血 液	血 液	82,977	99,231	178,601	121,703	118,584
生 理 学	生 理 学	10,055	9,767	10,780	11,505	11,812
微 生 物	微 生 物	10,494	13,427	12,175	11,438	12,785
免 疫 血 清	免 疫 血 清	54,686	62,463	60,738	61,451	63,298
緊 急	緊 急	27,900	35,460	24,610	47,434	52,835
計		637,310	746,692	902,419	867,311	903,781

(注) 平成25年度実績は平成25年5月12日からの値。

④ 病理部検査件数

検査の種類	年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
細 胞 診	細 胞 診	971	1,120	1,111	929	1,041
病 理 迅 速	病 理 迅 速	72	101	108	99	133
病 理 組 織	病 理 組 織	2,280	2,703	3,064	2,893	2,966
計		3,323	3,924	4,283	3,921	4,140

(注) 平成25年度実績は平成25年5月12日からの値。

⑤ X線等照射件数

照射の種類 \ 年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
撮影・透視 (CT、MRを除く)	21,944	26,774	26,257	26,460	29,358
C T ・ M R	7,093	8,692	9,872	10,308	10,906
放 射 線 治 療	0	0	0	0	0
核 医 学 検 査	181	216	300	205	186
救 急 撮 影	-	-	-	-	-
計	29,218	35,682	36,429	36,973	40,450

(注) 救急撮影は撮影・透視、CT・MRにそれぞれ含む。
平成25年度実績は平成25年5月12日からの値。

⑥ 手術件数

診療科 \ 年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総 合 内 科	35	31	39	34	21
漢 方 内 科	1	3	1	0	2
漢 方 外 科	0	0	0	0	0
循 環 器 内 科	101	130	126	144	183
血 液 内 科	22	18	47	23	42
消 化 器 内 科	446	588	605	581	675
糖尿病・代謝・腎臓内科	14	7	5	1	3
感染症・呼吸器内科	14	7	4	8	4
神 経 内 科	0	0	0	0	0
心 身 医 療 科	0	0	0	0	0
小腸・大腸・肛門科	748	861	1,052	1,012	1,111
外 科	599	549	577	540	594
整形外科・脊椎外科	606	728	897	846	884
眼 科	33	38	25	49	32
皮 膚 科	43	35	40	25	25
泌 尿 器 科	4	0	1	3	0
耳 鼻 咽 喉 科	244	304	334	359	272
放 射 線 科	0	0	0	0	0
麻 酔 科	0	0	0	0	0
歯 科	88	123	99	102	123
リハビリテーション科	0	0	0	0	0
緩 和 ケ ア 科	39	25	5	0	1
心 臓 血 管 外 科	0	0	0	0	0
計	3,037	3,447	3,857	3,727	3,972

(注) 平成25年度実績は平成25年5月12日からの値。
病院全体における手術件数。

⑦ 調剤薬処方数

(ア) 院 内

区分 \ 年度 種別	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	処方枚数	調剤数	処方枚数	調剤数	処方枚数	調剤数	処方枚数	調剤数
外 来 (院内)	(80) 19,508	(207) 50,569	(76) 18,413	(210) 51,140	(60) 14,578	(177) 42,498	(65) 15,880	(197) 48,177
入 院	(71) 25,845	(136) 49,797	(77) 28,057	(147) 53,910	(74) 27,024	(132) 48,277	(82) 29,961	(170) 62,255
合 計	(151) 45,353	(343) 100,366	(153) 46,470	(357) 105,050	(134) 41,602	(309) 90,775	(147) 45,841	(367) 110,432

(注) () 内は一日平均を示す。
平成25年度実績は平成25年5月12日からの値。

(イ) 院 外

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
院外処方箋枚数	(224) 48,518	(261) 63,712	(276) 67,129	(280) 67,946	(292) 71,277
外来処方箋総数	(292) 63,186	(341) 83,220	(352) 85,542	(340) 82,524	(357) 87,157
発 行 率(%)	76.8	76.6	78.5	82.3	82.9

(注) () 内は一日平均を示す。
平成25年度実績は平成25年5月12日からの値。

(ウ) 注射薬処方数

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
注射薬処方箋	オーダー件数 件 113,524	オーダー件数 件 138,373	オーダー件数 件 164,765	オーダー件数 件 167,296	オーダー件数 件 178,760

(注) 平成25年度実績は平成25年5月12日からの値。

⑧ 薬剤管理指導算定数

病棟	年度 区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		薬剤管理 指導 2	薬剤管理 指導 3	薬剤管理 指導 2	薬剤管理 指導 3	薬剤管理 指導 2	薬剤管理 指導 3	薬剤管理 指導 2	薬剤管理 指導 3
3 階 南		69	29	197	275	186	513	381	195
4 階 南		266	453	35	522	34	765	49	731
4 階 北		113	11	107	45	216	42	515	66
5 階 南		163	103	224	97	240	325	418	229
5 階 北		22	5	68	56	151	221	161	156
6 階		30	14	67	33	-	-	-	-
合 計		663	615	698	1,028	827	1,866	1,524	1,377
総 合 計		1,278		1,726		2,693		2,901	

(注) 平成25年度実績は平成25年5月12日からの値。

⑨ 病理解剖件数

診療科	年度 区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数	死亡者数	解剖数
総 合 内 科		10	0	12	0	5	0	14	0
漢 方 内 科		0	0	0	0	1	0	0	0
漢 方 外 科		0	0	0	0	0	0	0	0
循 環 器 内 科		10	0	4	0	3	0	4	0
血 液 内 科		41	0	54	0	34	0	57	1
消 化 器 内 科		14	1	7	1	23	2	20	0
糖尿病・代謝・腎臓内科		0	0	0	0	1	0	2	0
感染症・呼吸器内科		10	0	14	2	14	1	10	0
神 経 内 科		0	0	0	0	0	0	0	0
心 身 医 療 科		0	0	0	0	1	0	0	0
小腸・大腸・肛門科		2	0	0	0	9	0	8	1
外 科		5	0	1	0	9	1	11	2
整形外科・脊椎外科		0	0	0	0	0	0	0	0
眼 科		0	0	0	0	0	0	0	0
皮 膚 科		1	0	0	0	1	0	0	0
泌 尿 器 科		0	0	0	0	0	0	0	0
耳 鼻 咽 喉 科		0	0	1	0	1	0	1	0
放 射 線 科		0	0	0	0	0	0	0	0
麻 酔 科		0	0	0	0	0	0	0	0
歯 科		0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリテーション科		0	0	0	0	0	0	0	0
緩 和 ケ ア 科		110	0	118	0	128	0	143	0
心 臓 血 管 外 科		0	0	0	0	0	0	0	0
計		203	1	211	3	230	4	270	4
剖 検 率		0.5%		1.4%		1.7%		1.5%	

(注) 平成25年度実績は平成25年5月12日からの値。

⑩ 診療科別患者数

(ア) 外来患者

診療科	年度 区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数
総合内科		10,089	41	9,521	39	8,784	36	8,459	35
漢方内科		9,127	37	8,998	37	8,749	36	8,612	36
漢方外科		19	1	5	0	1	0	0	0
循環器内科		7,361	30	7,760	32	7,447	31	7,975	33
血液内科		7,912	33	8,646	36	9,278	38	9,772	40
消化器内科		8,238	34	9,478	39	10,590	44	10,919	45
糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科		9,907	41	10,436	43	10,181	42	11,108	47
感染症・呼吸器内科		5,549	23	5,757	24	6,033	25	5,688	23
神経内科		1,796	19	1,596	7	1,480	6	1,241	24
心身医療科		9,053	37	9,915	41	10,265	42	11,049	30
小腸・大腸・肛門科		6,195	21	7,477	31	7,211	30	7,878	32
外科		4,763	20	5,365	22	5,622	23	6,630	27
整形外科・脊椎外科		19,047	78	18,784	77	16,220	67	19,829	83
眼科		3,693	27	3,827	16	3,628	15	3,363	24
皮膚科		5,574	23	5,853	24	5,950	24	6,275	26
泌尿器科		2,360	23	2,323	10	1,751	7	1,461	26
耳鼻咽喉科		7,229	30	7,201	30	7,698	32	6,281	26
放射線科		0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科		556	3	756	3	792	3	709	3
歯科		3,360	14	3,048	13	3,175	13	2,990	12
リハビリテーション科		0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア科		737	3	725	3	711	3	638	3
心臓血管外科		113	15	96	0	77	0	72	6
合計		122,678	503	127,567	525	125,643	517	130,949	537

鍼灸部	1,234	5	1,837	8	2,254	9	2,079	9
-----	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---

(注) 一日平均患者数は、年度内の延患者数を年度内の外来診療日数で除した数である。
平成25年度実績は平成25年5月12日からの値。

(イ) 入院患者

診療科	年度 区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数	延患者数	一日平均 患者数
総合内科		2,096	6	3,000	8	2,446	7	2,785	8
漢方内科		629	2	624	2	629	2	470	1
漢方外科		0	0	0	0	0	0	0	0
循環器内科		2,453	7	2,206	6	2,500	7	2,404	7
血液内科		9,751	27	10,699	29	12,276	34	10,233	28
消化器内科		7,187	20	8,150	22	8,060	22	9,661	26
糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科		1,994	5	1,874	5	1,535	4	1,394	4
感染症・呼吸器内科		3,244	9	2,727	7	2,719	7	4,075	11
神経内科		0	0	0	0	0	0	0	0
心身医療科		0	0	0	0	0	0	0	0
小腸・大腸・肛門科		5,260	14	5,874	16	5,324	15	5,568	15
外科		7,399	20	8,057	22	6,886	19	7,974	22
整形外科・脊椎外科		10,940	30	11,878	32	9,740	27	10,500	29
眼科		0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科		39	0	75	0	45	0	61	0
泌尿器科		0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科		1,511	4	1,373	4	1,316	4	1,083	3
放射線科		0	0	0	0	0	0	0	0
麻酔科		0	0	0	0	0	0	0	0
歯科		0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリテーション科		0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア科		4,639	13	4,520	12	5,563	15	5,812	16
心臓血管外科		0	0	0	0	0	0	0	0
合計		57,142	157	61,057	167	59,039	162	62,020	170

(注) 一日平均患者数は、年度内の延患者数を暦日数で除した数である。
平成25年度実績は平成25年5月12日からの値。

⑪ 診療項目別稼働額

(ア) 外 来

(単位 千円)

診療項目	年度 区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比
初診料		39,870	2.8	37,434	2.3	31,440	1.7	33,188	1.7
再診料		69,007	4.8	71,856	4.3	71,880	4.0	75,193	3.8
指導料		25,589	1.8	28,311	1.7	31,801	1.8	33,833	1.7
投薬料		306,510	21.3	368,820	22.2	379,868	21.1	461,191	23.1
注射料		251,112	17.5	346,417	20.8	428,602	23.8	460,706	23.1
検査料		344,970	24.0	373,633	22.5	391,073	21.7	398,802	20.0
画像診断料		170,133	11.8	186,502	11.2	198,716	11.0	209,760	10.5
理学療法料		13,447	0.9	11,879	0.7	9,920	0.6	11,315	0.6
処置・手術料他		217,097	15.1	236,797	14.3	241,563	13.4	287,721	14.4
文書料		(16,167)	(1.1)	(19,221)	(1.2)	16,528	0.9	22,701	1.1
合 計		1,437,736	100.0	1,661,649	100.0	1,801,391	100.0	1,994,410	100.0
患者1人 1日当り稼働額		11,720 (円)		13,026 (円)		14,206 (円)		15,057 (円)	

(注) 患者当り稼働額は入院中他科受診患者を含めない患者数で算出している。

構成比は四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

() は再掲。

平成25年度実績は平成25年5月12日からの値。

(イ) 入 院

(単位 千円)

診療項目	年度 区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比	稼働額	構成比
投薬料		40,035	1.2	51,615	1.4	38,022	1.0	39,687	1.0
注射料		24,167	0.7	42,323	1.1	50,011	1.3	41,926	1.0
処置・手術料		1,098,371	33.1	1,266,561	34.1	1,181,889	31.4	1,404,176	34.6
輸血料		(0)	(0.0)	(0)	(0.0)	0	0.0	0	0.0
麻酔料		(0)	(0.0)	(0)	(0.0)	0	0.0	0	0.0
検査料		40,364	1.2	43,862	1.2	40,858	1.1	45,806	1.1
画像診断料		6,252	0.2	5,408	0.2	5,849	0.2	6,333	0.2
理学療法料		48,331	1.5	42,671	1.1	37,278	1.0	48,489	1.2
入院料他		2,064,257	62.1	2,260,149	60.9	2,354,977	62.6	2,414,773	59.5
室料差額		(59,460)	(1.8)	(52,831)	(1.4)	54,471	1.4	55,385	1.4
分娩介助料		(0)	(0.0)	(0)	(0.0)	0	0.0	0	0.0
文書料		(1,354)	(0.0)	(2,322)	(0.1)	1,328	0.0	1,779	0.0
合 計		3,321,777	100.0	3,712,589	100.0	3,764,683	100.0	4,058,354	100.0
患者1人 1日当り稼働額		58,132 (円)		60,805 (円)		62,821 (円)		64,515 (円)	

(注) 構成比は四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

() は再掲。

平成25年度実績は平成25年5月12日からの値。

(16) 公立大学法人福島県立医科大学平成29年度決算に係る貸借対照表及び損益計算書

貸借対照表
(平成30年3月31日)

(単位 円)

資産の部			
I	固定資産	77,006,423,663	
II	流動資産	9,938,345,363	
	資産合計		86,944,769,026
負債の部			
I	固定負債	45,685,942,941	
II	流動負債	11,779,428,723	
	負債合計		57,465,371,664
純資産の部			
I	資本金	42,438,723,757	
II	資本剰余金	△12,516,708,495	
III	繰越欠損金	△442,617,900	
	純資産合計		29,479,397,362
	負債純資産合計		86,944,769,026

損益計算書
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位 円)

経常費用			
	業務費	53,422,680,390	
	一般管理費	2,722,747,956	
	財務費用	104,709,027	
	雑損	4,734,515	
	経常費用合計		56,254,871,888
経常収益			
	運営費交付金収益	8,979,378,654	
	授業料収益	711,502,406	
	入学金収益	132,906,600	
	検定料収益	19,514,400	
	講習料収益	11,336,000	
	附属病院収益	30,357,178,642	
	受託研究等収益	533,447,371	
	受託事業等収益	3,759,900,042	
	寄附金収益	1,195,521,290	
	補助金等収益	3,632,914,968	
	財源措置予定額収益	1,267,286,912	
	資産見返負債戻入	4,095,521,416	
	財務収益	119,036	
	雑益	432,553,681	
	経常収益合計		55,129,081,418
経常損失			1,125,790,470
臨時損失			
	固定資産除却損	17,068,323	
	その他臨時損失	22,920,239	39,988,562
臨時利益			
	運営費交付金収益	13,363,500	
	その他臨時収益	20,567,520	33,931,020
当期純損失			1,131,848,012
目的積立金取崩額			61,655,026
当期総損失			1,070,192,986

(17) 公立大学法人福島県立医科大学予算・決算及び収支計画

(ア) 予算及び決算

(単位 百万円)

科目	年度 区分	平成29年度		平成30年度	
		予算額	決算額	予算額	構成比
収 入					
運 営 費 交 付 金		10,152	9,911	11,434	20.1%
補 助 金		4,497	4,103	4,840	8.5%
自 己 収 入		30,448	31,554	32,374	57.0%
授 業 料 及 び 入 学 金、 検 定 料 収 入		862	875	881	1.6%
附 属 病 院 収 入		29,374	30,357	31,105	54.7%
財 産 収 入		39	100	87	0.2%
雑 収 入		173	222	301	0.5%
受 託 研 究 等 収 入 及 び 寄 附 金 収 入 等		6,224	6,245	6,830	12.0%
長 期 借 入 金 収 入		2,619	2,540	847	1.5%
短 期 借 入 金 収 入		1,006	-	504	0.9%
目 的 積 立 金 取 崩		672	250	-	-
計		55,618	54,603	56,829	100.0%
支 出					
業 務 費		45,454	45,548	47,834	84.2%
教 育 研 究 経 費		8,710	8,275	9,290	16.3%
診 療 経 費		32,530	33,145	34,730	61.1%
一 般 管 理 費		4,214	4,128	3,814	6.7%
施 設 整 備 費		2,833	2,538	984	1.7%
受 託 研 究 等 経 費 及 び 寄 附 金 事 業 費 等		6,224	5,876	6,830	12.0%
長 期 借 入 金 償 還 金		1,107	1,068	1,181	2.1%
計		55,618	55,031	56,829	100.0%

※ 各予算額及び決算額については百万円未満を、また、構成比については小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計と一致しないことがある。

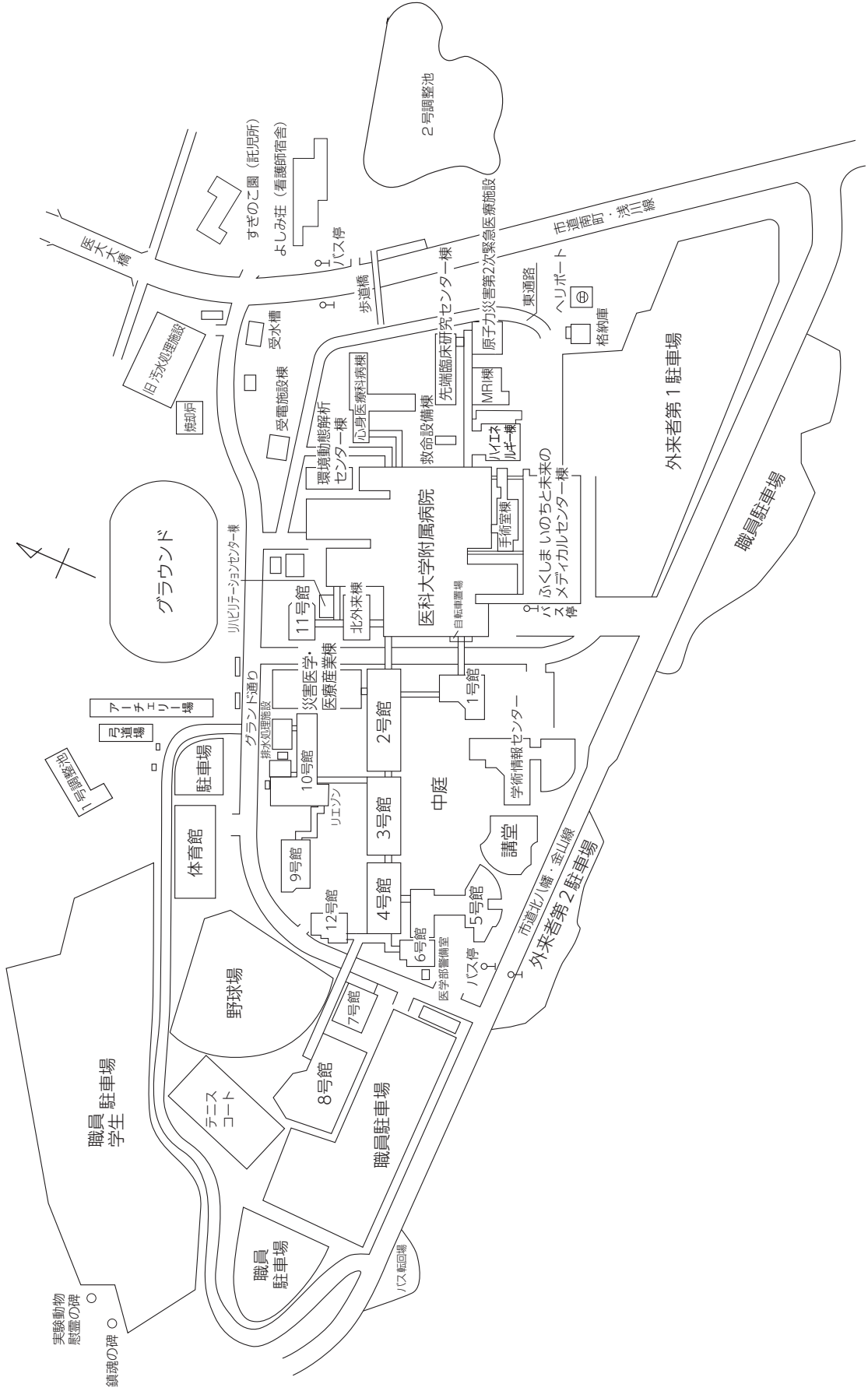
(イ) 収支計画

(単位 百万円)

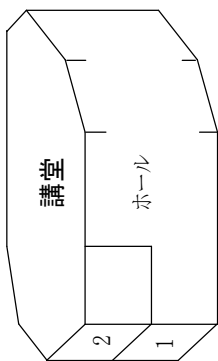
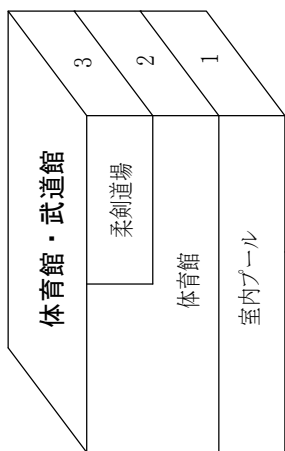
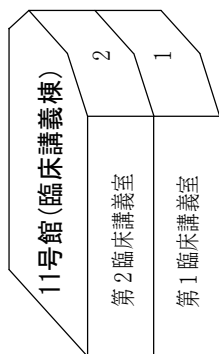
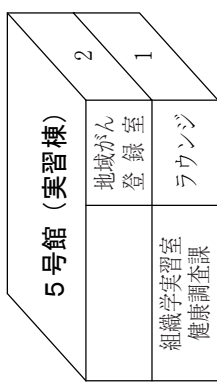
科目	年度 区分	平成29年度		平成30年度	
		計画額	実績額	計画額	構成比
費用の部					
経常費用		56,393	56,255	59,003	100.0%
業務費		48,990	48,816	51,985	88.1%
教育研究経費		4,158	3,805	4,488	7.6%
診療経費		17,795	18,184	18,719	31.7%
受託研究費等		4,987	4,081	5,128	8.7%
人件費		22,050	22,746	23,650	40.1%
一般管理費		1,195	1,144	1,078	1.8%
財務費用		18	105	97	0.2%
雑損		0	5	3	0.0%
減価償却費		6,190	6,186	5,841	9.9%
臨時損失		0	40	11	0.0%
計		56,393	56,295	59,014	100.0%
収益の部					
経常収益		54,737	55,129	58,045	100.0%
運営費交付金収益		8,945	8,979	9,868	17.0%
授業料収益		692	712	682	1.2%
入学金収益		124	133	125	0.2%
検定料収益		34	31	33	0.1%
附属病院収益		29,369	30,357	31,104	53.6%
受託研究等収益		5,125	4,293	5,318	9.2%
寄附金収益		1,142	1,196	1,542	2.7%
補助金等収益		3,891	3,633	3,878	6.7%
財源措置予定額収益		1,080	1,267	1,428	2.5%
資産見返負債戻入		4,030	4,096	3,581	6.2%
財務収益		0	0	0	0.0%
雑益		305	433	488	0.8%
臨時利益		2	34	3	0.0%
計		54,739	55,163	58,049	100.0%
純損失		△1,654	△1,132	△966	
目的積立金取崩額		351	62	-	
総損失		△1,303	△1,070	△966	

※ 各予算額及び決算額については百万円未満を、また、構成比については小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計と一致しないことがある。

9 配 置 図

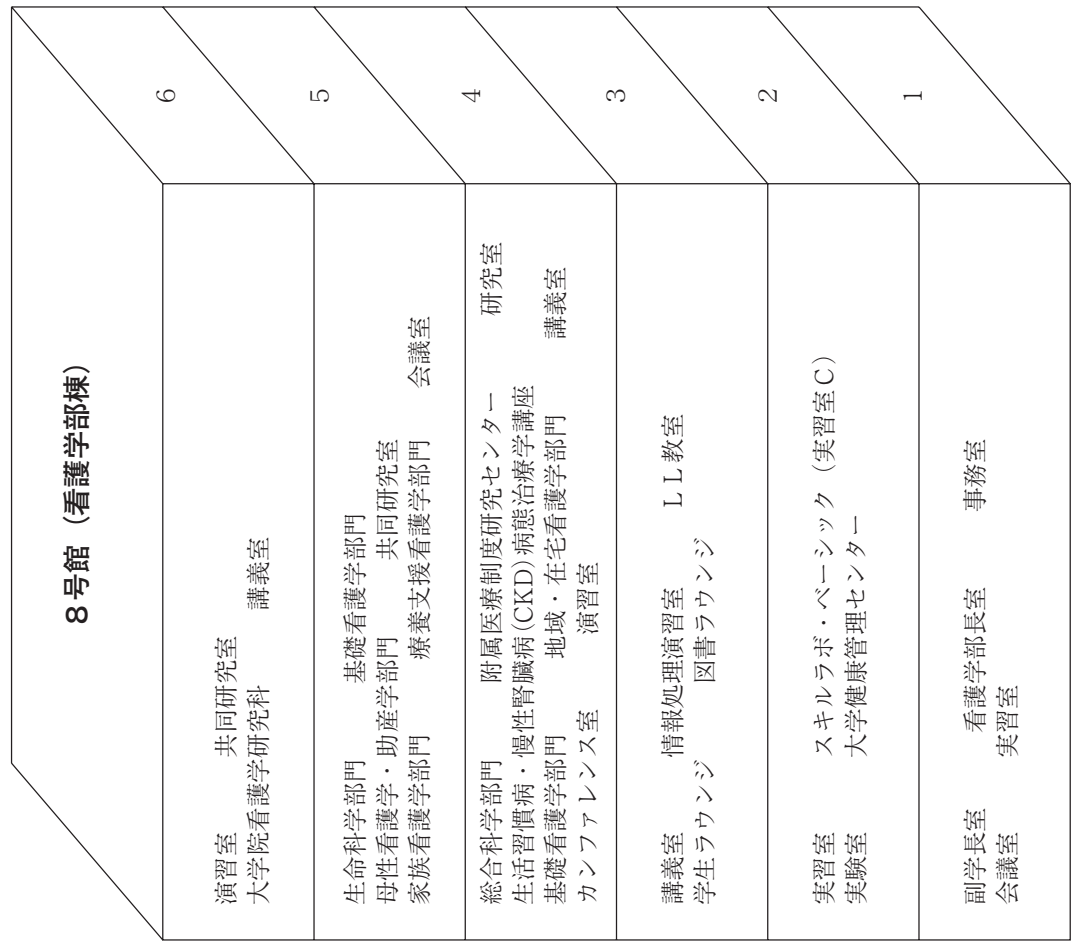
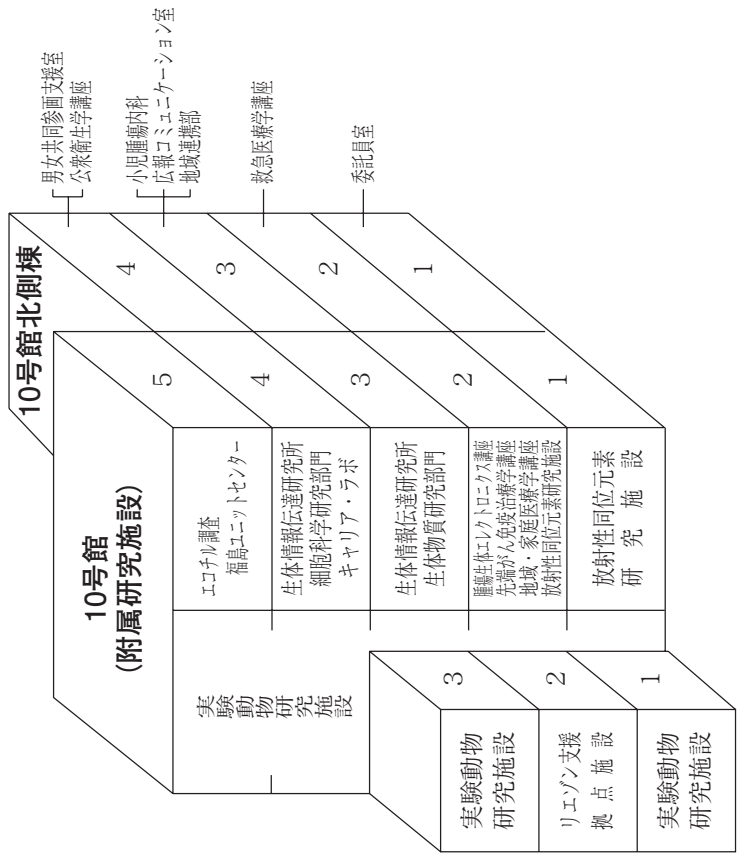
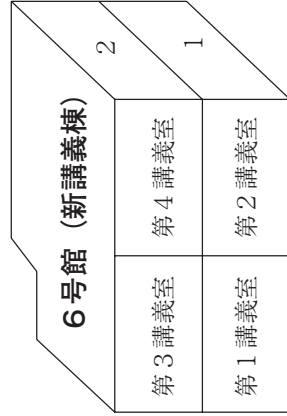
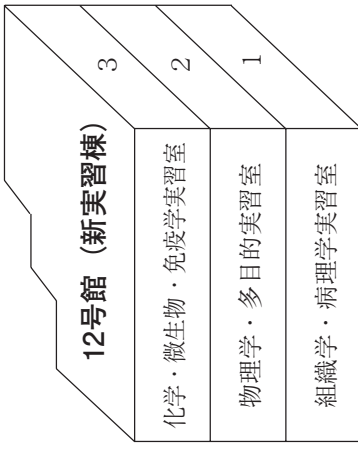


10 施設概要

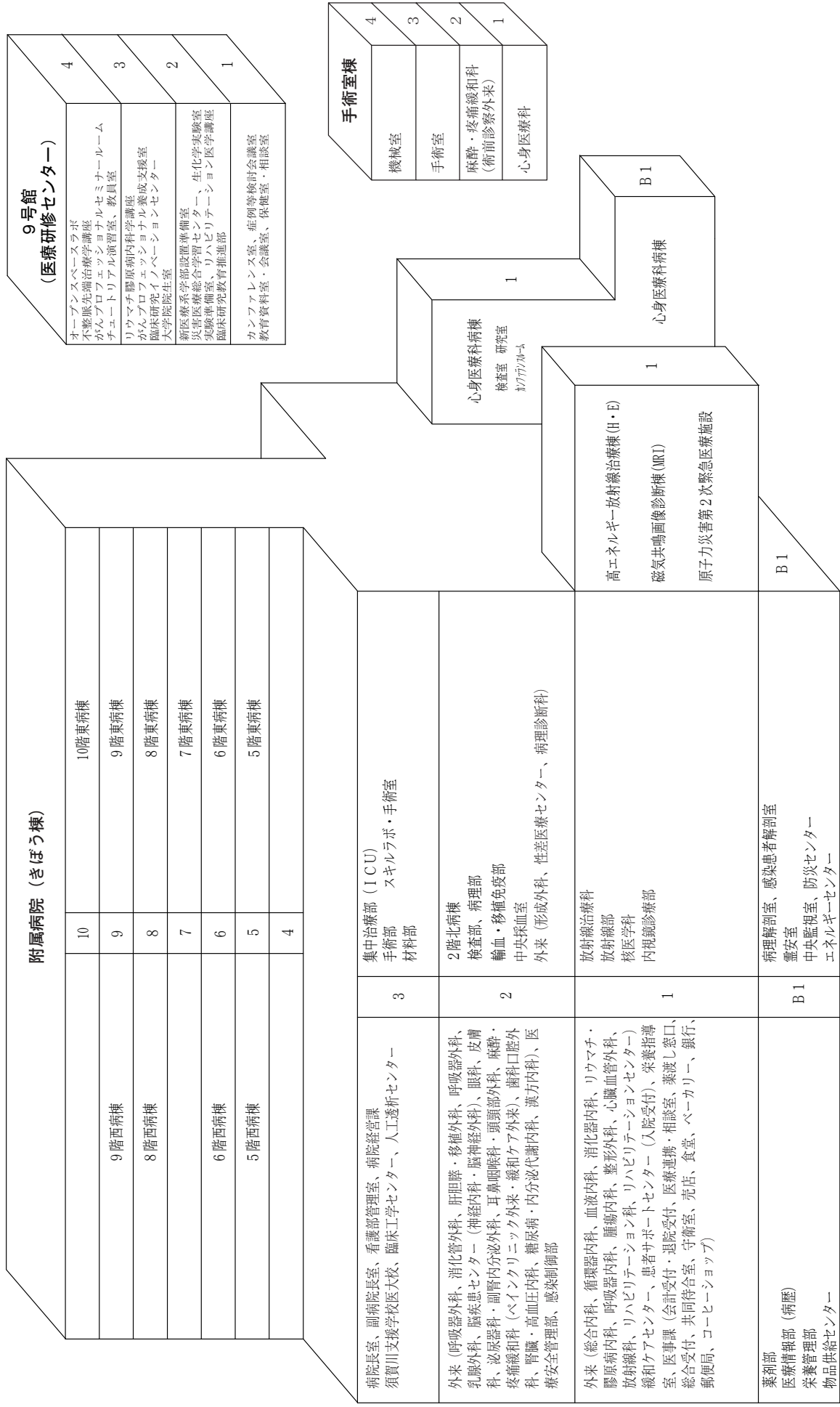


(1) 学部

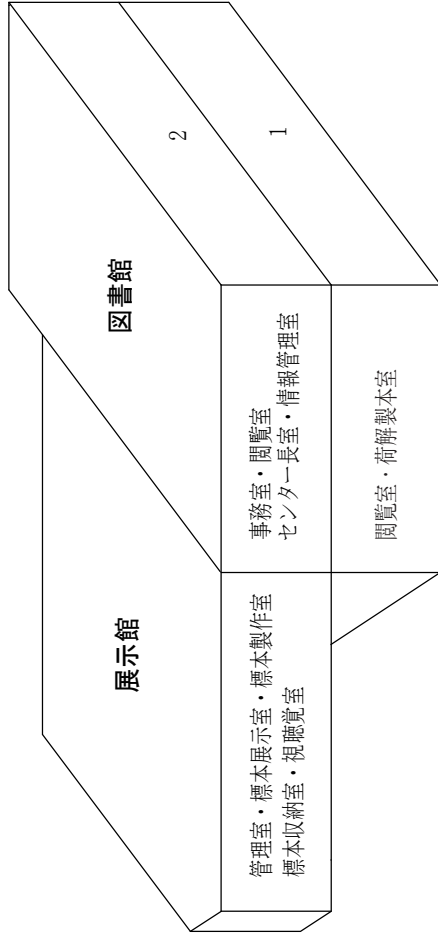
4号館 (総合科学系研究棟)		3号館 (生命科学・社会医学系研究棟)		2号館 (臨床医学系研究棟)	
人間科学講座(生命倫理学分野) スキルラボ・アドバンス	生理・公衆衛生学実習室 第3, 4ゼミナール室 輸血・移植免疫学講座	神経内科学講座 システム神経科学講座	公衆衛生学講座	眼科学講座 皮膚科学講座	耳鼻咽喉科学講座 心臓血管外科科学講座
自然科学講座(数理学科学分野) 地域救急医療支援講座 糖尿病内分泌代謝内科学講座 放射線腫瘍学講座	生理・薬理・衛生学実習室 第1, 2ゼミナール室 会議室	病態制御薬理医学講座 細胞統合生理学講座	衛生学・予防医学講座	循環器内科学講座 消化器内科学講座	腎臓高血圧内科学講座 泌尿器科学講座
自然科学講座(先端化学分野) 講師室 医薬人育成・支援センター医学教育部門 臨床検査医学講座	自然科学講座(数理情報学分野) 人間科学講座(言語学分野) 医療人育成・支援センター臨床医学教育部門 腫瘍内科学講座	微生物学講座 免疫学講座	法医学講座	産科婦人科学講座 小児科学講座	神経精神医学講座 放射線医学講座
自然科学講座(分子細胞生物学分野) 生物・生化学実習室	外科部門教員室 第5講義室 血液内科学講座	生化学講座 病理病態診断学講座	基礎病理学講座	消化管外科学講座 肝胆胰・移植外科科学講座 呼吸器外科学講座 乳腺外科学講座 小児外科・外科研修支援担当	脳神経外科科学講座 麻酔科学講座
解剖学実習室 教授室	周産期・小児地域医療支援講座 法医学解剖室 更衣室	神経解剖・発生学講座 生体機能研究部門 第5ゼミナール室	解剖・組織学講座	整形外科科学講座 呼吸器内科学講座 中央臨床研究室	感染制御医学講座 形成外科学講座



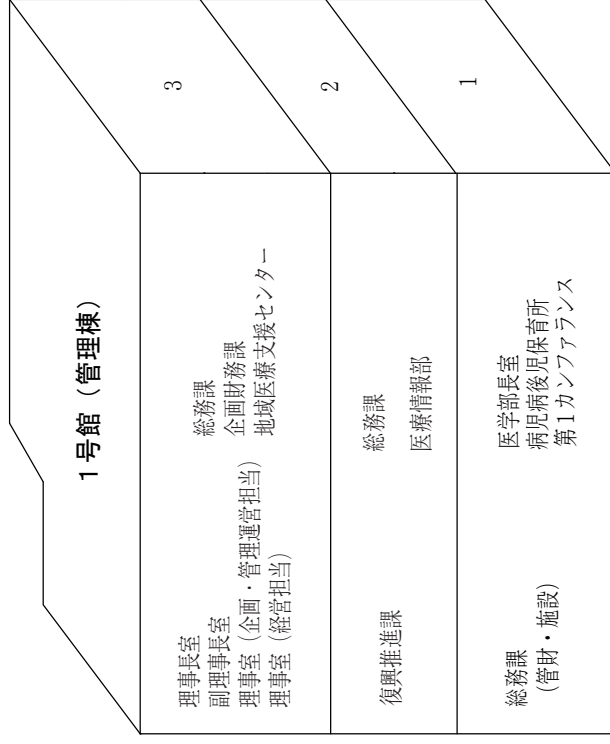
(2) 附属病院



(3) 附属学術情報センター



(4) 事務局



(5) ふくしま国際医療科学センター

災害医学・医療産業棟	
8	大学院修士課程、放射線生命科学講座、健康リスクコミュニケーション講座
7	災害こころの医学講座、疫学講座、放射線物理化学講座、会議室
6	放射線健康管理学講座、甲状腺内分泌学講座、放射線災害医療学講座
5	医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター
4	医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター
3	医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター
2	医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター
1	医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター
B1	医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター 動物実験施設、先端臨床研究センター

環境動態解析センター棟 (国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 福島再生支援本部 福島研究分室)	
2	研究室、ガンマ線計測室、環境試料前処理室、環境動態実験室、環境試料保管室
1	質量分析室、クリーン前処理室、環境化学実験室、微量放射能計測室、研究室、事務室、管理室

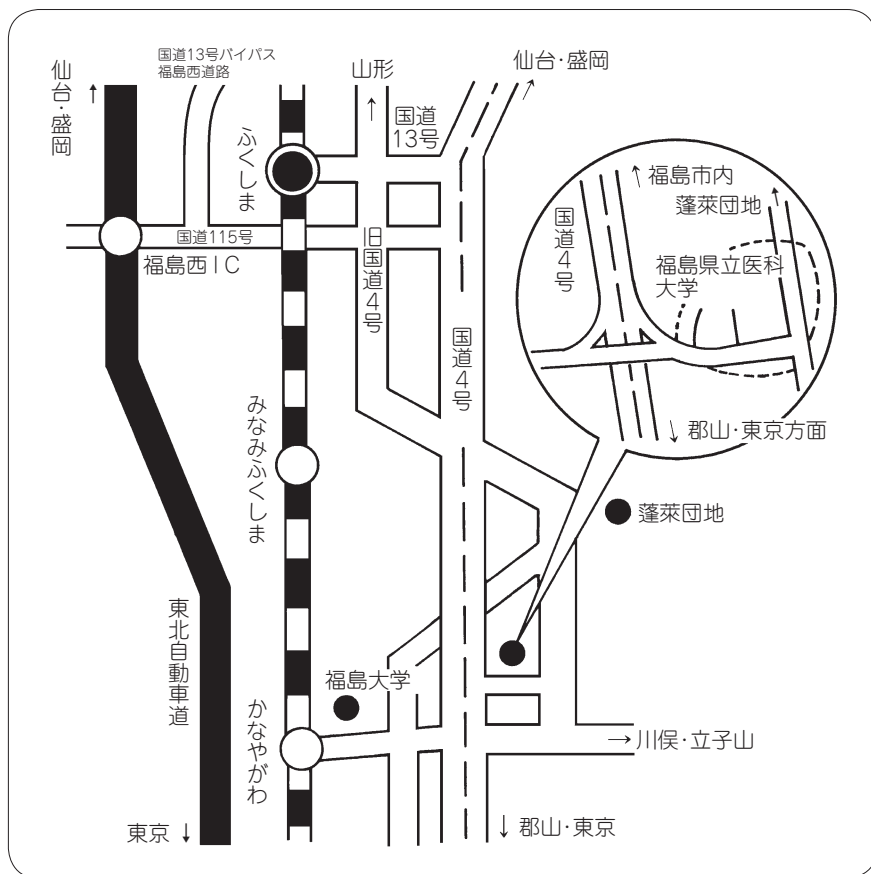
ふくしまのちと未来のメディカルセンター棟 (みらい棟)	
7	放射線医学県民健康管理センター
6	放射線医学県民健康管理センター
5	こども医療センター (PICU)
4	4階西病棟、RI治療病棟、4階東病棟 (女性病棟)
3	総合周産期母子医療センター (NICU、GCU、MFICU、3階東病棟)
2	外来 (小児科・小児腫瘍内科・小児外科、産科・婦人科、腫瘍内科)、生殖医療センター、 甲状腺・内分泌診療センター、外来化学療法センター、臨床研究センター、臨床腫瘍センター、 がん相談支援センター、放射線医学県民健康管理センター甲状腺検査部門
1	災害医療・高度救命救急センター

先端臨床研究センター棟	
3	先端臨床研究センター長室、大会議室、事務室
2	先端臨床研究センター研究室、会議室、医療研究推進センター長室、 医療研究推進課、治療モニター室、CRO室、試験薬和管理局
1	PET検査室、RI管理室、相談室、カンファレンス室
B1	サイクロترون室、ホットラボ室

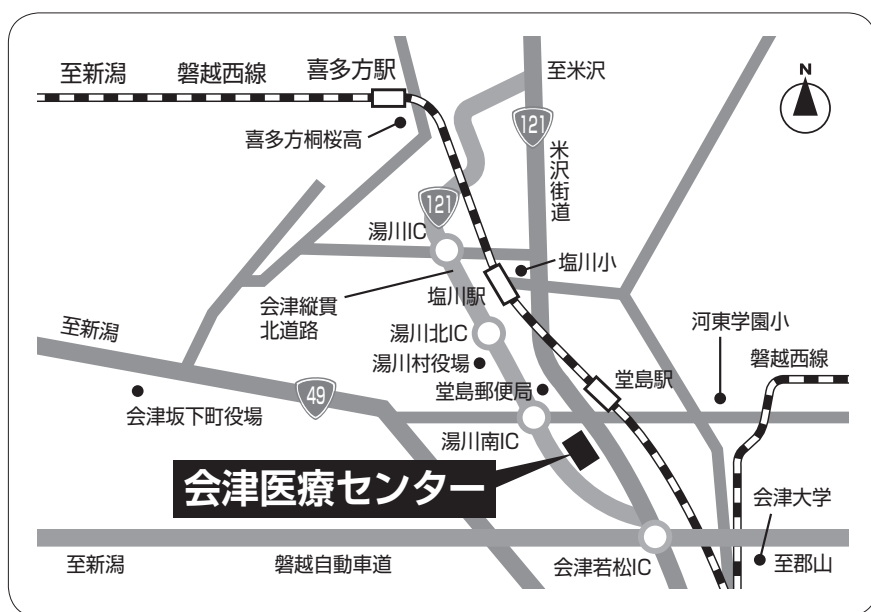
(6) 会津医療センター

会津医療センター	
6	緩和ケア病棟 緩和ケアセンター
5	5階南病棟 5階北病棟
4	4階南病棟 4階北病棟
3	3階南病棟
2	研究室、教授室、教員室、研修医室、図書室、実験室、セミナールーム、講義室、医学教育システム開発センター リハビリテーションセンター、透析センター、手術室、医療安全対策室、感染対策室、臨床工学センター、管理部門、研修教育センター、病理、中央材料、手術部、会議室、食堂、託児所
1	外来（総合内科、漢方内科、漢方外科、循環器内科、血液内科、消化器内科、糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科、感染症・呼吸器内科、神経内科、心身医療科、外科、呼吸器外科、小腸・大腸内科、大腸肛門外科、整形外科・脊椎外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科、リハビリテーション科、緩和ケア科、心臓血管外科） 総合案内、総合受付、会計、入院受付、患者支援センター、外来プロトック受付（A・B・C・D）、血液疾患治療センター、漢方医学センター、脊椎・脊髄先進医療センター、外来化学療法室、看護専門外来、臨床検査部、放射線部、薬剤部、内視鏡室、最先端内視鏡診断・治療センター、感染症専門外来、救急外来、栄養指導室、医療情報ラウンジ、売店、カフェ、ATM

11 位置 図



- ・ JR福島駅からバスで約30分
- ・ 福島西ICから車で約20分
- ・ 二本松ICから車で約20分



- ・ JR堂島駅から徒歩10分
- ・ 会津若松ICから車で約5分

平成30年 福島県立医科大学要覧

編集 公立大学法人福島県立医科大学
事務局企画財務課

郵便番号 960-1295
福島市光が丘1番地
電話 (024) 547-1111(代)
FAX (024) 547-1991
